Canon

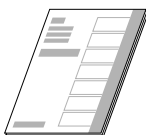
レーザビームプリンタ

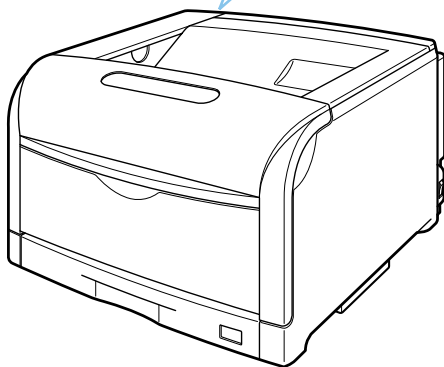
Satera

LBP5910/5910F

かんたん操作ガイド

かんたん操作ガイドについて

本書は簡単なプリンタの使いかたやトラブルの解決方法について紹介しています。
いつでもお読みになれるようにプリンタの近くに置いてご活用ください。

おことわり

本書にはプリンタを取り扱うための注意事項や制限事項は記載されていませんので、必ず取扱説明書CD-ROMに収められている取扱説明書もあわせてお読みください。

取扱説明書CD-ROMについて

取扱説明書CD-ROMに収められている取扱説明書の概要 P.ii
取扱説明書CD-ROMメニューについて P.iii
略称について P.iv

規制について

商標について P.vi
原稿などを読み込む際の注意事項 P.vii

第1章 プリンタの操作

各部の名称 P.1-2
操作パネルのキーの機能 P.1-7
印刷の中止方法 P.1-8

第2章 メンテナンス

用紙について P.2-2
トナーカートリッジを交換する P.2-43
ドラムカートリッジを交換する P.2-47
回収トナー容器を交換する P.2-59
針カートリッジを交換する（LBP5910Fのみ） P.2-61
ITBユニットの転写ベルトを清掃する P.2-64
カラーバランスを調整したいときには P.2-65

第3章 トラブルの対処法

トラブル解決マップ P.3-2
プリンタの色味が変わってしまったときには P.3-4
紙づまりが起こったときには P.3-5
針づまりが起こったときには（LBP5910Fのみ） P.3-12
こんなメッセージが表示されたら P.3-15
正しく印刷できないときには P.3-27
プリンタが動作しない・印刷できないときには P.3-34

第4章 オプションの設置

ペーパーフィーダ P.4-2
RAM/ROM P.4-8
ハードディスク P.4-11
インテリジェントコントローラNB-J2 P.4-14

第5章 お役立ち情報

保守サービスのご案内 P.5-2
無償保証について P.5-4
シリアルナンバーの表示位置について P.5-5
ソフトウェアのバージョンアップについて P.5-6
消耗品／定期交換部品の一覧 P.5-7
設置場所と取り扱いについて P.5-9
メニュールートマップ 巻末

次ページに目的別索引を掲載しています。あわせてご覧ください。

どんなことで困ってますか？

ディスプレイにメッセージが表示されている

表示されているメッセージ

12 ｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ　P.3-15

Ennn-nnnn　E001-nnnn
E003-nnnn　F9-nn ﾁｪｯｸ ﾌﾟﾘﾝﾀ　（nは英数字）　P.3-18

11 XXX ﾖｳｼｶﾞｱﾘﾏｾﾝ　P.2-6、P.2-17

16 X ﾄﾅｰ ﾖｳｲ　16 X ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ　1G X ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ　（XはK、M、Y、C）　P.2-43

E0 X ﾄﾞﾗﾑ ﾖｳｲ　EF X ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ　98 X ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ　（XはK、M、Y、C）　P.2-47

E1 ｶｲｼｭｳﾄﾅｰ ﾖｳｲ　E1 ｶｲｼｭｳﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ　P.2-59

1D ﾊﾘｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ　1D ﾊﾘ ｶｸﾆﾝ　（LBP5910Fのみ）　P.2-61

上記以外のメッセージが表示されている場合（メッセージ一覧）　P.3-19

紙づまりを処理したい　P.3-5
プリンタが正しい動作をしない　P.3-34
印刷結果が正しくない　P.3-27

どんなことが知りたいですか？

操作方法が知りたい

普通紙に印刷したい　P.2-6
給紙カセットの用紙サイズを変更したい　P.2-6
普通紙以外の用紙（封筒、はがきなど）に印刷したい　P.2-17
実行中の印刷を中止したい　P.1-8
操作パネルの設定方法が知りたい　P.1-7
色味を調整したい　P.3-4
トナーカートリッジを交換したい　P.2-43
ドラムカートリッジを交換したい　P.2-47
回収トナー容器を交換したい　P.2-59
針カートリッジを交換したい　P.2-61
オプション品を設置したい　P.4-1

本プリンタについて知りたい

PDFマニュアルの見かたが知りたい　P.ii、P.iii
操作メニューについて知りたい　巻末
印刷できる用紙と印刷できる範囲が知りたい　P.2-2、P.2-4
お問い合わせ先が知りたい　裏表紙

取扱説明書 CD-ROM に収められている取扱説明書の概要

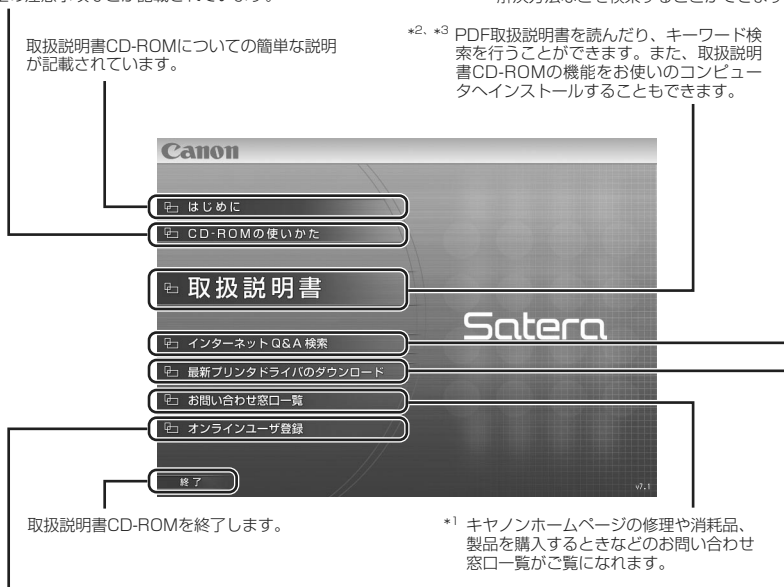
取扱説明書名（PDF ファイル名）	概要
ユーザーズガイド（USG.pdf）	プリンタのハード的なセットアップや各部名称、基本的な使用方法、消耗品の交換方法、トラブルシュート、おもな仕様など、プリンタをお使いになるときにお読みいただきたい事項を記載しています。
ネットワークガイド（NWG_3.pdf）	各種ネットワークの設定方法やネットワーク使用時のトラブルシュートなど、プリンタをネットワーク環境で使用するための設定方法について記載しています。
LIPS 機能ガイド（LKG.pdf）	プリンタの操作パネルの操作方法や操作パネルで行える設定項目の概要説明など、プリンタの操作パネルで行える設定について記載しています。
リモート UI ガイド（RUG_3.pdf）	Web ブラウザを使ってプリンタの設定をする方法について記載しています。

※ PDF 取扱説明書をご覧になるには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

※ PDF 取扱説明書は PDF フォルダ内にある次のフォルダに収められています。
・「common3」フォルダ：ネットワークガイド、リモート UI ガイド
・「LBP5910」フォルダ：ユーザーズガイド、LIPS 機能ガイド

取扱説明書 CD-ROM メニューについて

本プリンタに付属の取扱説明書 CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットすると、下のメニュー画面が表示されます。（ここでは、Windows の画面を例にしています。）

* Macintosh をお使いの場合、「Satera」アイコンをダブルクリックして、お使いのOS が Mac OS X の場合は「OSX_START」アイコンを、お使いの OS が Mac OS 9 の場合は「OS8_9_START」アイコンをダブルクリックするとメニュー画面が表示されます。お使いの OS と異なるアイコンをダブルクリックすると正常に動作しない場合があります。

*1 インターネットをご利用できる環境のみアクセスすることができます。

*2 PDF 取扱説明書またはCD-ROM の使いかたをご覧になるには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

*3 キーワード検索（キーワードを使ってプリンタについて知りたいことをPDF 取扱説明書の中から検索し、該当ページを表示させる機能）は、Windows のみの機能です。ただし、本機能を使用するには、Adobe Reader 6 以降をご使用ください。古いバージョンの Adobe Acrobat Reader を使用すると、該当ページを正しく表示できません。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft Windows operating system：　Windows

本書では、郵便事業株式会社製のはがきを「郵便はがき」と記載しています。

規制について

商標について vi
原稿などを読み込む際の注意事項 vii

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、AppleTalk、Mac OS、Macintosh、TrueType は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

HP、HP-GL、HP-GL/2 は、米国 Hewlett-Packard Company の米国の商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

ESC/P は、セイコーエプソン株式会社の商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

●著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

●通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

●公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

・公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書

・私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書

・役所または公務員の印影、署名または記号

・私人の印影または署名

関係法律		
	● 刑法	● 郵便法
	● 著作権法	● 郵便切手類模造等取締法
	● 通貨及証券模造取締法	● 印紙犯罪処罰法
	● 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	● 印紙等模造取締法

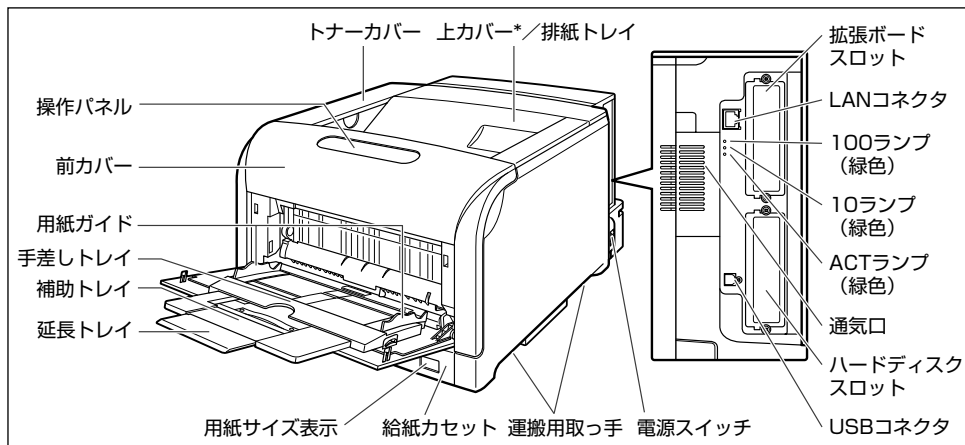
プリンタの操作

Chapter

各部の名称 1-2
本体（LBP5910）. 1-2
本体（LBP5910F）. 1-4
操作パネル 1-6
ディスプレイ. 1-6
操作パネルのキーの機能 1-7
印刷の中止方法. 1-8

各部の名称

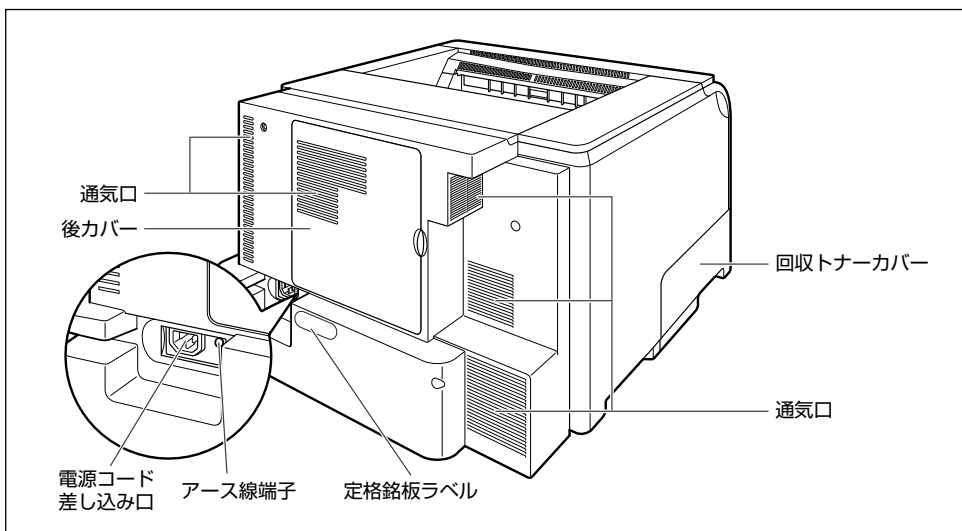
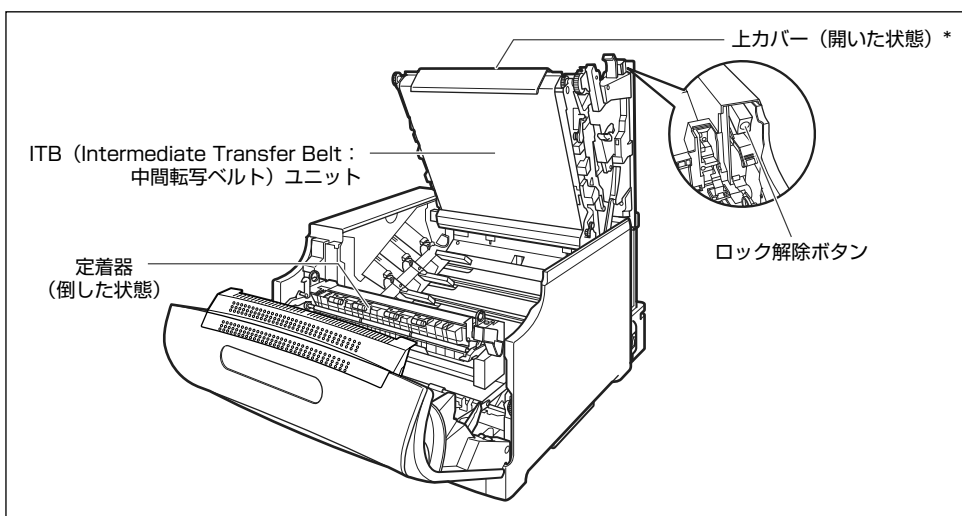
本体（LBP5910）

プリンタの各部の名称を説明しています。

前面

前面の各部の名称を説明しています。

* ドラムカートリッジを交換するとき やプリンタ内部を清掃するときに、ここを開けて 作業します（紙づまりを除去するときは、開ける必要はありません）。上カバーは、前カバーを開けて定着器を手前に倒してから、ロック解除ボタンを押して開けます。ロック解除ボタンの位置については、「プリンタ内部」（→ P.1-3）を参照してください。

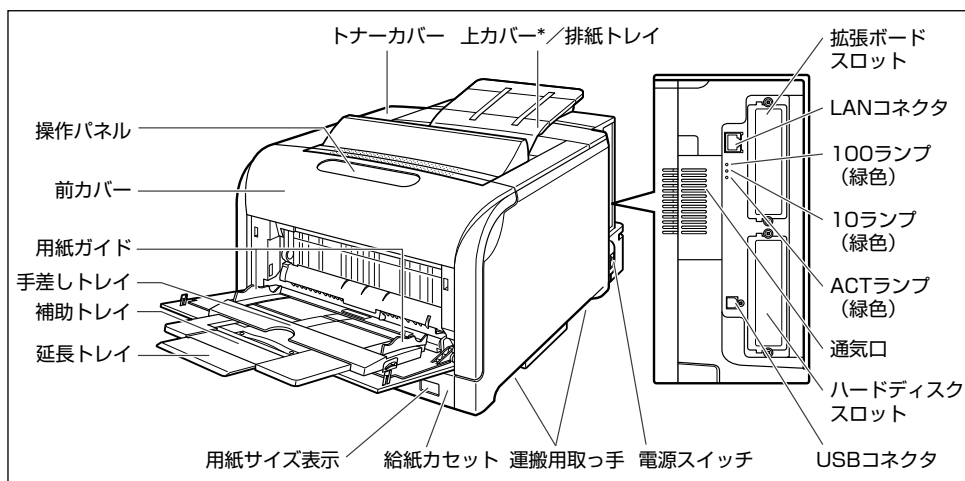
背面

背面の各部の名称を説明しています。

プリンタ内部

プリンタ内部の各部の名称を説明しています。

* ドラム カートリッジを交換するときやプリンタ内部 を清掃するときに、ここを開けて作業します（紙づま りを除去するときは、開ける必要はありません)。上カバーは、前カバーを開けて定着器を手前に倒してから、ロック解除ボタンを押して開けます。

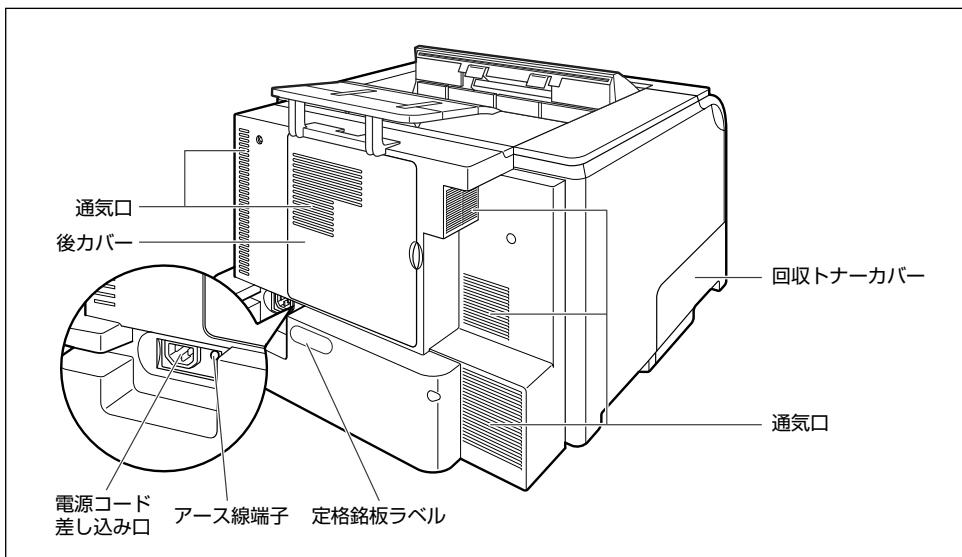
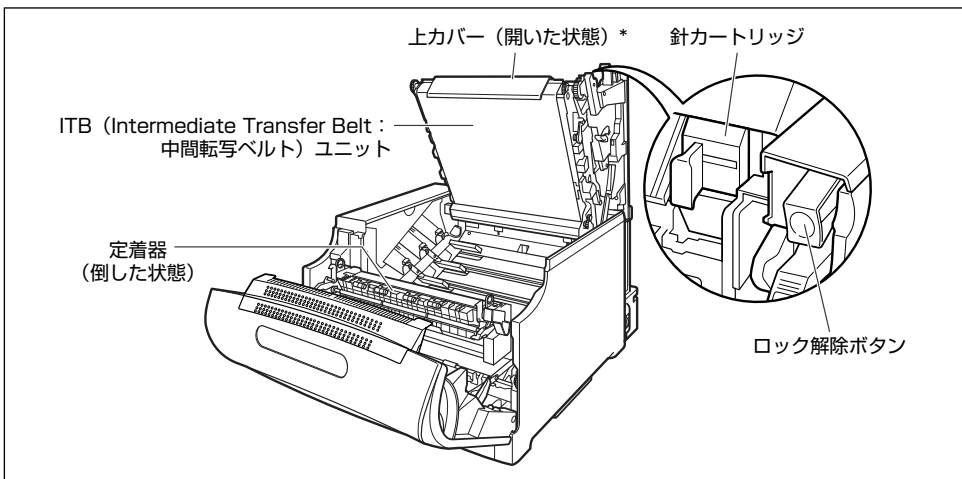
本体（LBP5910F）

プリンタの各部の名称を説明しています。

前面

前面の各部の名称を説明しています。

* ドラムカートリッジを交換するとき やプリンタ内部を清掃するときに、ここを開けて 作業します（紙づまりを除去するときは、開ける必要はありません）。上カバーは、前カバーを開けて定着器を手前に倒してから、ロック解除ボタンを押して開けます。ロック解除ボタンの位置については、「プリンタ内部」（→P.1-5）を参照してください。

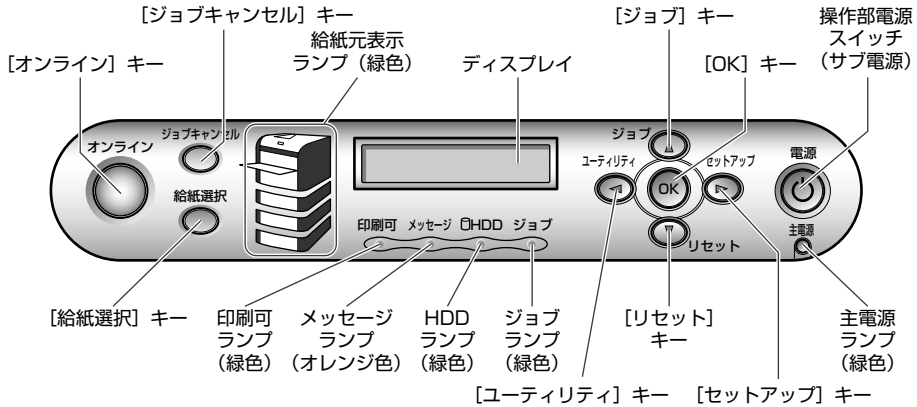
背面

背面の各部の名称を説明しています。

プリンタ内部

プリンタ内部の各部の名称を説明しています。

* ドラム カートリッジを交換するときやプリンタ内部 を清掃するときに、ここを開けて作業します（紙づま りを除去するときは、開ける必要はありません）。上カバーは、前カバーを開けて定着器を手前に倒してから、ロック解除ボタンを押して開けます。

操作パネル

本プリンタの上部には下図のような操作パネルがあり、この操作パネルで本プリンタの状態を知ったり、本プリンタの持つ各種の機能を使うことができます。

ディスプレイ

本プリンタの操作パネルには下図のようなディスプレイがあり、プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。

操作パネルのキーの機能

操作パネルのキーはプリンタの設定やジョブの操作、トラブルの対処などに使われます。
操作パネルのキーは次の機能と役割を持っています。

キー	機能		
（オンライン）	オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。キーが点灯しているときがオンライン状態、消灯しているときがオフライン状態です。 本文中では［オンライン］と表記します。		
	オンライン状態	オフライン状態	メニューの表示中
（ジョブキャンセル）	ジョブランプが点灯・点滅している状態（データ処理中・データ受信中）で押すと、現在処理中のジョブをキャンセルします。本文中では［ジョブキャンセル］と表記します。		動作しません。
（給紙選択）	給紙選択メニューを表示します。本文中では［給紙選択］と表記します。		動作しません。
（ユーティリティ）	ユーティリティメニューを表示します。本文中では［ユーティリティ］と表記します。	動作しません。	同じ階層の左側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が減ります。そのまま押し続けると、数値の減る速度が速くなる項目もあります。本文中では［◀］と表記します。
（ジョブ）	ジョブメニューを表示します。本文中では［ジョブ］と表記します。	動作しません。	上の階層の項目を表示します。本文中では［▲］と表記します。
（リセット）	リセットメニューを表示します。本文中では［リセット］と表記します。		選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［▼］と表記します。［OK］と同じ動作をします。
（セットアップ）	セットアップメニューを表示します。本文中では［セットアップ］と表記します。ただし、オンライン状態では一部の設定はできません。		同じ階層の右側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が増えます。そのまま押し続けると、数値の増す速度が速くなる項目もあります。本文中では［▶］と表記します。
（OK）	動作しません。		選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［OK］と表記します。［▼］と同じ動作をします。
（操作部電源スイッチ（サブ電源））	「スリープモード」が「ツカワナイ」以外に設定されている場合、スリープモードに移行します（→ユーザーズガイド）。 4 秒以上押し続けると「シャットダウン」*を実行します。 * ハードディスクを使用している場合は、ハードディスク保護のため、必ずシャットダウンを実行してから電源を切ってください。詳細については、「ユーザーズガイド」を参照してください。		

印刷の中止方法

印刷を中止するには、コンピュータ側で中止の操作を行います。

ここでは Windows を例にしています。Macintosh の場合については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

1 コントロールパネルから [プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダを表示します。

2 印刷中のプリンタのアイコンをダブルクリックします。

3 中止するジョブを選択して、「ドキュメント」メニューから「キャンセル」（または「印刷中止」）を選択します。

● プリンタにデータが残ってしまい、ジョブが正しく終了しない（ジョブランプが点灯している）ときは次の手順で「ソフトリセット」または「ハードリセット」の操作を行います。

4 ソフトリセットやハードリセットは以下の操作で行います。

●ソフトリセット・ハードリセットについて

○ソフトリセット

現在実行中の処理を中止したいときに、「ソフトリセット」を実行します。すべてのインタフェースに受信された印刷データや処理中のジョブ、プリンタメモリ内の印刷データを消去します。
ソフトリセットを行うと、そのとき印刷中のデータやすべてのインタフェースで受信中のデータは消去されますので、再度コンピュータから印刷しなおしてください。また、ネットワークで使用しているときは、他のコンピュータからのデータに影響しないようにこの操作を行ってください。

○ハードリセット

何らかの理由で、すべての処理やすでにメモリに受信されたデータを消去したいときに、「ハードリセット」を実行します。すべてのインタフェースに受信された印刷データや処理中のジョブ、プリンタメモリ内の印刷データを消去します。
データの受信中にリセットした場合、まだメモリに受信していないデータはリセット処理後に受信されます。ただし、正しく印刷されないことがあります。また、ネットワークで使用しているときは、他のコンピュータからのデータに影響しないようにこの操作を行ってください。

メンテナンス

Chapter 2

用紙について 2-2
使用できる用紙 2-2
使用できない用紙 2-3
印刷できる範囲 2-4
給紙カセットに用紙をセットして印刷する 2-6
手差しトレイに用紙をセットして印刷する 2-17
ユーザ設定用紙、長尺紙に印刷する 2-25
手動で両面に印刷する 2-35
ステイプルして出力する（LBP5910F のみ） 2-38
用紙のセット向きについて 2-42
トナーカートリッジを交換する 2-43
メッセージが表示されたときは 2-43
トナーカートリッジの交換 2-43
ドラムカートリッジを交換する 2-47
メッセージが表示されたときは 2-47
ドラムカートリッジの交換 2-47
回収トナー容器を交換する 2-59
メッセージが表示されたときは 2-59
回収トナー容器の交換 2-59
針カートリッジを交換する（LBP5910F のみ） 2-61
メッセージが表示されたときは 2-61
針カートリッジの交換 2-61
ITB ユニットの転写ベルトを清掃する 2-64
カラーバランスを調整したいときには 2-65

用紙について

本プリンタの性能を十分に引き出していただくため、用紙は適切なものを使用してください。用紙が適切でないと印字品質の低下や紙づまりの原因になります。

使用できる用紙

用紙サイズ

本プリンタでは次の用紙サイズを使用できます。表中の◎は片面印刷と自動両面印刷が可能、○は片面印刷のみ可能、×は不可です。

用紙サイズ	給紙部				
	手差しトレイ	カセット１	カセット２（オプション）	カセット３（オプション）	カセット４（オプション）
A5*1	◎	◎	◎	◎	◎
B5*1	◎	◎	◎	◎	◎
A4*1	◎	◎	◎	◎	◎
B4*2	◎	◎	◎	◎	◎
A3*2	◎	◎	◎	◎	◎
レター*1	◎	◎	◎	◎	◎
エグゼクティブ*1	◎	◎	◎	◎	◎
リーガル*2	◎	◎	◎	◎	◎
レジャー（11 × 17）*2	◎	◎	◎	◎	◎
12 × 18*2	○	×	×	×	×
SRA3*2	○	×	×	×	×
ユーザ設定用紙	◎*3	×	◎*4	◎*4	◎*4
長尺紙*2	○*5	×	×	×	×
はがき*2 100.0mm × 148.0mm	○	×	×	×	×
往復はがき*1 148.0mm × 200.0mm	○	×	×	×	×
４面はがき*1 200.0mm × 296.0mm	○	×	×	×	×
封筒*2 洋形４号 105.0mm × 235.0mm	○	×	×	×	×
封筒*2 洋形２号 114.0mm × 162.0mm	○	×	×	×	×
封筒*2 角形２号 240.0mm × 332.0mm	○	×	×	×	×

*1 横置きのみセット可能です。

*2 縦置きのみセット可能です。

*3 次のサイズのユーザ設定用紙をセットすることができます。
・縦置きの場合：幅 98.0 ～ 320.0mm、長さ 139.7 ～ 457.2mm
・横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 139.7 ～ 297.0mm、長さ 139.7 ～ 297.0mm
次のサイズのユーザ設定用紙（普通紙）を自動両面印刷することができます。
・縦置きの場合：幅 210.0 ～ 312.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
・横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

*4 次のサイズのユーザ設定用紙をセットすることができます。
・縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
・横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

*5 次のサイズの長尺紙を縦置きにセットすることができます。LIPS LX プリンタドライバからのみ印刷することができます。
・幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 457.3 ～ 1200.0mm

用紙タイプ

本プリンタでは次の用紙タイプを使用できます。表中の◎は片面印刷と自動両面印刷が可能、○は片面印刷のみ可能、×は不可です。

用紙タイプ		給紙部				
		手差しトレイ	カセット 1	カセット 2（オプション）	カセット 3（オプション）	カセット 4（オプション）
普通紙 *	64 ～ 105g/m^2	◎	◎	◎	◎	◎
厚紙	106 ～ 220g/m^2	○	×	×	×	×
コート紙		○	×	×	×	×
ラベル用紙		○	○	○	○	○
はがき		○	×	×	×	×
封筒		○	×	×	×	×

* 再生紙（64 ～ 105g/m^2）は、普通紙として使用できます。再生紙は古紙配合率 100% の再生紙が使用できます。

● 紙の厚さについて
紙の厚さは、1m^2* あたりの重さがどれくらいかということで表され、一般的に g/m^2 という単位が使われます。
*1m^2 ＝ A4 サイズ 16 枚分

Check!

幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷した場合、熱による故障などを防止する安全機能が働き、印刷速度が段階的に遅くなります。（最終的に A5、B5、B4 サイズの普通紙の場合で約 10ppm、はがきの場合で約 4ppm まで低下することがあります。）

使用できない用紙

紙づまりやプリンタの故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

●紙づまりを起こしやすい用紙

・厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
・不規則な形の用紙
・湿っている用紙、濡れている用紙
・破れている用紙
・表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
・バインダ用の穴やミシン目のある用紙
・カールした用紙や折り目のある用紙
・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
・裏紙が簡単にはがれてしまうラベル紙

・複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）
・バリのある用紙
・しわのある用紙
・角折れのある用紙

●高温によって変質する用紙
・定着器の加熱温度（約 190 ℃）以下で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
・感熱用紙
・表面加工したカラー用紙
・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
・糊などがついた用紙

●プリンタの故障や損傷の原因になる用紙
・カーボン紙
・ステイプル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
・複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）

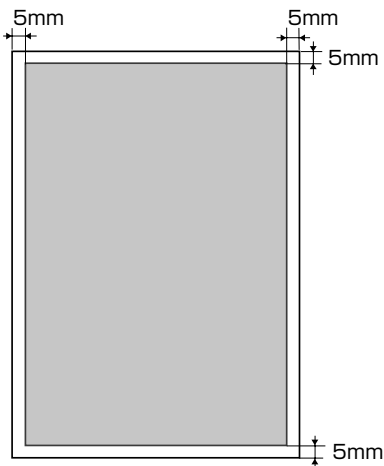
●トナーが定着しにくい用紙
・ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
・繊維の粗い用紙

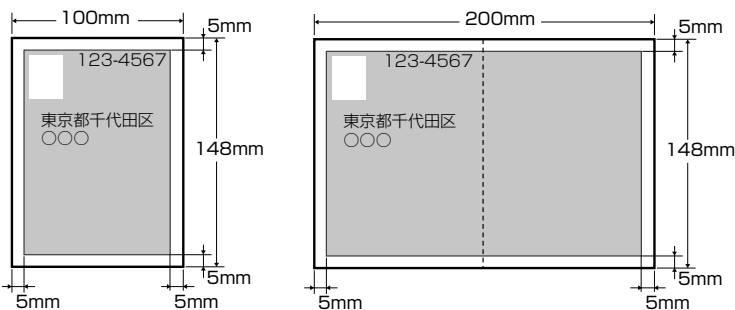
印刷できる範囲

Point

印刷できる範囲を用紙の端近くまで広げる場合は、LIPS プリンタドライバで次の設定を行います。
1. [仕上げ] ページの [仕上げ詳細] をクリックする
2. [印字領域を広げて印刷する] にチェックマークを付ける
ただし、印刷する原稿によっては、用紙の端が一部欠けて印刷されたり、カラー印刷時に用紙の端がにじんだように印刷されることがあります。詳しくは、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

●普通紙 / 厚紙 / コート紙 / ラベル紙

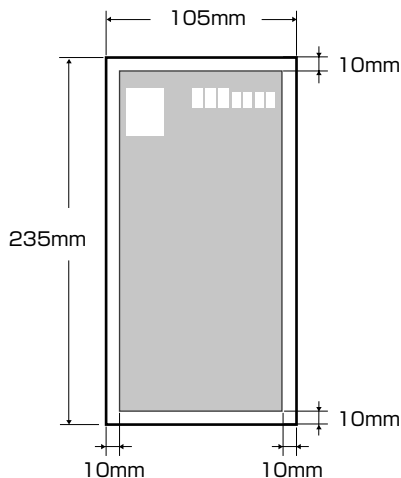
用紙の周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。

●はがき / 往復はがき /4 面はがき

はがきの周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。

Point

はがきの有効印字領域いっぱいのデータを印刷した場合、最適な印字品質が得られない場合があります。データをはがきの有効印字領域より少し小さ目に設定することをおすすめします。

●封筒

封筒の周囲 10mm より内側の範囲に印刷できます。
お使いのアプリケーションソフトによっては、印刷時に位置を調整してお使いください。

（洋形4号封筒の例）

Point

封筒に印刷した場合、郵便番号欄の文字が欠けて印刷される場合があります。このような場合は、LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログボックスで［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークを付けることで、文字が欠けずに印刷することができます。

給紙カセットに用紙をセットして印刷する

「11　XXX　ヨウシガ　アリマセン」は給紙元の用紙がなくなった場合に表示されます。

用紙がなくなると表示されます。
11　A4ヨウシカ゛ アリマセン

用紙のなくなった給紙元に、用紙をセットしてください。
また、セットする用紙を変更したいときも次の手順で用紙をセットしてください。
カセット 1 に用紙をセットする→ P.2-7
カセット 2、カセット 3、カセット 4 に定形の用紙をセットする→ P.2-12

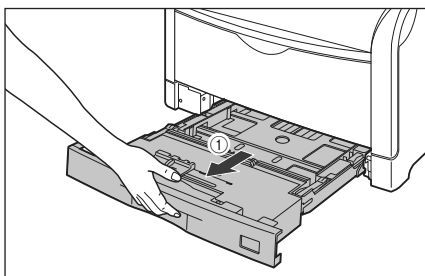
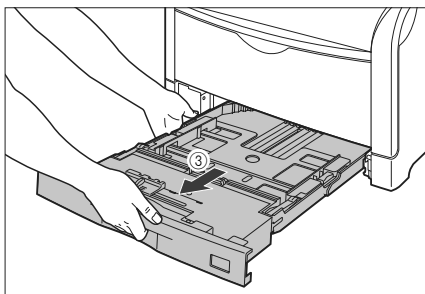
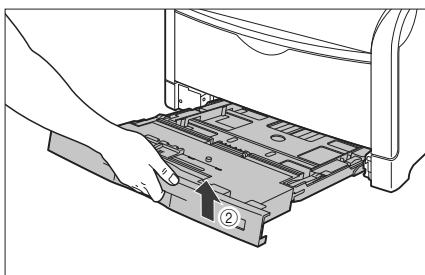
給紙カセットには、次の用紙がセットできます。

用紙タイプ	用紙サイズ	積載枚数
普通紙 (64 ～ 105g/m^2)	A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ	カセット1：約 250 枚 カセット2、3、4*1：約 550 枚
	ユーザ設定用紙 *1 *2	
ラベル用紙	A4*3	約50 枚

*1 オプションのペーパーフィーダ装着時のみ
*2 ユーザ設定用紙については、「ユーザ設定用紙、長尺紙に印刷する」（→ P.2-25）を参照してください
*3 キヤノン推奨品ラベル用紙 A4

カセット 1 に用紙をセットする

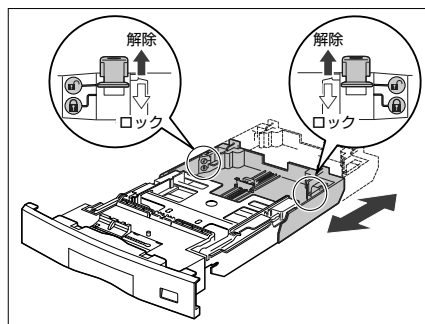
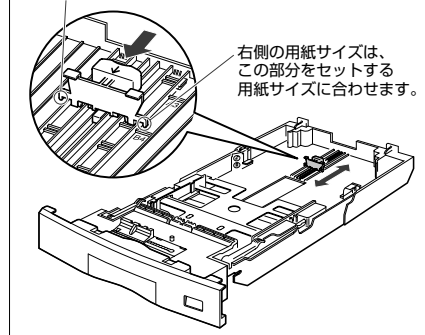
1 給紙カセットを引き出します。

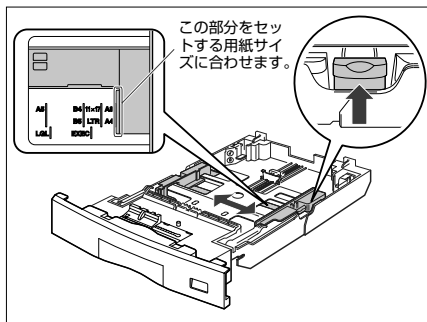
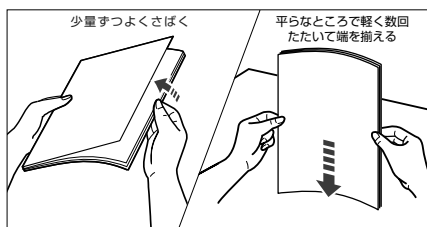
給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。

2 セットする用紙のサイズを変更するときは、給紙カセットの長さと用紙ガイドの位置を変更します。

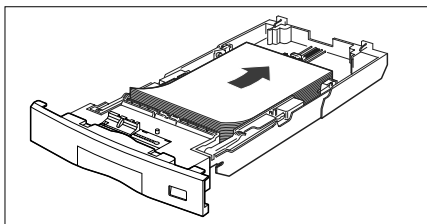
a セットする用紙に合わせて、給紙カセットの長さを調節します。

A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、給紙カセットを押し込みます。

A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、給紙カセットを引き出します。

給紙カセットの長さを調整するには、ロック解除レバーをゆっくりと持ち上げロックを解除し、給紙カセットの後部を持ってスライドさせ、ロック解除レバーを押し下げてロックします。

b 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙に合わせて用紙ガイドを移動します。

c 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙に合わせて用紙ガイドを移動します。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

3 ラベル紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。

4 用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。

セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-42）を参照してください。

5 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マークを超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメの下に用紙を入れます。

用紙ガイドのツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分にない場合は用紙を少し減らします。

給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、次の通りです。

- 普通紙（64g/m^2 の場合）：約 250 枚
- ラベル用紙：約 50 枚

6 用紙サイズを変更した場合は、次の作業を行います。

a 用紙サイズ表示板に、セットした用紙サイズのシールを貼り、給紙カセット前面の用紙サイズ表示板差し込み口に差し込みます。

b 用紙サイズ設定スイッチの取っ手を持って、用紙サイズ設定スイッチの三角マークをセットした用紙のサイズに合わせます。

7 給紙カセットをプリンタにセットします。

図のように給紙カセットを両手で持って、止まる位置まで差し込みます ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ③。

8 セットした用紙タイプの設定を操作パネルで行います。

セットした用紙のタイプを設定します。給紙カセットから印刷するときは、ここで設定した内容と、プリンタドライバの設定を一致させてください。

[ユーティリティ] または [セットアップ] で給紙カセットにセットした用紙タイプを選択します。

フツウシL →

用紙の種類	「カセット1　ヨウシタイプ」
普通紙（64～105g/m²）	フツウシ
	フツウシL*
ラベル用紙	ラベルヨウシ

*「フツウシ」に設定して印刷した結果、次のような不具合があった場合は、「フツウシL」に設定してください。
- 普通紙（64g/m²）を印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合
- 幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合

を押します。

=フツウシL →

用紙サイズの左に「=」が表示され、給紙カセットの用紙タイプが設定されます。

9 以降は、プリンタドライバの設定を行いますので、コンピュータの前に移動します。

- プリンタドライバの設定は、お使いの OS、プリンタドライバの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。
  ここでは Windows を例に説明しています。Macintosh の設定方法については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。
  BMLinkS プリンタドライバや DOS や UNIX などから印刷する場合は、ユーザーズガイド「第4章 給紙カセットに用紙をセットする」を参照してください。

10 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

11 ［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

12 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

13 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

［原稿サイズ］と給紙カセットにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

14 ［給紙］ページを表示して、［給紙部］で使用するカセットを選択します。

15 ［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

［用紙タイプ］に応じて、次のように設定してください。

普通紙（64 ～ 105g/m^2）	［普通紙］
	［普通紙 L］＊
ラベル用紙	［ラベル用紙］

＊ ［普通紙］に設定して印刷した結果、次のような不具合があった場合は、［普通紙 L］に設定してください。

- 普通紙（64g/m^2）を印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合
- 幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合

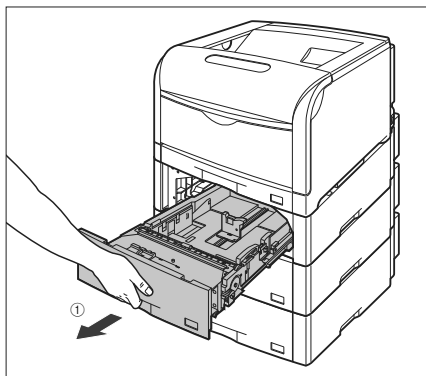
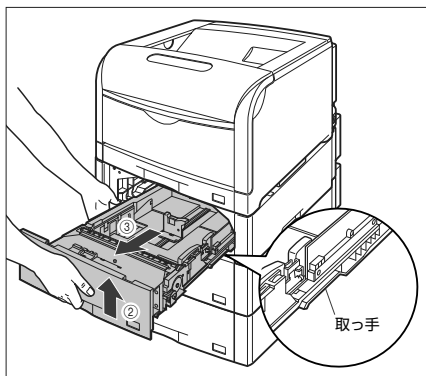
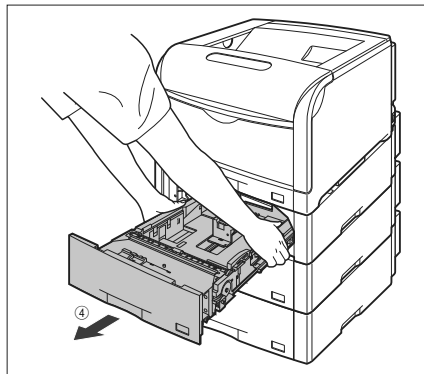
16 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

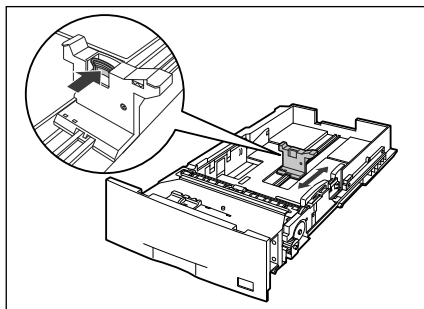
17 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

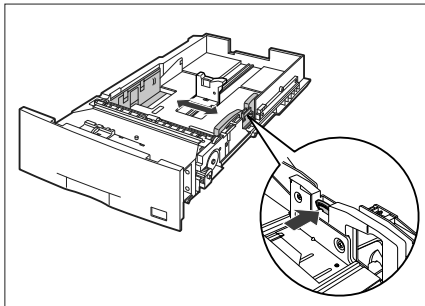
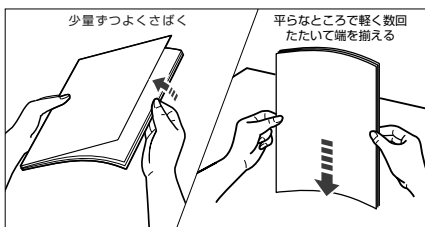
カセット 2、カセット3、カセット4 に定形の用紙をセットする

ユーザ設定用紙をセットする場合は、「ユーザ設定用紙、長尺紙に印刷する」（→ P.2-25）を参照してください。

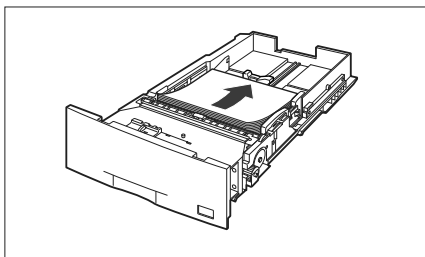
1 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。

図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。

2 セットする用紙のサイズを変更するときは、給紙カセットの長さと用紙ガイドの位置を変更します。

a 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせます。

b 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズに合わせます。

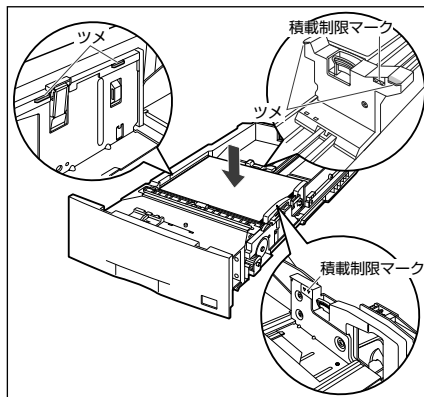
側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

3 ラベル紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。

4 用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。

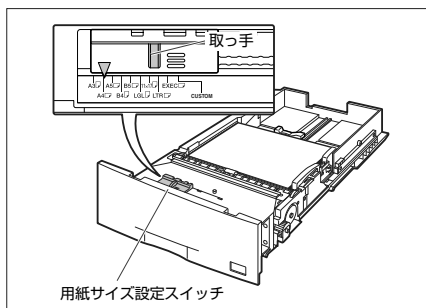
セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→P.2-42）を参照してください。

5 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マークを超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメの下に用紙を入れます。

用紙ガイドのツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分にない場合は用紙を少し減らします。

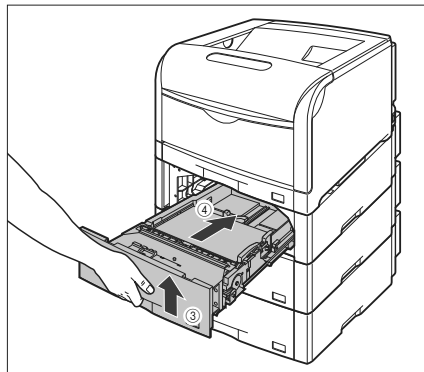
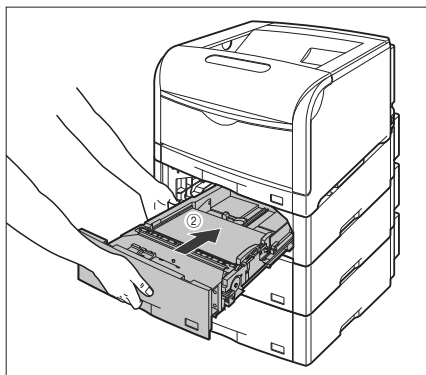
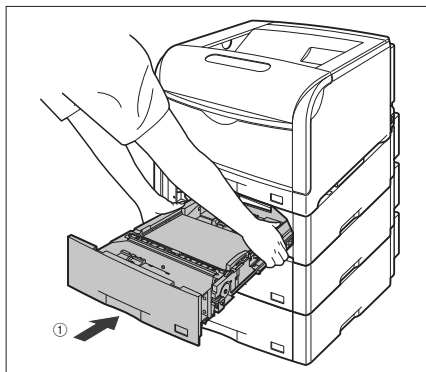
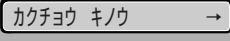
給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、次の通りです。

- 普通紙（64g/m² の場合）：約550 枚
- ラベル用紙：約50 枚

6 用紙サイズを変更した場合は、次の作業を行います。

a 用紙サイズ表示板に、セットした用紙サイズのシールを貼り、給紙カセット前面の用紙サイズ表示板差し込み口に差し込みます。

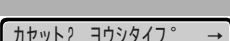
b 用紙サイズ設定スイッチの取っ手を持って、用紙サイズ設定スイッチの三角マークをセットした用紙のサイズに合わせます。

7 給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。

給紙カセットを両手で持って図の位置まで押し込み①、右手で給紙カセットの手前を持ち、止まる位置まで押し込みます②。

給紙カセットの手前を少し持ち上げて③、給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます④。

8 セットした用紙タイプの設定を操作パネルで行います。

セットした用紙のタイプを設定します。給紙カセットから印刷するときは、ここで設定した内容と、プリンタドライバの設定を一致させてください。

（セットアップ）を押します。

セットアップメニューが表示されます。

または で「キュウシ」を選択します。

を押します。

または で「カセットＮ　ヨウシタイプ」（Ｎ＝２、３，４）を選択します。

を押します。

または で給紙カセットにセットした用紙タイプを選択します。

用紙の種類	「カセットN　ヨウシタイプ」（N=2、3、4）
普通紙（64～105g/m²）	フツウシ
	フツウシL*
ラベル用紙	ラベルヨウシ

*「フツウシ」に設定して印刷した結果、次のような不具合があった場合は、「フツウシL」に設定してください。
・普通紙（64g/m²）を印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合
・幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合

を押します。

=フツウシL →

用紙サイズの左に「=」が表示され、給紙カセットの用紙タイプが設定されます。

9 以降は、プリンタドライバの設定を行いますので、コンピュータの前に移動します。

● プリンタドライバの設定は、お使いの OS、プリンタドライバの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。
ここでは Windows を例に説明しています。Macintosh の設定方法については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。
BMLinkS プリンタドライバや DOS や UNIX などから印刷する場合は、ユーザーズガイド「第４章 給紙カセットに用紙をセットする」を参照してください。

10 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

11 ［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

12 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

13 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

［原稿サイズ］と給紙カセットにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

14 ［給紙］ページを表示して、［給紙部］で使用するカセットを選択します。

15 ［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

［用紙タイプ］に応じて、次のように設定してください。

普通紙（64 ～ 105g/m²）	［普通紙］
	［普通紙 L］＊
ラベル用紙	［ラベル用紙］

＊ ［普通紙］に設定して印刷した結果、次のような不具合があった場合は、［普通紙L］に設定してください。

- 普通紙（64g/m²）を印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合
- 幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合

16 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

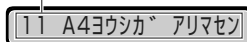
17 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

手差しトレイに用紙をセットして印刷する

「11　XXX　ヨウシガ　アリマセン」は給紙元の用紙がなくなった場合に表示されます。

用紙がなくなると表示されます。

11 A4ヨウシカ゛ アリマセン

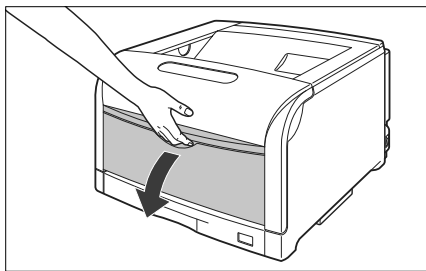
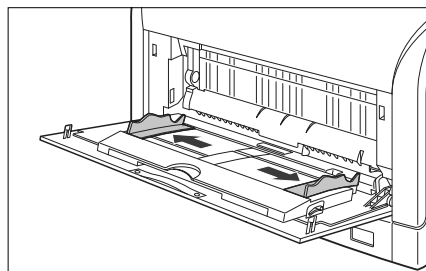
用紙のなくなった給紙元に、用紙をセットしてください。
また、セットする用紙を変更したいときも次の手順で用紙をセットしてください。

手差しトレイには、次の用紙がセットできます。

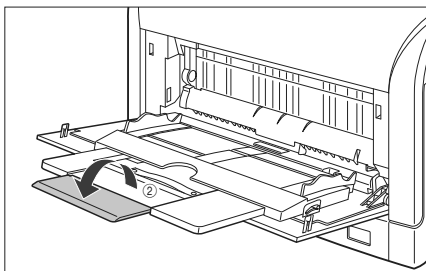
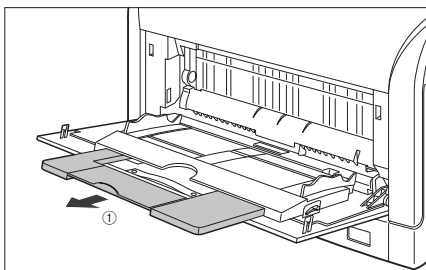
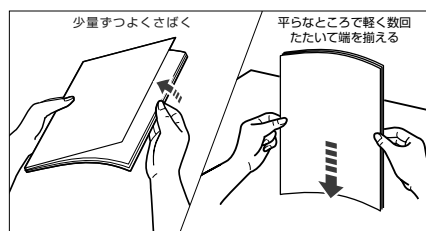
用紙タイプ	用紙サイズ	積載枚数
普通紙	・定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5、SRA3、12 × 18、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ ・はがきサイズ はがき（幅：100.0mm、長さ：148.0mm）、往復はがき（幅：148.0mm、長さ：200.0mm）、4 面はがき（幅：200.0mm、長さ：296.0mm） ・ユーザ設定用紙＊1、長尺紙＊1	約 100 枚 (64g/m² の場合)
厚紙 (106 ～ 169g/m²)		約 50 枚 (128g/m² の場合)
厚紙 (170 ～ 220g/m²)	・定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5、SRA3、12 × 18、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ ・ユーザ設定用紙＊1、長尺紙＊1	
コート紙	A3＊2、A4＊3	約 50 枚
ラベル用紙	A4＊4	約 40 枚

封筒	洋形４号（幅：105.0mm、長さ：235.0mm） 洋形２号（幅：114.0mm、長さ：162.0mm） 角形２号*5（幅：240.0mm、長さ：332.0mm）	約 10 枚
はがき	はがき（幅：100.0mm、長さ：148.0mm） 往復はがき（幅：148.0mm、長さ：200.0mm） ４面はがき（幅：200.0mm、長さ：296.0mm） キヤノン推奨４面はがき（幅：200.0mm、長さ：296.0mm）	約 10 枚

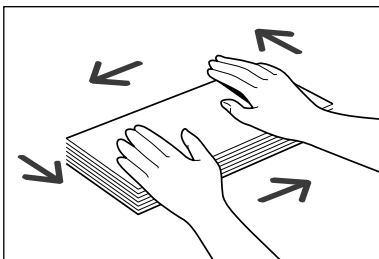
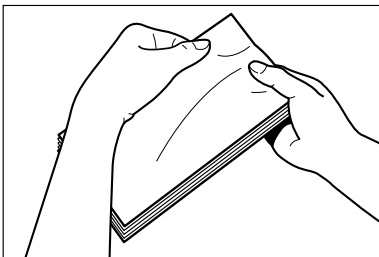
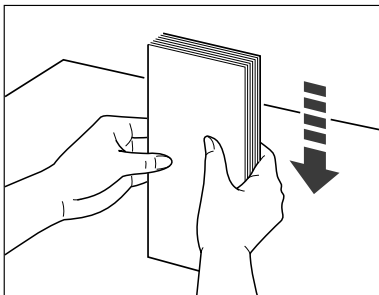
*1 ユーザ設定用紙、長尺紙については、「ユーザ設定用紙、長尺紙に印刷する」（→ P.2-25）を参照してください。
*2 キヤノン推奨品イメージコート A3
*3 キヤノン推奨品イメージコート A4
*4 キヤノン推奨品ラベル用紙 A4
*5 キヤノン推奨品 LBP 用封筒 K201-G

● 紙の厚さについて
紙の厚さは、1m²* あたりの重さがどれくらいかということで表され、一般的に g/m² という単位が使われます。
*1m² = A4 サイズ 16 枚分

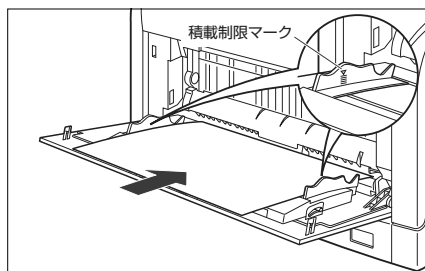
1 手差しトレイを開けます。

手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。

2 A3やB4などの長いサイズの用紙をセットするときは補助トレイを引き出し ①、延長トレイを開けます ②。

3 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。

4 ラベル紙、コート紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。

Point

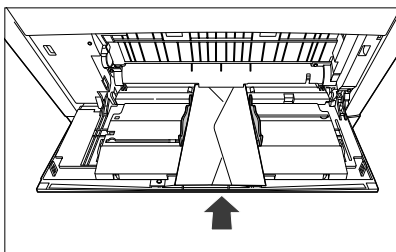
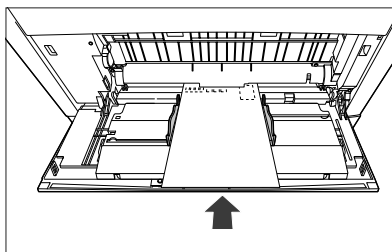
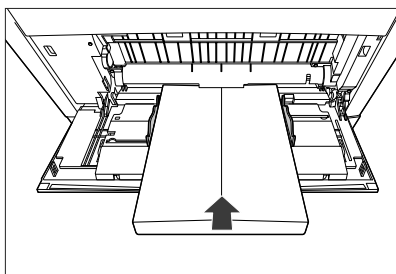
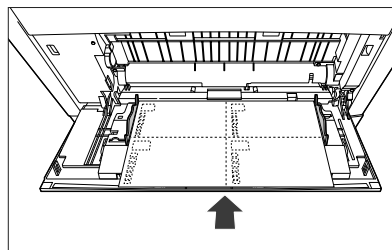
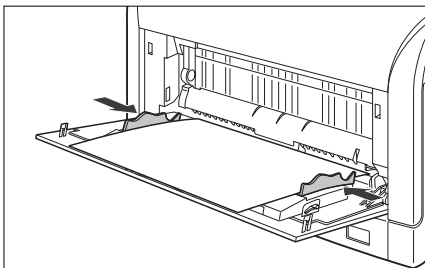
封筒は次の手順で揃えます。

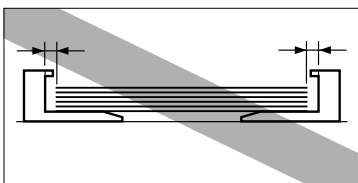
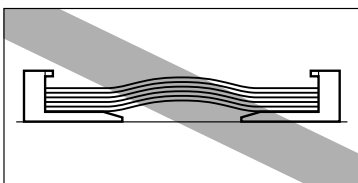
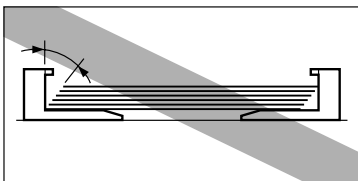
a 封筒の束を平らな場所へ置き、上面を押して空気を抜いてから、縁の折り目をきちんと付けて、平らにします。

b 封筒の四隅の固い部分を図のように取り除き、カールをなおします。

c 封筒を平らな場所で揃えます。

5 用紙の印刷面を下にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

用紙束は積載制限マークの下を通してください。

セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」(→ P.2-42)を参照してください。

Point

封筒、はがきの場合は次のようにセットします。

- 封筒　洋形４号／洋形２号
  ふたがプリンタを前面から見て右側になるようにセットします。

- はがき／往復はがき
  はがきの上端がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。

- 封筒　角形２号
  ふたを開けたまま、底辺がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。

- ４面はがき
  はがきの上端がプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。

6 用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。

Check!

必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたり、きつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

7 セットした用紙サイズと用紙タイプの設定を操作パネルで行います。

セットした用紙のサイズを設定したあと、用紙タイプを設定します。手差しトレイから印刷するときは、ここで設定した内容と、プリンタドライバの設定を一致させてください。

8 以降は、プリンタドライバの設定を行いますので、コンピュータの前に移動します。

- プリンタドライバの設定は、お使いの OS、プリンタドライバの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。
  ここでは Windows を例に説明しています。Macintosh の設定方法については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。
  BMLinkS プリンタドライバや DOS や UNIX などから印刷する場合は、ユーザーズガイド「第4章 手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。

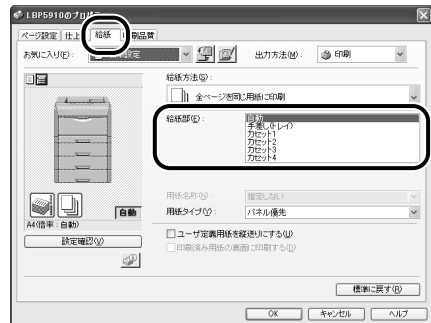
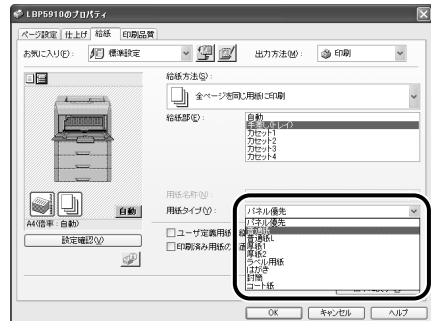
9 アプリケーションソフトで [印刷] を選択します。

10 [プリンタ名] で本プリンタを選択し、[プロパティ] をクリックします。

11 [ページ設定] ページを表示して、[原稿サイズ] からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

12 必要に応じて [出力用紙サイズ] でセットした用紙のサイズを選択します。

[原稿サイズ] と給紙カセットにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、[原稿サイズと同じ] に設定しておきます。[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

13 [給紙] ページを表示して、[給紙部] で [手差し (トレイ)] を選択します。

14 [用紙タイプ] でセットした用紙のタイプを選択します。

［用紙タイプ］に応じて、次のように設定してください。

普通紙（64 ～ 105g/m^2）	［普通紙］
	［普通紙L］*1
厚紙（106 ～169g/m^2）	［厚紙 1］
厚紙（170 ～220g/m^2）	［厚紙 2］
ラベル用紙	［ラベル用紙］
コート紙	［コート紙］*2
はがき	［はがき］*3
封筒	［封筒］

*1 ［普通紙］に設定して印刷した結果、次のような不具合があった場合は、［普通紙 L］に設定してください。

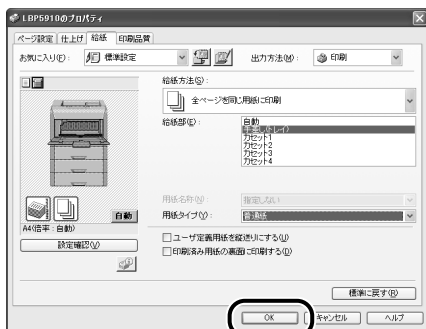
- 普通紙（64g/m^2）を印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合
- 幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合

*2 106 ～ 169g/m^2 以外のコート紙の場合は、次の設定を行ってください。

- 105 g/m^2 以下の場合：［用紙タイプ］を［普通紙］に設定する
- 170 ～220 g/m^2 の場合：［用紙タイプ］を［コート紙］にして、［仕上げ］-［仕上げ詳細］-［処理オプション］の順にクリックし、［特殊印字処理］の［コート紙］の設定を［する］にする

*3 本プリンタは、はがき、往復はがき、4 面はがきサイズの普通紙（64 ～ 105g/m^2）、厚紙（106 ～ 169g/m^2）やキヤノン推奨4 面はがきにも印刷することができます。普通紙に印刷する場合は、［普通紙］を選択し、厚紙やキヤノン推奨 4 面はがきに印刷する場合は、［厚紙 1］を選択します。

15 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

16 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

ユーザ設定用紙、長尺紙に印刷する

本プリンタの手差しトレイには、次のユーザ設定用紙、長尺紙をセットすることができます。

- ユーザ設定用紙
  縦置きの場合：幅 98.0 ～ 320.0mm、長さ 139.7 ～ 457.2mm
  横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：
  幅 139.7 ～ 297.0mm、長さ 139.7 ～ 297.0mm
- 長尺紙（縦置きのみ、LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）
  幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 457.3 ～ 1200.0mm

また、オプションのペーパーフィーダ（カセット 2、3、4）には、次のユーザ設定用紙の普通紙をセットすることができます。

- ユーザ設定用紙
  縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
  横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：
  幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

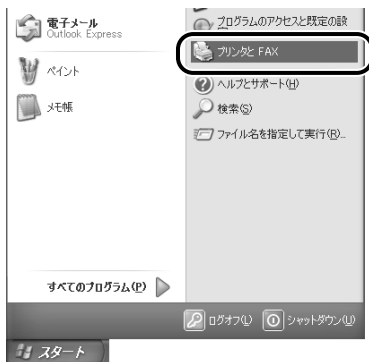
ユーザ設定用紙、長尺紙を印刷する場合は、以下の操作を行ってください。

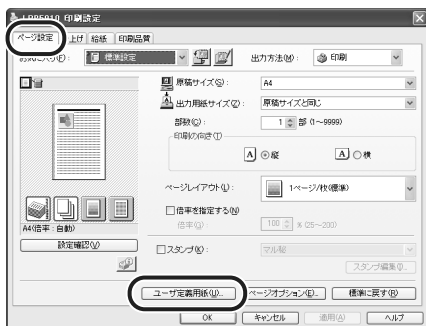
- ユーザ設定用紙、長尺紙を登録する（→ P.2-25）
- ユーザ設定用紙、長尺紙をセットする
  ･手差しトレイにセットする場合（→ P.2-27）
  ･ペーパーフィーダにセットする場合（→ P.2-30）
- プリンタドライバを設定して、ユーザ設定用紙、長尺紙を印刷する（→ P.2-34）

ユーザ設定用紙、長尺紙の登録方法

ユーザ設定用紙、長尺紙を印刷する場合は、ユーザ設定用紙、長尺紙をプリンタドライバに登録する必要があります。

プリンタドライバへの登録は、次の手順で行ってください。

1 コントロールパネルから [プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダを表示します。

2 [印刷設定] または [プロパティ] ダイアログボックスを表示します。

3 ［ページ設定］ページを表示し、［ユーザ定義用紙］をクリックします。

4 必要に応じて各項目を設定します。

［用紙一覧］：　定形用紙と登録済みのユーザ設定用紙、長尺紙の［名前］と［サイズ］が表示されます。

［ユーザ定義用紙名］：　登録するユーザ設定用紙、長尺紙の名称を入力します。

［単位］：　ユーザ設定用紙、長尺紙のサイズを設定するときに使用する単位（［ミリメートル］または［インチ］）を選択します。

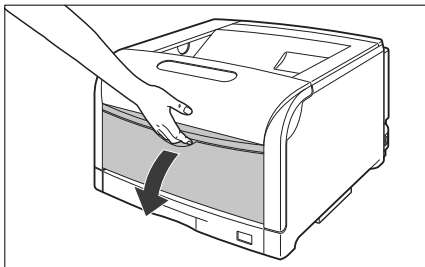
［用紙サイズ］：　ユーザ設定用紙、長尺紙の高さと幅（［高さ］≧［幅］）を設定します。用紙サイズは、縦長（［高さ］≧［幅］）かつ、定義可能な範囲内で指定してください。

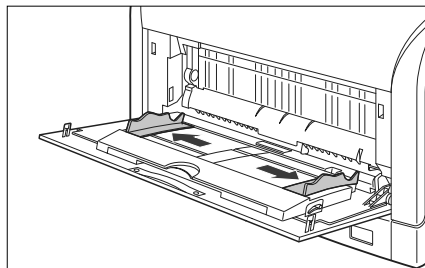
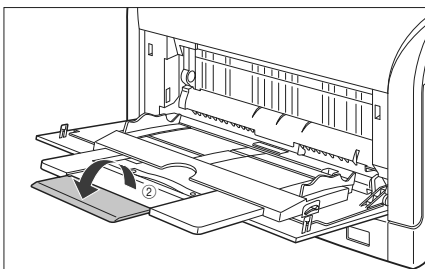
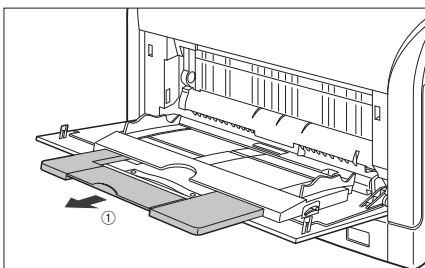
5 ［登録］をクリックして、［OK］をクリックします。

手差しトレイにユーザ設定用紙、長尺紙をセットする

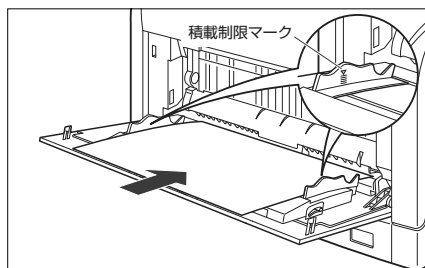
手差しトレイにユーザ設定用紙、長尺紙をセットするときは、次の手順でセットします。

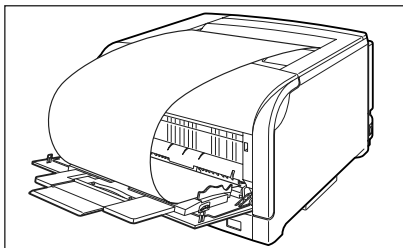
1 手差しトレイを開けます。

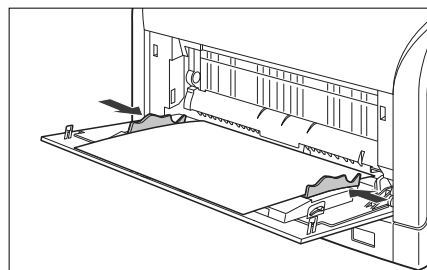
手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。

2 長尺紙などの長いサイズの用紙をセットするときは補助トレイを引き出し ①、延長トレイを開けます ②。

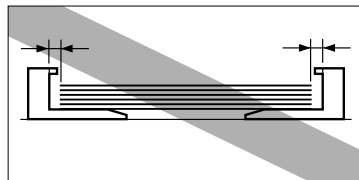
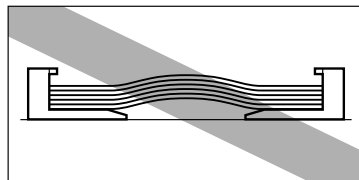
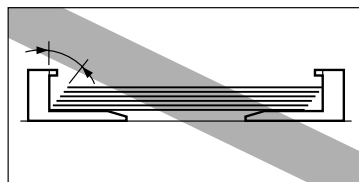
3 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。

4 用紙の印刷面を下にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

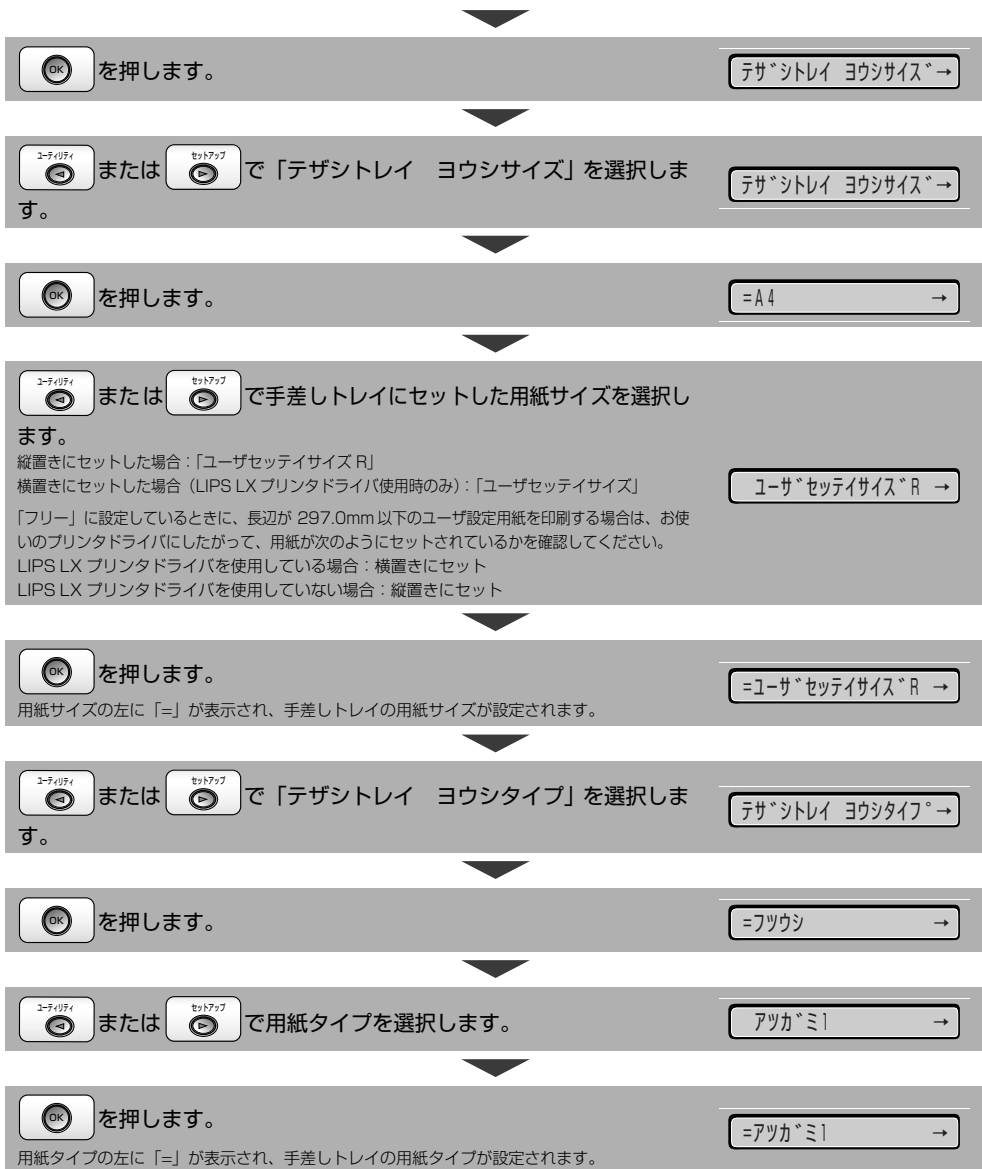
用紙束は積載制限マークの下を通してください。

セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-42）を参照してください。

Point

- 長尺紙をセットする場合は、1枚ずつ図のように手差しトレイにセットします。

- セットアップメニューの給紙グループにある「手差しトレイ用紙サイズ」の設定を「フリー」に設定しているときに、長辺が297.0mm以下のユーザ設定用紙を印刷する場合は、お使いのプリンタドライバにしたがって、次のようにセットしてください。
  LIPS LXプリンタドライバを使用している場合：横置きにセット
  LIPS LXプリンタドライバを使用していない場合：縦置きにセット

5 用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。

Check!

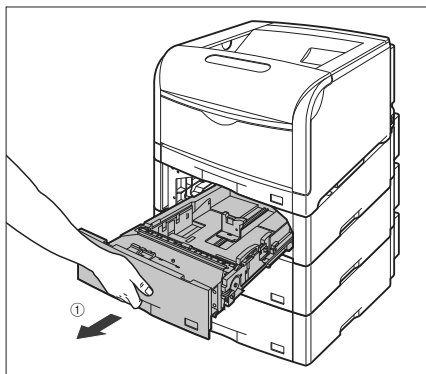
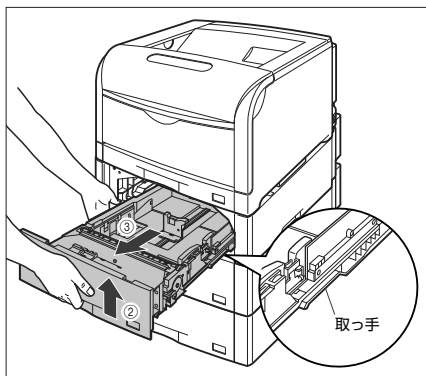
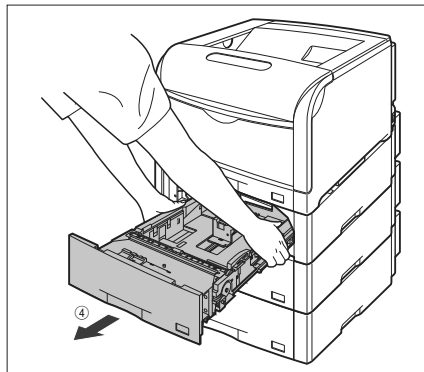
必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたり、きつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

6 セットした用紙サイズと用紙タイプの設定を操作パネルで行います。

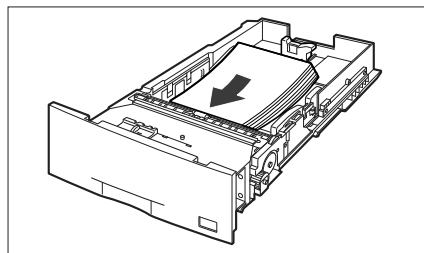
セットした用紙のサイズを設定したあと、用紙タイプを設定します。手差しトレイから印刷するときは、ここで設定した内容と、プリンタドライバの設定を一致させてください。

引き続きプリンタドライバの設定を行います（→ P.2-34）。

カセット 2、3、4 にユーザ設定用紙をセットする

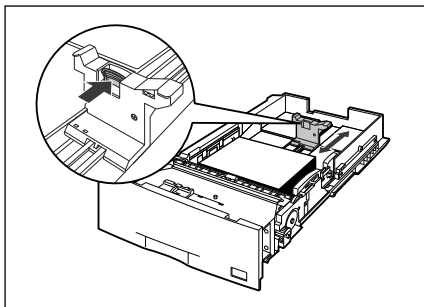
オプションのペーパーフィーダ（カセット 2、3、4）に、ユーザ設定用紙をセットするときは、次の手順でセットします。

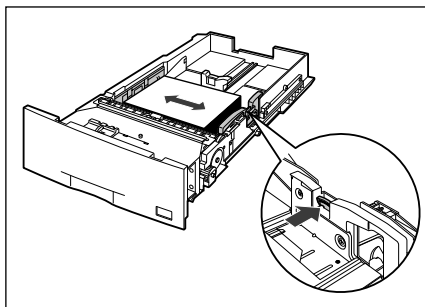
1 給紙カセットを引き出します。

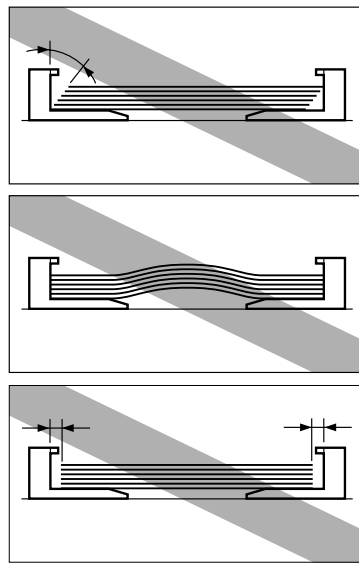
給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。

図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。

2 用紙を給紙カセットの手前側に合わせてセットします。

セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-42）を参照してください。

Point

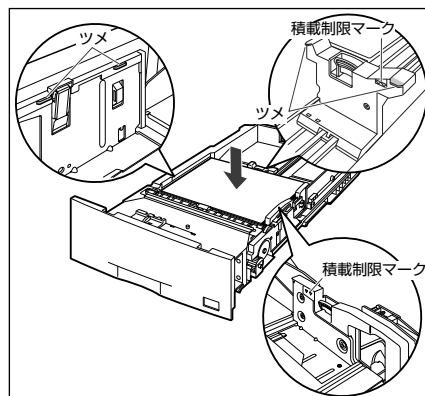
セットアップメニューの給紙グループにある「カセット N（N=2、3、4）用紙サイズ」の設定を「フリー」に設定しているときに、長辺が 297.0mm 以下のユーザ設定用紙を印刷する場合は、お使いのプリンタドライバにしたがって、次のようにセットしてください。
LIPS LX プリンタドライバを使用している場合：横置きにセット
LIPS LX プリンタドライバを使用していない場合：縦置きにセット

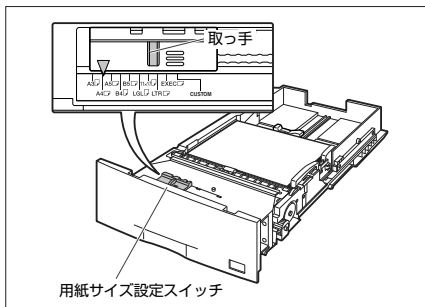
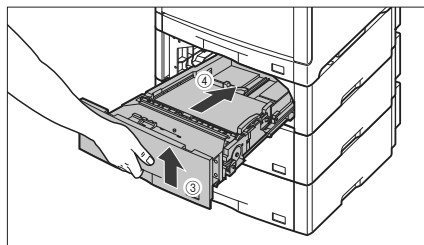
3 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットした用紙に合わせて用紙ガイドを移動します。

4 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットした用紙に合わせて用紙ガイドを移動します。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

Check!

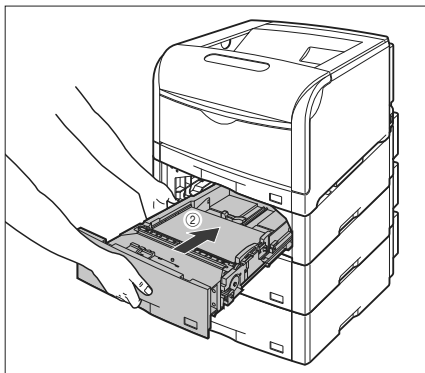
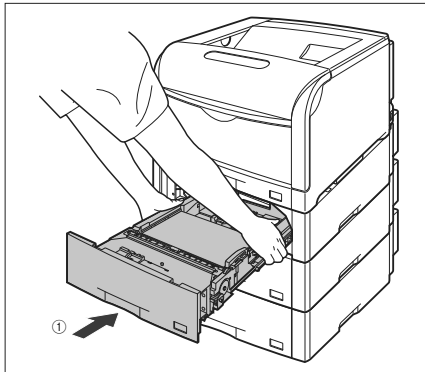
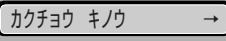
必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたり、きつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

5 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マークを超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメの下に用紙を入れます。

用紙ガイドのツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分にない場合は用紙を少し減らします。

給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m^2 の場合）で約 550 枚です。

6 用紙サイズ設定スイッチの取っ手を持って、用紙サイズ設定スイッチの三角マークを「CUSTOM」に合わせます。

用紙サイズ設定スイッチが「CUSTOM」に合っていることを必ず確認してから給紙カセットをプリンタにセットしてください。

7 給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。

給紙カセットを両手で持って図の位置まで押し込み①、右手で給紙カセットの手前を持ち、止まる位置まで押し込みます②。

給紙カセットの手前を少し持ち上げて③、給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます④。

8 セットした用紙サイズと用紙タイプの設定を操作パネルで行います。

セットした用紙のサイズを設定したあと、用紙タイプを設定します。ペーパーフィーダの給紙カセットから印刷するときは、ここで設定した内容と、プリンタドライバの設定を一致させてください。

引き続きプリンタドライバの設定を行います(→ P.2-34)。

プリンタドライバの設定方法

ユーザ設定用紙、長尺紙を印刷するときは、次の手順でプリンタドライバを設定します。

Point

プリンタドライバの設定は、お使いの OS、プリンタドライバの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。
ここでは Windows を例に説明しています。Macintosh の設定方法については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

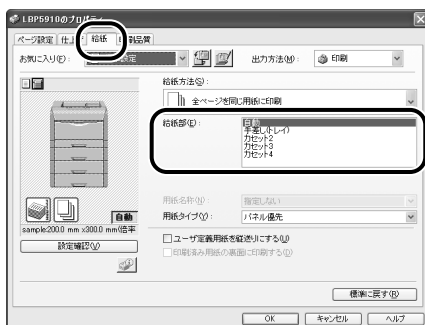
1 アプリケーションソフトで［印刷］を選択します。

2 ［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

3 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

4 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットしたユーザ設定用紙を選択します。

［原稿サイズ］とセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。
［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

5 ［給紙］ページを表示して、［給紙部］を選択します。

6 ［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

［用紙タイプ］に応じて、次のように設定してください。

普通紙（64～105g/m²）	［普通紙］
	［普通紙 L］＊
厚紙（106～169g/m²）	［厚紙 1］
厚紙（170～220g/m²）	［厚紙 2］

＊　［普通紙］に設定して印刷した結果、次のような不具合があった場合は、［普通紙 L］に設定してください。
- ・普通紙（64g/m²）を印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合
- ・幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合

7 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

8 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

手動で両面に印刷する

本プリンタは、裏面に印刷済みの用紙にも対応しており、自動両面印刷できない用紙にも両面印刷することが可能です。印刷済み用紙の裏面に印刷するときは、プリンタドライバや操作パネルで設定してください。

Point

- はがきに両面印刷する場合、裏面（文書側の面）から先に印刷したあと、表面（宛名側の面）を印刷してください。
- プリンタドライバの設定は、お使いの OS、プリンタドライバの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。
  ここでは Windows を例に説明しています。Macintosh の設定方法については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。
  DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS から印刷する方法については、ユーザーズガイド第 4 章「手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。

1 手差しトレイに用紙をセットします。

用紙のセットのしかたについては、「用紙のセット向きについて」（→P.2-42）を参照してください。

2 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

3 ［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

4 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

5 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

［原稿サイズ］と給紙カセットにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

6 ［給紙］ページを表示して、［給紙部］で［手差し（トレイ）］を選択します。

7 ［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

普通紙（64 ～ 105g/m2）	［普通紙］
	［普通紙 L］ *1
厚紙（106 ～ 169g/m2）	［厚紙 1］
厚紙（170 ～ 220g/m2）	［厚紙 2］
コート紙	［コート紙］ *2
はがき	［はがき］ *3
封筒	［封筒］

*1 ［普通紙］に設定して印刷した結果、次のような不具合があった場合は、［普通紙L］に設定してください。

- 普通紙（64g/m2）を印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合
- 幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合

*2 106 ～ 169g/m2 以外のコート紙の場合は、次の設定を行ってください。

- 105 g/m2 以下の場合：［用紙タイプ］を［普通紙］に設定する
- 170 ～ 220 g/m2 の場合：［用紙タイプ］を［コート紙］にして、［仕上げ］-［仕上げ詳細］-［処理オプション］の順にクリックし、［特殊印字処理］の［コート紙］の設定を［する］にする

*3 本プリンタは、はがき、往復はがき、4 面はがきサイズの普通紙（64 ～ 105g/m2）、厚紙（106 ～ 169g/m2）やキヤノン推奨 4 面はがきにも印刷することができます。普通紙に印刷する場合は、［普通紙］を選択し、厚紙やキヤノン推奨 4 面はがきに印刷する場合は、［厚紙 1］を選択します。

8 ［印刷済み用紙の裏側に印刷する］をチェックし、［ＯＫ］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

9 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

ステイプルして出力する（LBP5910F のみ）

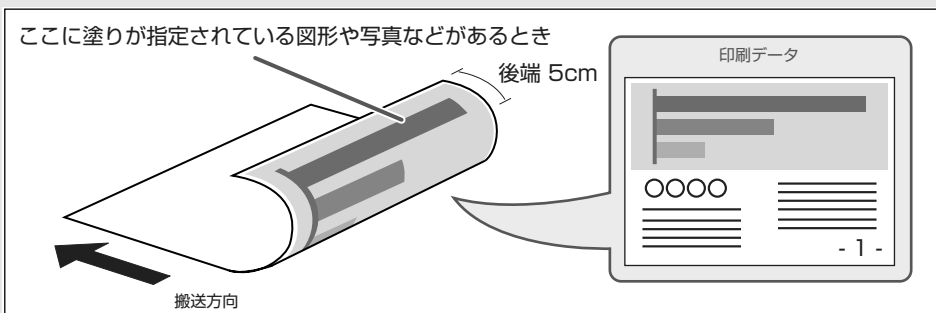
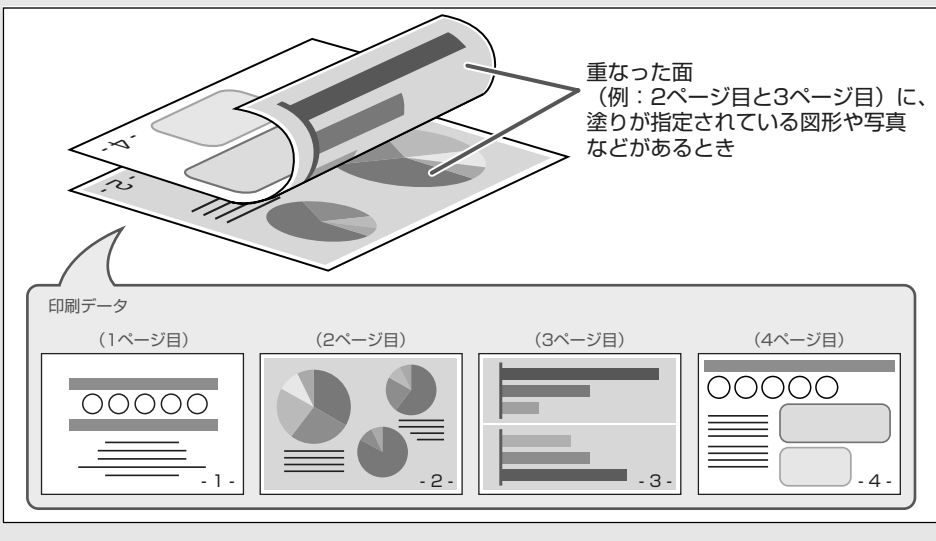
印刷した用紙をステイプルして出力します。次の用紙にステイプルすることができます。
セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-42）を参照してください。

用紙タイプ	用紙サイズ
普通紙	A3、B4、A4、B5、レジャー（11 × 17）、レター、エグゼクティブ、ユーザ設定用紙（縦置きの場合：幅 257.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～457.2mm、横置きの場合*：幅 257.0～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm）

*　LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ

● ステイプルするときの印刷速度について

次の場合、用紙のずれをふせぐために、印刷速度が低下することがあります。
（片面印刷時 18 ページ／分（A4）、両面印刷時 4 ページ／分（A4））

- （搬送方向に対して）用紙の後端から5cm の範囲に、塗りが指定されている図形や写真などがあるとき
  例：

- 両面印刷時、重なった面（例：2 ページ目と 3 ページ目）に、塗りが指定されている図形や写真などがあるとき
  例：

Point

- 同一サイズの用紙を最大 15 枚 (81.5 ～ 105g/m^2 の場合は、最大 10 枚) までステイプルすることができます。
- 15 枚ステイプル時の印刷速度は、カラー／モノクロ印刷とも27 枚／分（A4）になります。

Check!

- LBP5910F とコンピュータをUSBケーブルで接続してお使いの場合は、プリンタドライバをインストールしたあと、必ず次の操作を行ってください。次の操作を行わないとステイプル機能は使用できません。
  1. プリンタドライバの［デバイスの設定］ページを表示する
  2. ［デバイス情報取得］をクリックする
- BMLinkS プリンタドライバを使用する場合、BMLinkS プリンタドライバの画面に表示される綴じ位置とは異なる位置にステイプルされることがあります。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

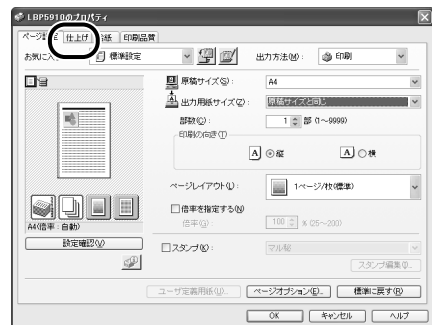
2 ［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

3 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

4 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

［原稿サイズ］と給紙カセットにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

5 ［仕上げ］ページを表示します。

6 必要に応じて、とじしろ（ステイプルするための余白）を設定します。

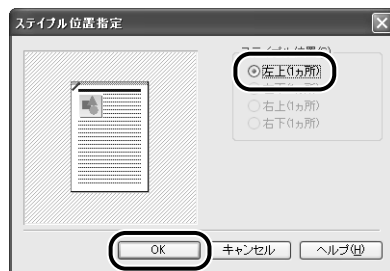
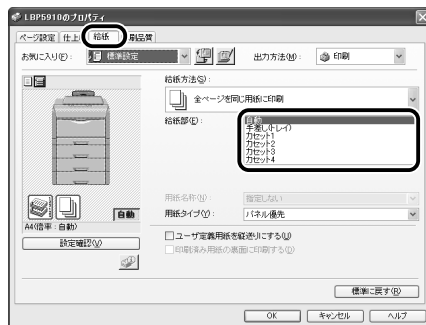
［とじ方向］でとじしろを付ける方向を設定し［とじしろ］をクリックします。

とじしろの幅を設定して、［OK］をクリックします。

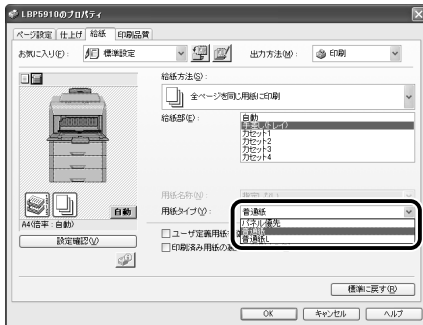
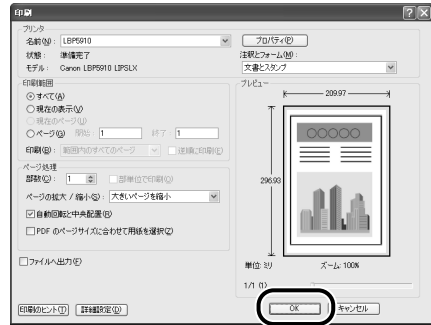
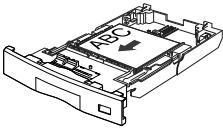
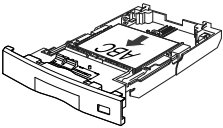
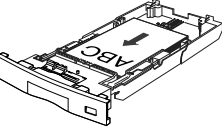
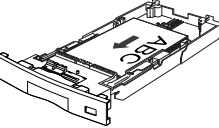
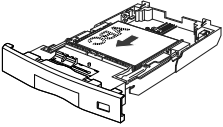
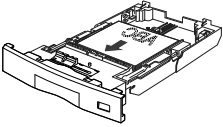
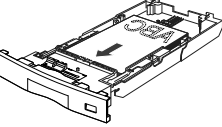
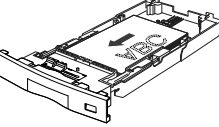
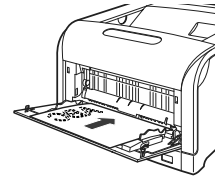
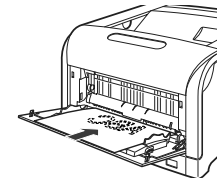
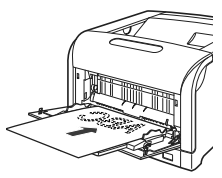
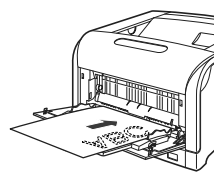
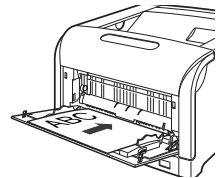
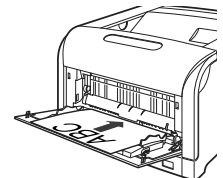
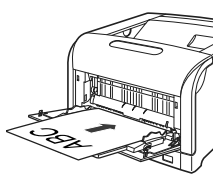
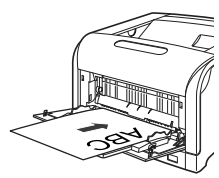
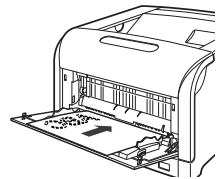
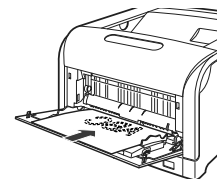
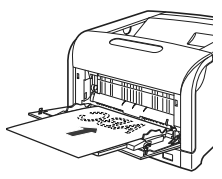
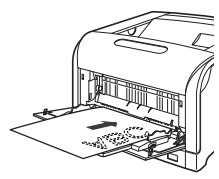
7 ［排紙方法］で［ステイプルソート］を選択します。

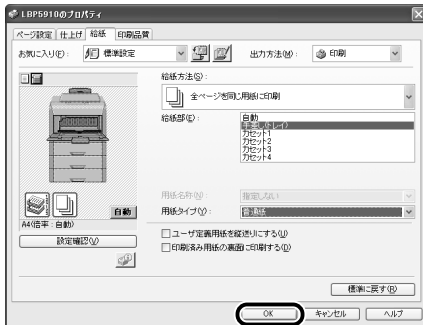
8 ［ステイプル位置指定］をクリックします。

9 ステイプルする位置を選択して、［OK］をクリックします。

ステイプル可能な位置は、用紙サイズや送り方向によって異なります。

10 ［給紙］ページを表示して、［給紙部］を選択します。

11 [用紙タイプ] で [普通紙] または [普通紙 L] を選択します。

[普通紙] に設定して印刷した結果、次のような不具合があった場合は、[普通紙 L] に設定してください。

- 普通紙(64g/m^2)を印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合
- 幅がレターサイズ(279.4mm)以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合

12 [OK] をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

13 [OK] をクリックし、印刷を実行します。

用紙のセット向きについて

レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次のように正しい向きに用紙をセットしてください。表中の➡は給紙方向を表しています。

	A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合		A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合	
	縦レイアウト	横レイアウト	縦レイアウト	横レイアウト
カセット1～4（片面印刷）				
カセット1～4（自動両面印刷）				
手差しトレイ（片面印刷）				
手差しトレイ（自動両面印刷）				
手差しトレイ（手動両面印刷）				

- 封筒、はがきの用紙セットの方向については「手差しトレイに用紙をセットして印刷する」（→ P.2-17）を参照してください。
- セットアップメニューの給紙グループにある「カセット N（N=2、3、4）用紙サイズ」や「手差しトレイ用紙サイズ」の設定を「フリー」に設定しているときに、長辺が 297.0mm 以下のユーザ設定用紙を印刷する場合は、お使いのプリンタドライバにしたがって、次のようにセットしてください。
  LIPS LX プリンタドライバを使用している場合：横置きにセット
  LIPS LX プリンタドライバを使用していない場合：縦置きにセット

トナーカートリッジを交換する

メッセージが表示されたときは

トナーカートリッジは消耗品です。プリンタの使用中にトナーが少なくなると、ディスプレイにメッセージが表示されます。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
16 X ﾄﾅｰ ﾖｳｲ (X は K、Y、M、C)	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・印刷は継続できます ・表示された色の新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量の印刷をするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
16 X ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ (X は K、Y、M、C)	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・プリンタは停止します ・［オンライン］を押すと印刷は継続できます ・表示された色の新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量の印刷をするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
1G X ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ (X は K、Y、M、C)	トナーカートリッジが寿命になったとき	・「1G　K　トナー　コウカン」が表示された場合は、プリンタは停止し、継続して印刷することはできません。 ・「1G　X　トナー　コウカン」(X=Y、M、C）が表示された場合は、モノクロ印刷のみ行うことが可能です。 ・表示された色のトナーカートリッジを新品のトナーカートリッジに交換してください

*　トナーが少なくなったときに「16　X　トナー　ヨウイ」と「16　X　トナー　コウカン」のどちらが表示されるかは、セットアップメニューの「警告処理」の設定によります。本プリンタの工場出荷時の状態では、「16　X　トナー　ヨウイ」が表示されるように設定されています。「警告処理」の設定については、LIPS機能ガイド「第3章共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

*　メッセージの“K”はブラック、“Y”はイエロー、“M”はマゼンタ、“C”はシアンの各トナーカートリッジを表しています。

● トナーカートリッジの寿命について

本プリンタ用トナーカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、次のようになっています。このページ数は下記の条件でのページ数です。

印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定値、用紙サイズ：A4、用紙タイプ：普通紙

トナーの消費量は、印刷する書類の内容によって異なります。図・表・グラフなどのように空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、このような書類を多く印刷する場合はトナーカートリッジの寿命が短くなります。

・Canon Toner Cartridge 502 Black（キヤノン　トナーカートリッジ　５０２　ブラック）：約 10,000 ページ
・Canon Toner Cartridge 502 Yellow（キヤノン　トナーカートリッジ　５０２　イエロー）：約 6,000 ページ
・Canon Toner Cartridge 502 Magenta（キヤノン　トナーカートリッジ　５０２　マゼンタ）：約 6,000 ページ
・Canon Toner Cartridge 502 Cyan（キヤノン　トナーカートリッジ　５０２　シアン）：約 6,000 ページ

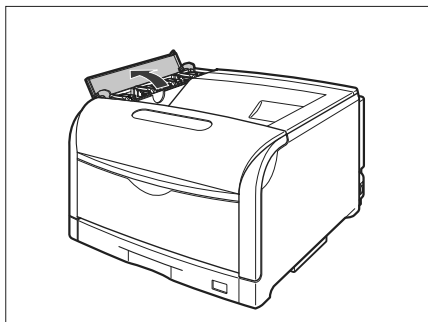
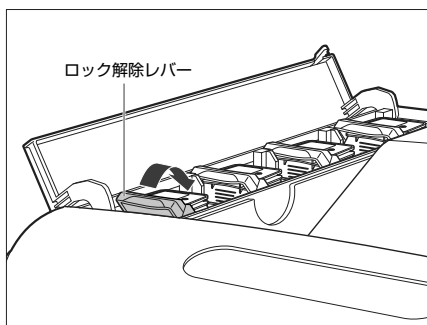
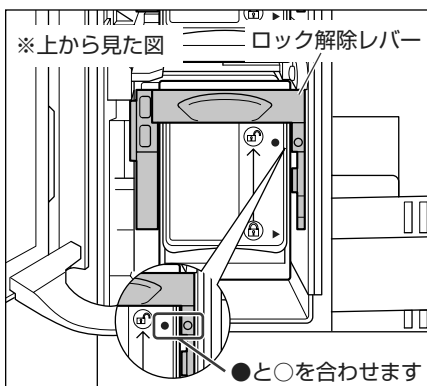
トナーカートリッジの交換

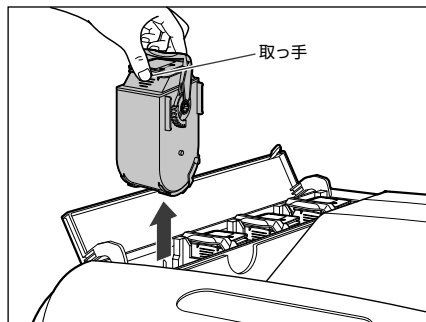
次のメッセージが表示されたときは、表示された色のトナーカートリッジを新品のカートリッジに交換してください。

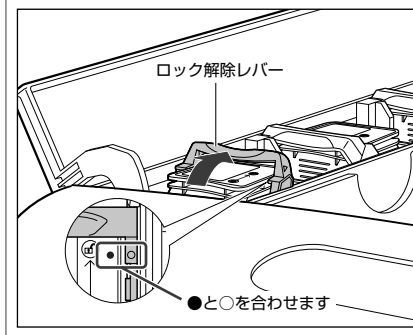
- 「1G　K　トナー　コウカン」・・・ブラックのトナーカートリッジを交換します
- 「1G　Y　トナー　コウカン」・・・イエローのトナーカートリッジを交換します
- 「1G　M　トナー　コウカン」・・・マゼンタのトナーカートリッジを交換します
- 「1G　C　トナー　コウカン」・・・シアンのトナーカートリッジを交換します

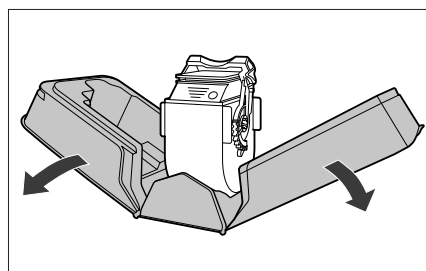
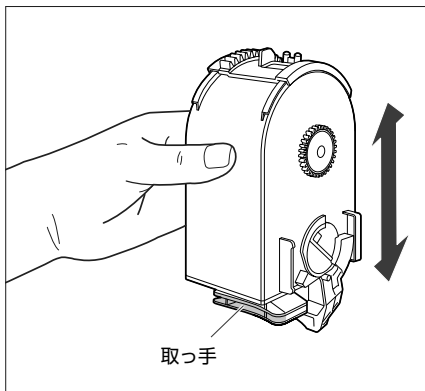
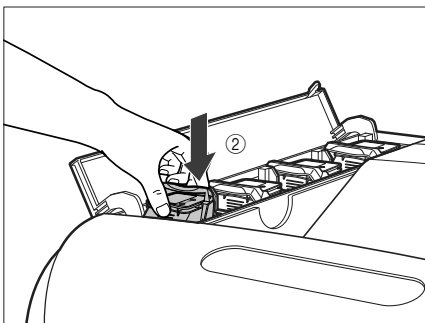
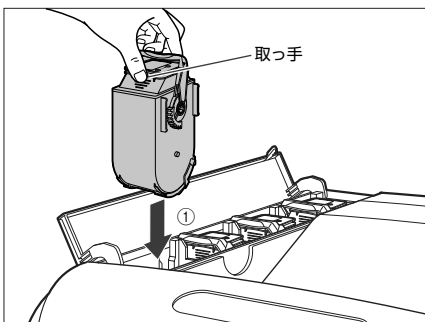
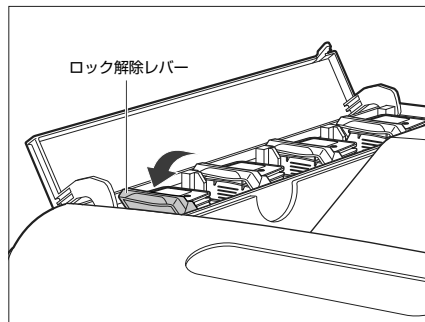
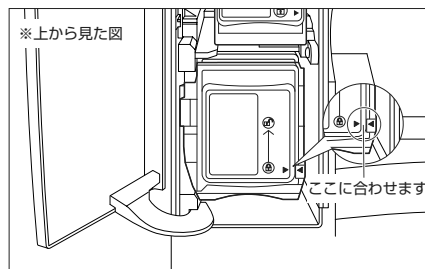
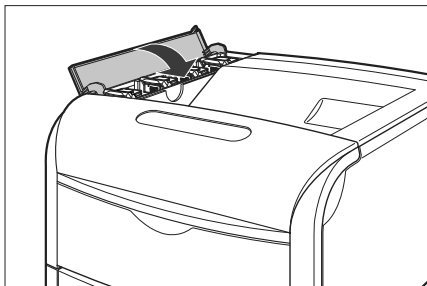
*　梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 トナーカバーを開けます。

トナーカートリッジは、奥からイエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの順に取り付けられています。

2 交換する色のトナーカートリッジのロック解除レバーを「🔓」の位置まで倒して、ロックを解除します。

ロック解除レバーの「○」をトナーカートリッジの「●」に合わせます。

3 図のようにトナーカートリッジの取っ手を持って取り外します。

ロック解除レバーは持たないでください。
「●」と「○」の位置がずれてしまう場合があります。

Point

- 取り外せない場合は、ロック解除レバーの「○」とトナーカートリッジの「●」を再度合わせてください。

4 新しいトナーカートリッジを箱から取り出します。

5 トナーカートリッジを保護パックから取り出します。

6 図のようにトナーカートリッジの取っ手部分を下側にして、上下に往復 10 回振って、内部のトナーを均一にならします。

7 図のように取っ手を持って、トナーカートリッジを挿入し ①、止まるまでゆっくりと押し込みます ②。

8 ロック解除レバーを「🔒」の位置まで倒して、トナーカートリッジをロックします。

ロック解除レバーの三角マークをトナーカートリッジの三角マークに合わせます。

9 トナーカバーを閉めます。

Check!

トナーカートリッジをセットしても、「1G　X　トナー　コウカン」が消えるまで数秒時間がかかります。「1G　X　トナー　コウカン」が消えない場合は、次の操作を行ってください。

1. 交換したトナーカートリッジを取り出す
2. 取っ手部分を下側にして、再度上下に強く振って、内部のトナーを均一にならす
3. トナーカートリッジを取り付ける

「1G　X　トナー　コウカン」のメッセージが表示されていない状態で、トナーカートリッジを交換した場合は、ユーザーズガイド「第 5 章 日常のメンテナンス」を参照して、トナーカートリッジのカウンタのリセットを行います。

ドラムカートリッジを交換する

メッセージが表示されたときは

ドラムカートリッジは消耗品です。ドラムカートリッジが寿命に近づくと、ディスプレイに次のメッセージが表示されますので、メッセージに応じて対処してください。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
EO X ﾄﾞﾗﾑ ﾖｳｲ （X は K、Y、M、C）	ドラムカートリッジの交換時期が近づいたとき	・印刷は継続できます ・表示された色の新品のドラムカートリッジを用意してください ・大量の印刷をするときは、ドラムカートリッジを交換することをおすすめします
EF X ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ （X は K、Y、M、C）	ドラムカートリッジが寿命になったとき	・プリンタは停止します ・［オンライン］を押すとそのまま印刷を継続できますが、印字品質が低下することがあります ・表示された色の新品のドラムカートリッジに交換してください
98 X ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ （X は K、Y、M、C）	ドラムカートリッジが使用できなくなったとき	・プリンタは停止し、継続して印刷することはできません ・表示された色の新品のドラムカートリッジに交換してください

* メッセージの“K”はブラック、“Y”はイエロー、“M”はマゼンタ、“C”はシアンの各ドラムカートリッジを表しています。

● ドラムカートリッジの寿命について
- 本プリンタ用ドラムカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、次のようになっています。
  このページ数は下記の条件でのページ数です。
  印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定値、用紙サイズ：A4、用紙タイプ：普通紙、連続／片面印刷
  · Canon Drum Cartridge 502 Black（キヤノン　ドラムカートリッジ　５０２　ブラック）：約 50,000 ページ
  · Canon Drum Cartridge 502 Yellow（キヤノン　ドラムカートリッジ　５０２　イエロー）：約 50,000 ページ
  · Canon Drum Cartridge 502 Magenta（キヤノン　ドラムカートリッジ　５０２　マゼンタ）：約 50,000 ページ
  · Canon Drum Cartridge 502 Cyan（キヤノン　ドラムカートリッジ　５０２　シアン）：約 50,000 ページ
- 2 枚ずつ間隔をあけて印刷（2 枚間欠印刷）を行なう場合の本プリンタ用ドラムカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、ブラック約 45,000 ページ、カラー各色約 40,000 ページとなります。この数値はカラー印刷のみを行った場合の印刷可能なページ数です。
  モノクロ印刷をした場合でも、各カラーのドラムカートリッジの消耗は進むため、モノクロ印刷を多く行ったときには、各カラーのドラムカートリッジの寿命が半分程度の枚数になることがあります。
- 間欠印刷（間隔をおいた印刷）、用紙サイズ、用紙タイプ、片面 / 両面印刷など、印刷条件や印刷環境によっては、半分程度の枚数になることがあります。

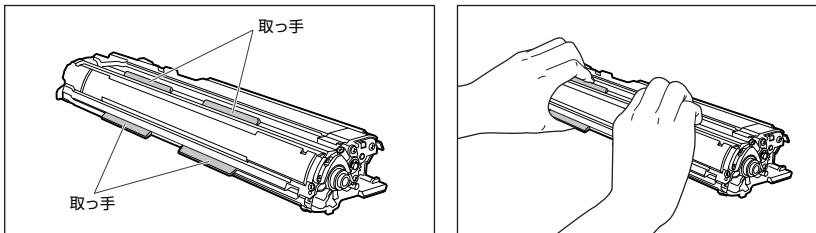
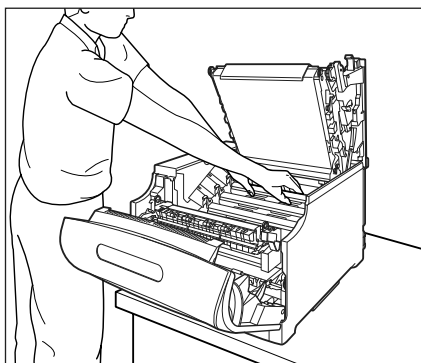
ドラムカートリッジの交換

次のメッセージが表示されたときは、表示された色のドラムカートリッジを新品のドラムカートリッジに交換してください。

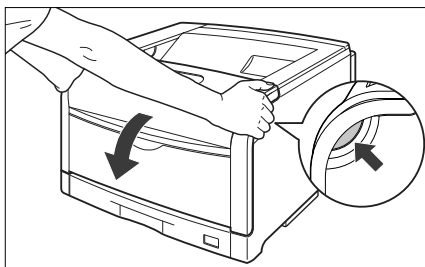
- 「EF　K　ドラムコウカン」・・・ブラックのドラムカートリッジを交換します
- 「EF　Y　ドラムコウカン」・・・イエローのドラムカートリッジを交換します
- 「EF　M　ドラムコウカン」・・・マゼンタのドラムカートリッジを交換します
- 「EF　C　ドラムコウカン」・・・シアンのドラムカートリッジを交換します

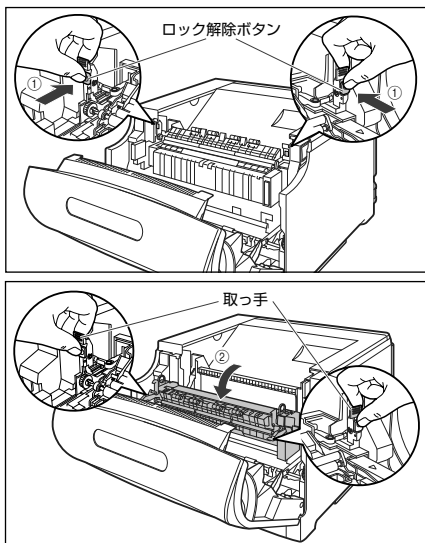
* 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

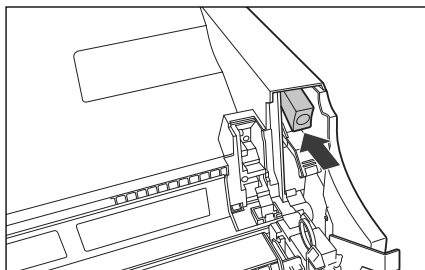
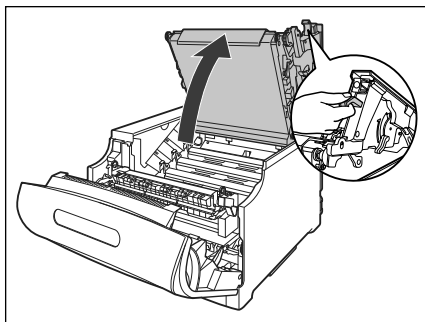
Point

- ドラムカートリッジを取り扱う際は、図のように青色の取っ手を持って正しく取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。

- ドラムカートリッジは、保護袋に入っています。ドラムカートリッジをセットする準備ができるまで、保護袋から取り出さないでください。
- ドラムカートリッジを取り外すときや取り付けるときは、図のようにプリンタの左側から作業を行ってください。

交換するドラムカートリッジを取り出す

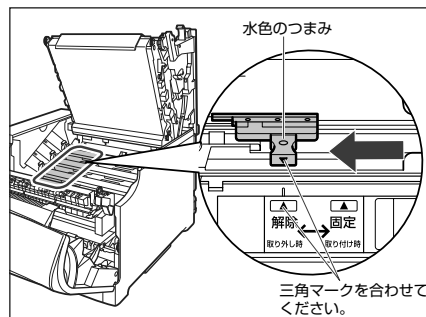
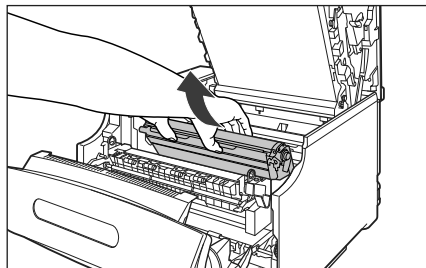
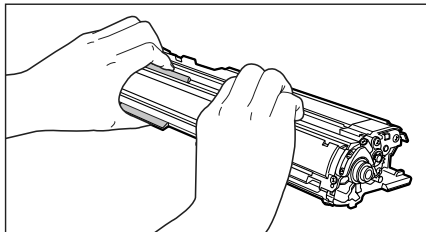
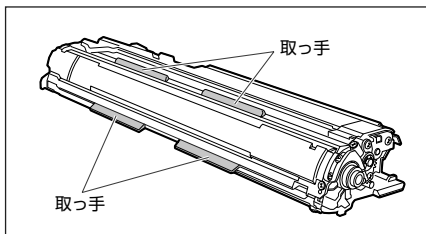
1 前カバーを開けます。

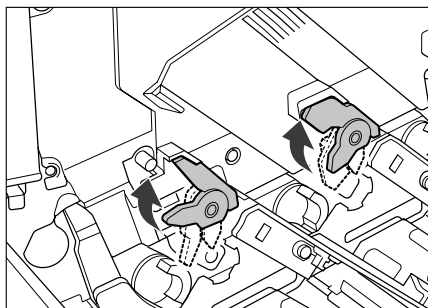
前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

2 定着器を手前に倒します。

図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。

3 上カバーを開けます。

上カバーの青色のロック解除ボタンを押します。

上カバーのレバーを持って、上カバーを開けます。

4 交換する色のドラムカートリッジの水色のつまみを「解除」の位置までスライドさせて、ロックを解除します。

水色のつまみの三角マークとラベルの三角マークが合う位置までスライドさせます。

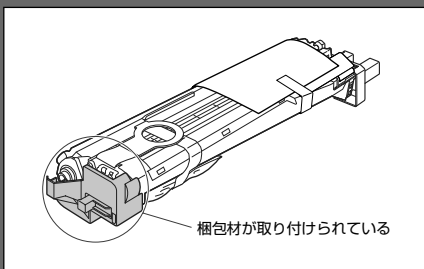
ドラムカートリッジは、奥からイエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの順に取り付けられています。

5 ドラムカートリッジを取り出します。

ドラムカートリッジは、図のように青色の取っ手を持って取り外します。

レバーが図のように上がっていることを確認してください。レバーが下がっているとドラムカートリッジを正しく取り付けることはできません。

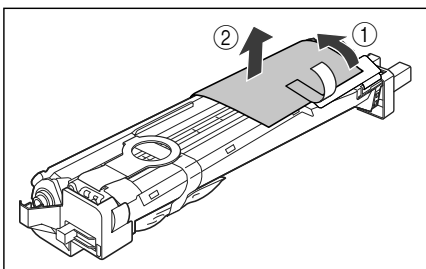
図のように手でレバーを押し上げてください。

新しいドラムカートリッジを取り付ける

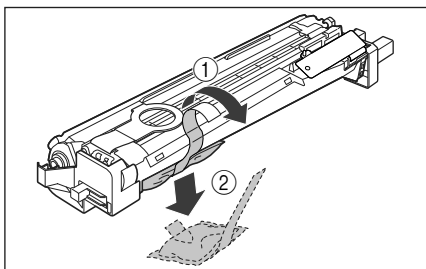
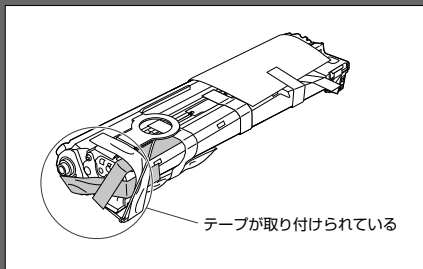
1 新しいドラムカートリッジを箱から取り出します。

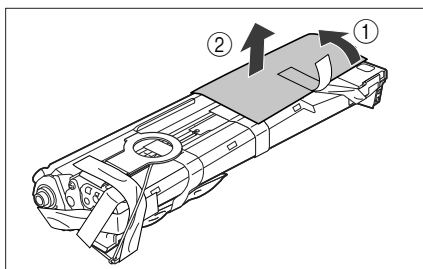
2 保護袋からドラムカートリッジを取り出します。

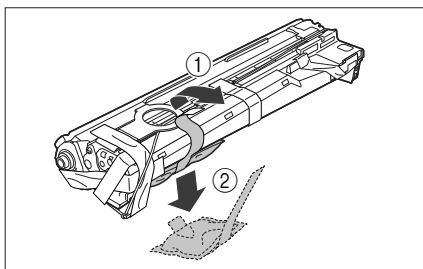
3 交換用のドラムカートリッジは、2 種類あります。梱包状態によって、手順が異なりますので、梱包状態を確認します。

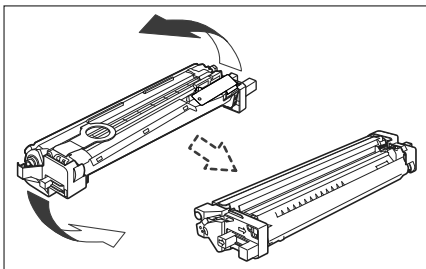
●次の部分に梱包材が取り付けられている場合

a 注意事項が記載されている用紙をドラムカートリッジから取り外して、内容をよく読みます。

用紙はテープをはがしてから ①、取り外します ②。

b 図の位置にあるテープ付き乾燥剤（1 個）を取り外します。

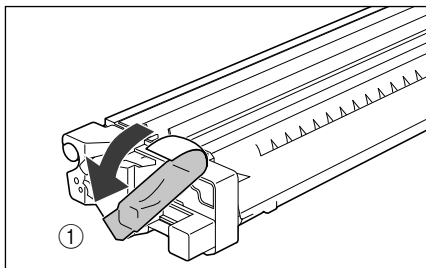
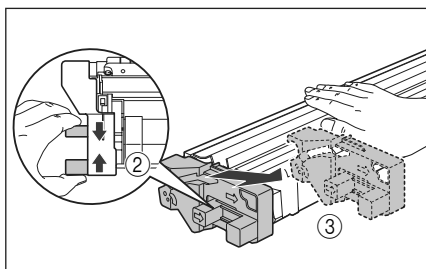
テープ付き乾燥剤はテープをはがしてから①、取り外します ②。

●次の部分にテープが取り付けられている場合

a 注意事項が記載されている用紙をドラムカートリッジから取り外して、内容をよく読みます。

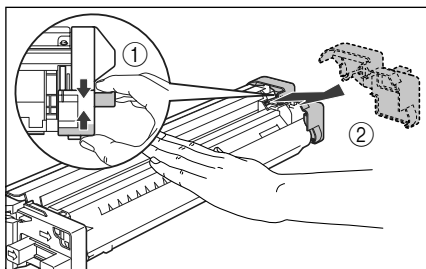
用紙はテープをはがしてから ①、取り外します ②。

b 図の位置にあるテープ付き乾燥剤（1 個）を取り外します。

テープ付き乾燥剤はテープをはがしてから①、取り外します ②。

梱包材が取り付けられている場合の続き

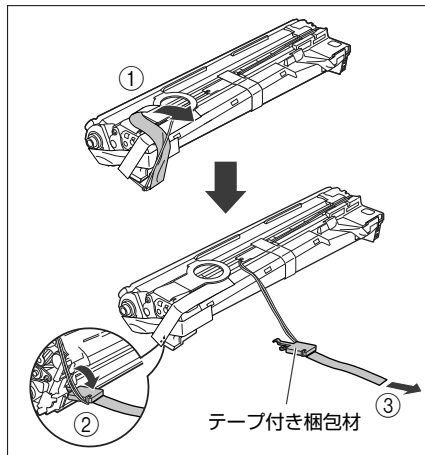
c ドラムカートリッジをゆっくりと矢印の方向に裏返します。

d 左右にある梱包材（2 個）を取り外します。

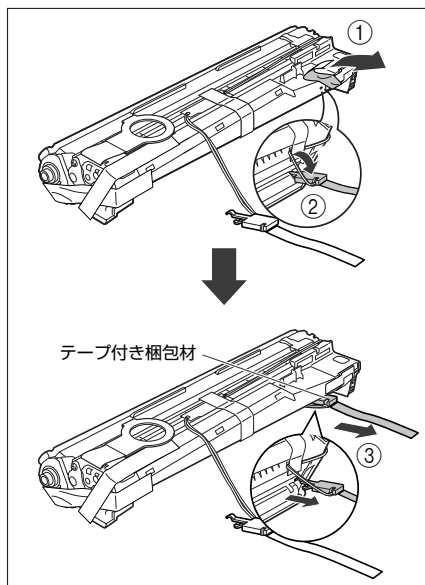
●左側

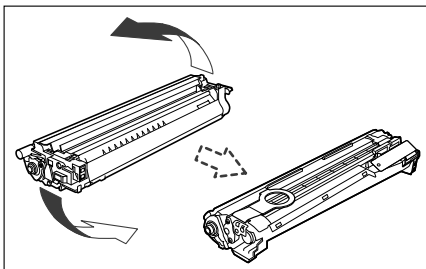
図の位置にあるテープ(1 枚)を取り外します ①。

梱包材の取っ手をつまみ ②、斜め上方向に取り外します③。

●右側

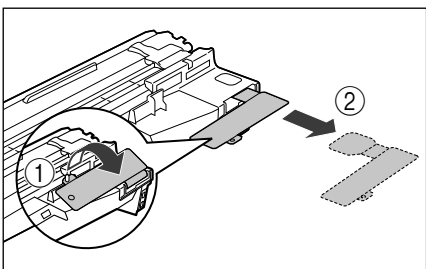
梱包材の取っ手をつまみ ①、斜め上方向に取り外します ②。

テープが取り付けられている場合の続き

c 図の位置にあるテープ付き梱包材（1 個）を取り外します。

テープ付き梱包材は、テープを取り外し ①、梱包材も同時に取り外します。梱包材が取り外せない場合は、倒してから ②、取り外します ③。

d 図の位置にあるテープ付き梱包材（1 個）を取り外します。

テープ付き梱包材は、テープを取り外し ①、梱包材も同時に取り外します。梱包材が取り外せない場合は、倒してから ②、取り外します ③。

梱包材が取り付けられている場合の続き

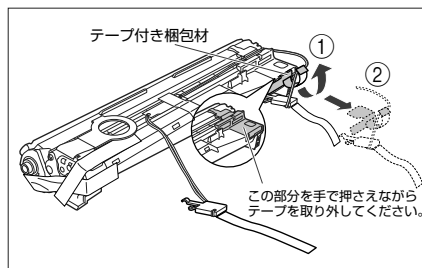
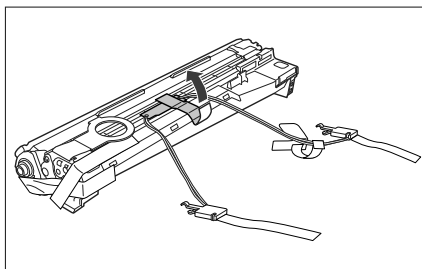
e ドラムカートリッジをゆっくりと元に戻します。

f 図の位置にある梱包材（1 個）を取り外します。

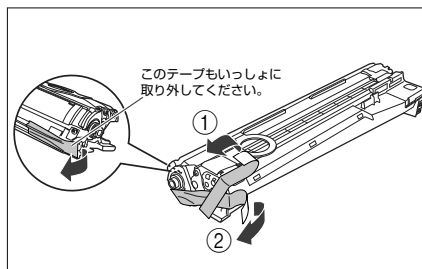
梱包材は、手前に倒してから ①、引き抜きます ②。

g 手順 4 に進みます。

テープが取り付けられている場合の続き

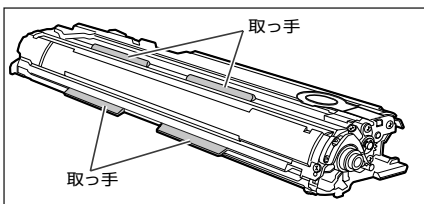
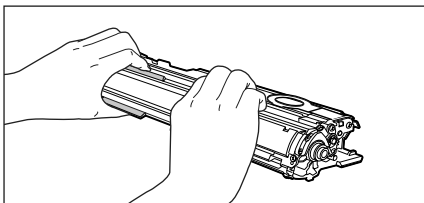
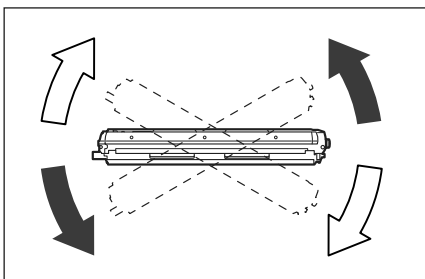
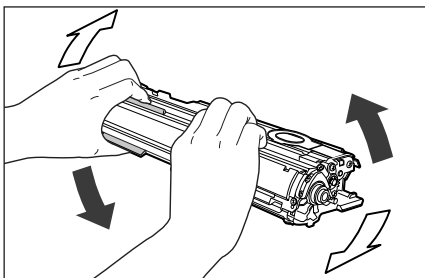
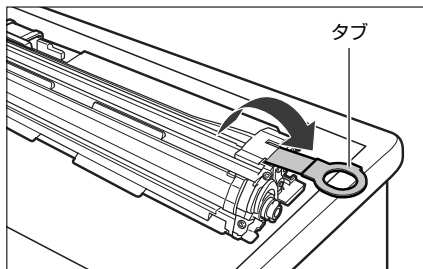
e 図の位置にあるテープ付き梱包材（1 個）を取り外します。

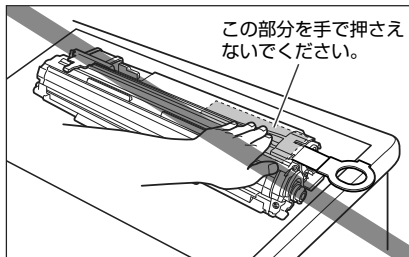
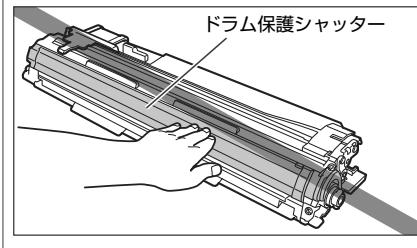
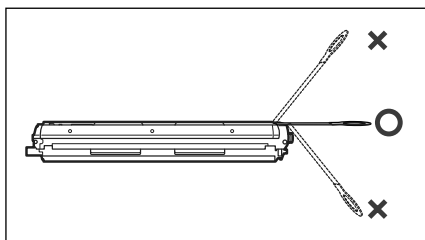
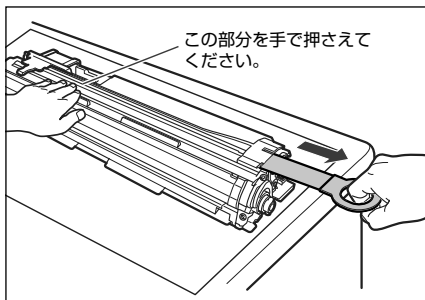
テープ付き梱包材は、テープをはがしてから ①、梱包材を引き抜いてください ②。

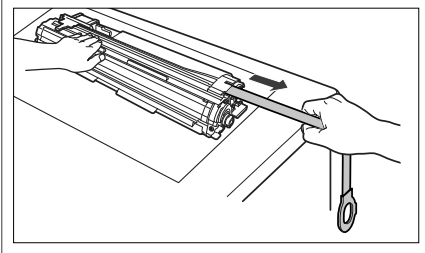
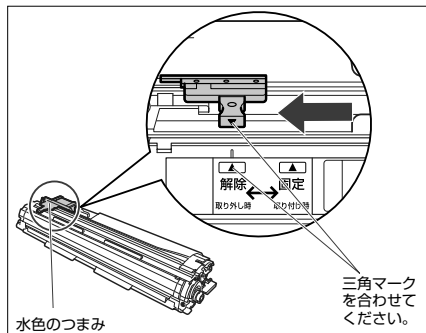
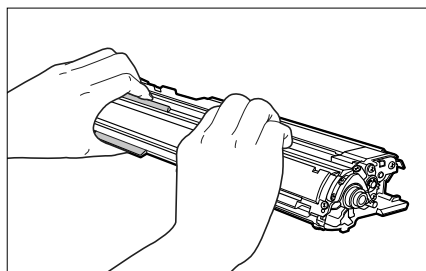
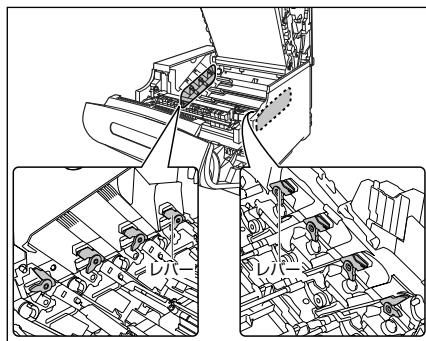
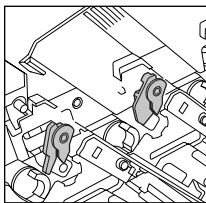
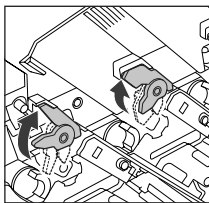
テープを取り外す際は、青色のシャッターを手で押さえながらゆっくりと取り外します。

f 図の位置にあるテープ（1 枚）とタグ（2 個）を取り外します。

g 図の位置にあるテープ（3 枚）を ①、② の順に取り外します。

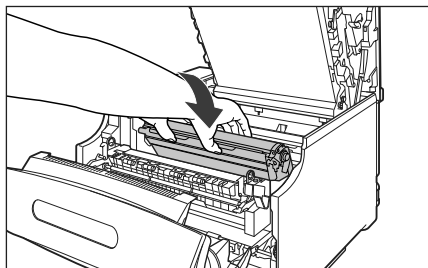
② で取り外すテープは、テープの後端にもう 1 枚のテープが貼り付いていますので、いっしょに取り外します。

h 手順 4 に進みます。

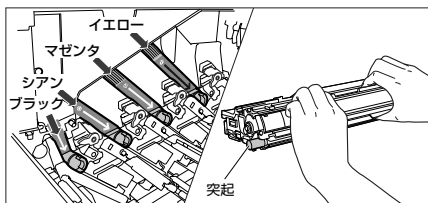
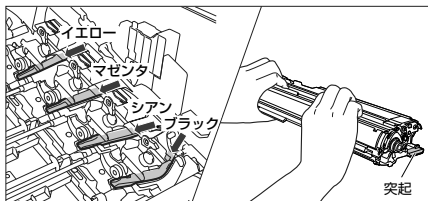
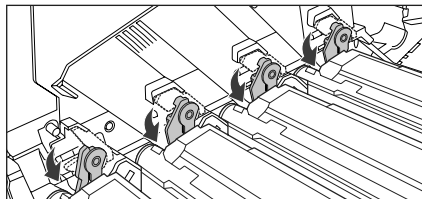
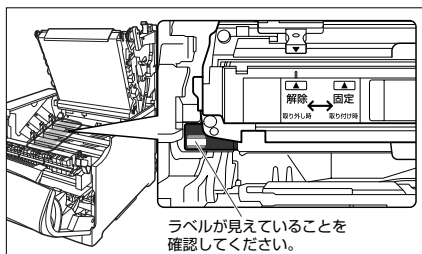
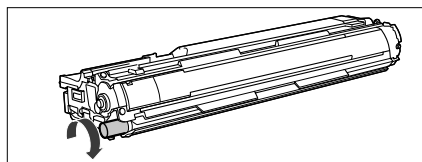
4 ドラムカートリッジの青色の取っ手を持ち、図のように往復 10 ～ 12 回振って、内部の現像剤を均一にならします。

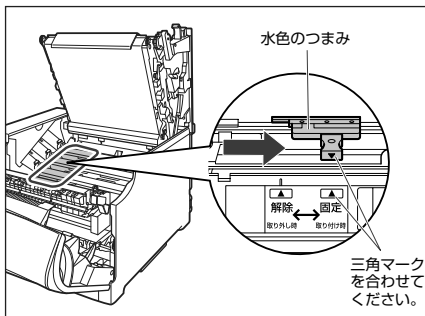
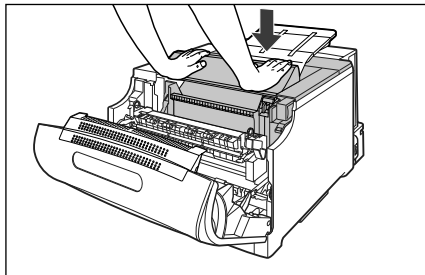
ドラムカートリッジの青色の取っ手を持ちます。

ドラムカートリッジを図のように往復 10 ～ 12 回振ります。

5 平らな場所に用紙などを敷いて、その上にドラムカートリッジを置き、シーリングテープのタブを図のように倒します。

Point

- ドラムカートリッジを置くときは、ドラムカートリッジの底面で机などを傷つけないために、用紙などをドラムカートリッジの下に敷いてください。
- シーリングテープを引き抜くときは、シーリングテープの引き出し口付近を手で押さえないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。

- シーリングテープを引き抜くときは、ドラム保護シャッターを手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。

6 ドラムカートリッジを押さえながらシーリングテープ（長さ約 70cm）をゆっくりと水平にまっすぐ引き抜きます。
シーリングテープを引き抜く際、重くなる場合がありますが故障ではありませんので最後まで完全に引き抜きます。

Point

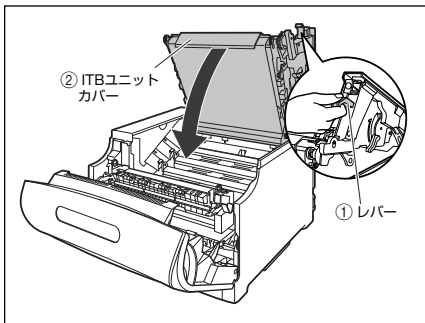
シーリングテープのタブを持って引き抜きにくい場合は、図のようにテープ部分を持って引き抜いてください。ただし、シーリングテープには、トナーが付着していますので、トナーで手が汚れることがあります。

7 ドラムカートリッジをセットする前に、図のように水色のつまみの三角マークとラベルの「解除」の三角マークの位置を同じ位置に合わせてください。

ドラムカートリッジをセットするときは、図のように青色の取っ手を持ちます。

8 左右のドラムカートリッジガイド付近にあるレバーが、図のように上がっているか確認します。

レバーが下がっているとドラムカートリッジを正しく取り付けることはできません。
図のように手でレバーを押し上げてください。

●下がっている状態　●上がっている状態

9 ドラムカートリッジを取り付けます。

ドラムカートリッジは奥に突き当たるまで確実に取り付けます。

図のようにドラムカートリッジの左右の突起をドラムカートリッジガイドの矢印に沿って挿入します。

●ドラムカートリッジガイド（左）

●ドラムカートリッジガイド（右）

10 左右のドラムカートリッジガイド付近にあるレバーが、図のように下がっていることを確認します。

11 ドラムカートリッジの突起部のラベルが見えていることを確認します。

見えない場合は、一度ドラムカートリッジを取り出し、矢印の方向にカチッと止まるまで回してから、取り付けなおしてください。

12 取り付けた色のドラムカートリッジの水色のつまみを「固定」の位置までスライドさせて、ドラムカートリッジを固定します。

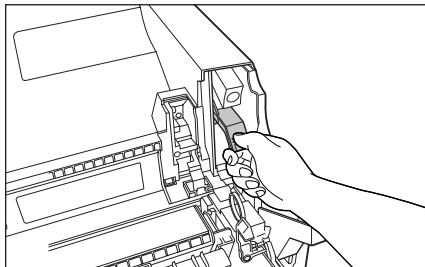
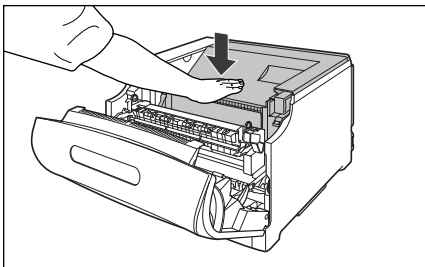
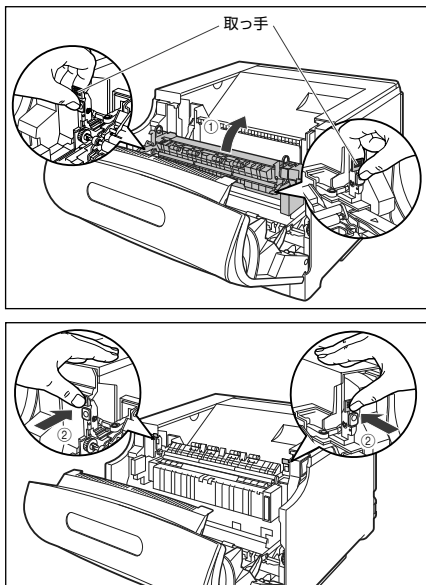
水色のつまみの三角マークとラベルの三角マークが合う位置までスライドさせます。

13 上カバーを閉めます。

プリンタの上カバーはレバーを持って ①、ゆっくりと閉めます。

上カバーを勢いよく閉めると、ITB ユニットカバー ② が元の位置に戻らず、プリンタが破損する原因になります。

・LBP5910
図のように上カバーの「PUSH」と記載されている部分を押して、上カバーを突き当たるまで確実に閉めます。

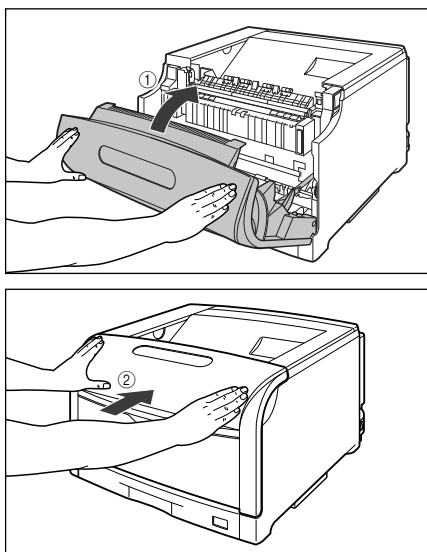
・LBP5910F
図のように両手で押して、上カバーを突き当たるまで確実に閉めます。

Point

上カバーを閉めるときは、両手で図の位置（突起部分の両端）を押してください。

14 図のようにレバーを持って、上カバーが開かないことを確認します。

15 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。

16 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。

Point

前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

回収トナー容器を交換する

メッセージが表示されたときは

回収トナー容器がいっぱいになると、ディスプレイにメッセージが表示されますので、メッセージに応じて対処してください。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
E1 カイシュウトナー ヨウイ	回収トナー容器の交換時期が近づいたとき	・印刷は継続できます ・新品の回収トナー容器を用意してください
E1 カイシュウトナー コウカン	回収トナー容器がいっぱいになったとき	・プリンタは停止します ・新品の回収トナー容器に交換してください

● 回収トナー容器の寿命について
- 本プリンタ用回収トナー容器（回収トナーボックス WT-98B）は、約6,200 ページでいっぱいになります。このページ数は下記の条件でのページ数です。
  印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定値、用紙サイズ：A4、用紙タイプ：普通紙、2 枚間欠／片面印刷
- 間欠印刷（間隔をおいた印刷）、用紙サイズ、用紙タイプ、片面 / 両面印刷など、印刷条件や印刷環境によっては、半分程度の枚数になることがあります。

Point

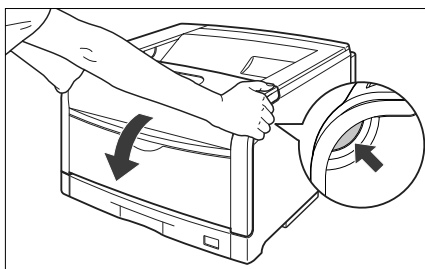
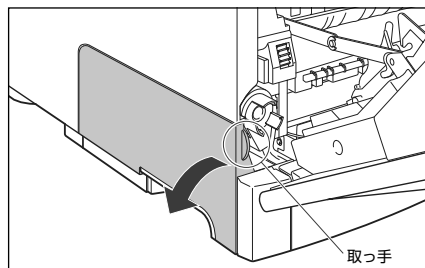
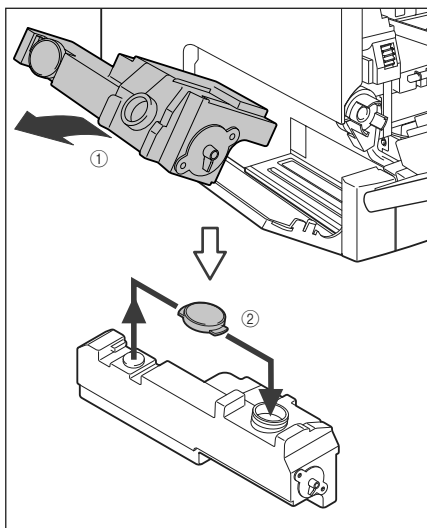
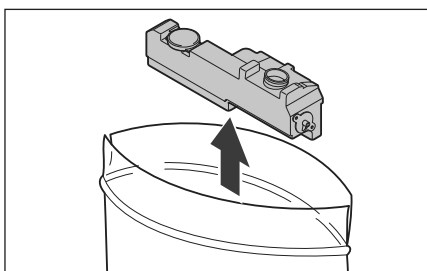
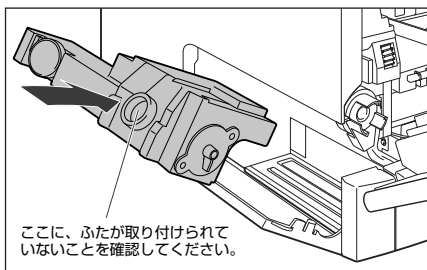
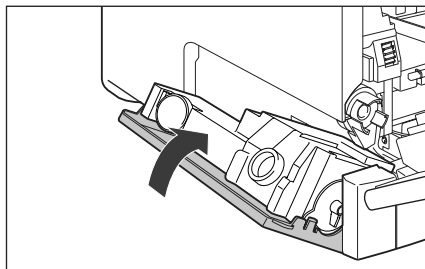
「E1　カイシュウトナー　ヨウイ」や「E1　カイシュウトナー　コウカン」のメッセージが表示された回収トナー容器は、プリンタから取り外した後は、再びセットすることはできません。トナーがあふれる恐れがありますので、必ず新しい回収トナー容器と交換してください。

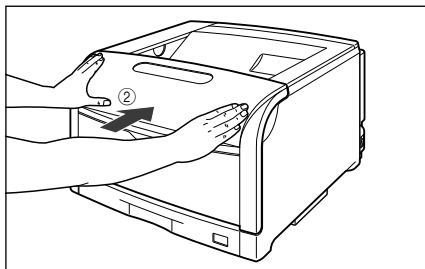
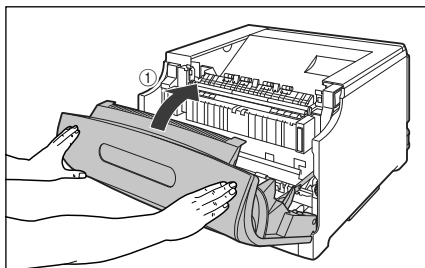
回収トナー容器の交換

「E1　カイシュウトナー　コウカン」のメッセージが表示されたときは、次の手順で新しい回収トナー容器と交換してください。

*　梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 前カバーを開けます。

前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

2 回収トナーカバーの取っ手を持って、回収トナーカバーを開けます。

3 古い回収トナー容器を取り外し ①、付属のふたを取り付けます ②。

4 新しい回収トナー容器を保護袋から取り出します。

5 新しい回収トナー容器を取り付けます。

6 回収トナーカバーを閉めます。

7 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。

Point

前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

● 使用済み回収トナー容器の回収について

使用済み回収トナー容器は、新しい回収トナー容器が入っていた保護袋に入れて、密封してください。

なお、回収方法については、キヤノンホームページを参照してください。

針カートリッジを交換する（LBP5910F のみ）

メッセージが表示されたときは

針カートリッジの針がなくなると、「1D　ハリガ　アリマセン」または「1D　ハリ　カクニン」のメッセージが表示されます。

● 針カートリッジの寿命について
本プリンタ用の針カートリッジ（ステイプル・S1）には、1,000 本の針が入ってます。交換用の針カートリッジは、3 個セットでお買い求めいただけます。

針カートリッジの交換

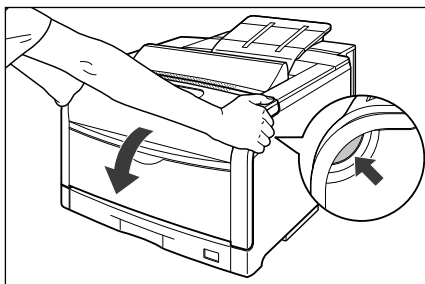
「1D　ハリガ　アリマセン」または「1D　ハリ　カクニン」のメッセージが表示されたときは、次の手順で新しい針カートリッジと交換してください。

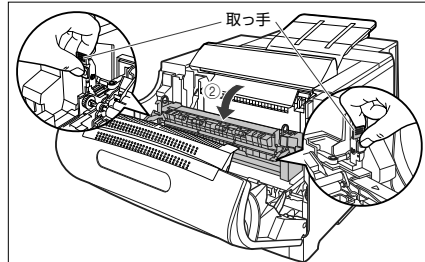
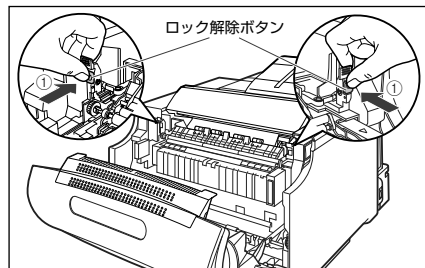
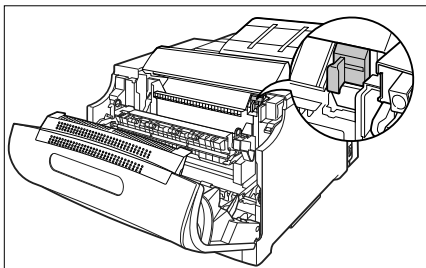
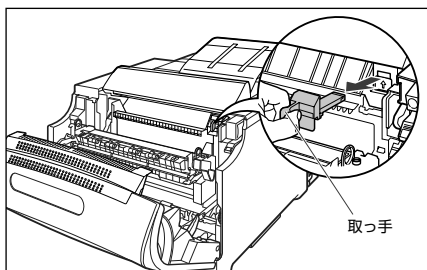
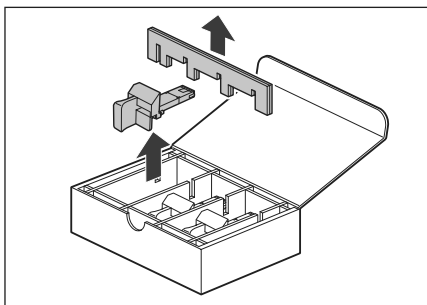
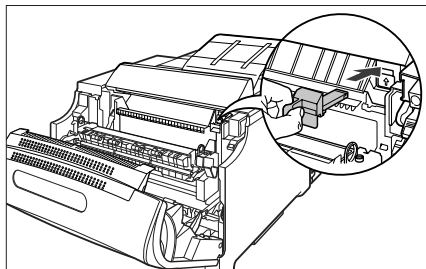
*　梱包材は予告なく位置、形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

Point

「1D　ハリガ　アリマセン」が表示されたときは、[オンライン] を押してエラースキップしてください。エラースキップすると、ステイプルされない場合がありますが、印刷を継続できます。印刷が終了したら、針カートリッジを交換してください。

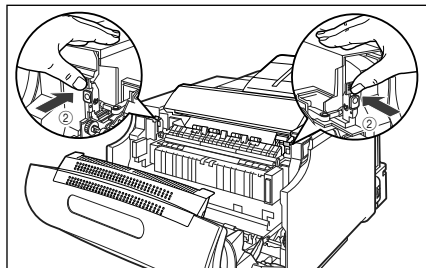
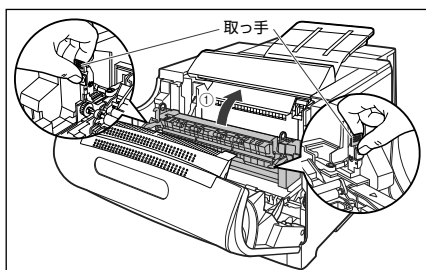
1 前カバーを開けます。

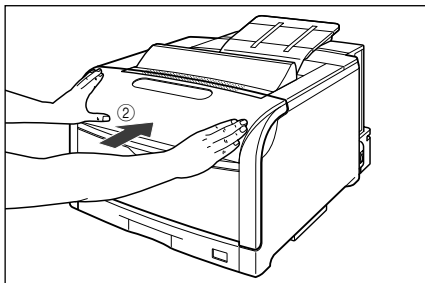
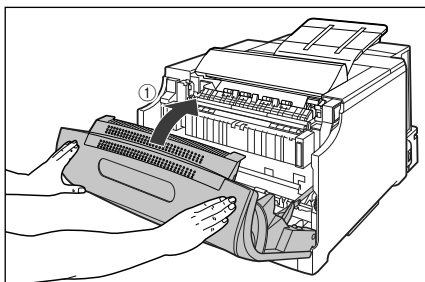
前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

2 定着器を手前に倒します。

図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。

3 針カートリッジは図の位置にあります。

4 針カートリッジの取っ手を持って、プリンタから取り外します。

5 新しい針カートリッジを箱から取り出します。

6 新しい針カートリッジの取っ手を持って、プリンタに取り付けます。

針カートリッジは、カチッと音がするまで差し込んでください。

Point

針カートリッジはまっすぐ差し込んでください。差し込む途中で上向きに力を入れると取っ手が外れることがあります。取っ手が外れた場合は、取っ手を元に戻してください。取っ手が外れたまま、針カートリッジを使用すると紙づまりの原因になります。

7 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。

8 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。

Point

前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

ITB ユニットの転写ベルトを清掃する

ITB ユニットの転写ベルトに触れてしまうと、印字品質が低下する場合があります。そのような場合に、次の手順で ITB ユニットの転写ベルトの清掃を行います。

クリーニングの実行にかかる時間は、約 180 秒です。

クリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。

カラーバランスを調整したいときには

印刷結果が全体に赤っぽかったり、青っぽかったり、カラーバランスが適切でないときは、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）のトナー濃度をそれぞれ調節し、補正することができます。トナー濃度は、1 ～ 16 の範囲で設定でき、工場出荷時には標準的な濃度（9）に設定されています。

操作パネルのキーで設定するときは、次の手順で操作します。

トラブルの対処法

Chapter

3

トラブル解決マップ 3-2
プリンタの色味が変わってしまったときには. 3-4
紙づまりが起こったときには. 3-5
紙づまりの位置 3-5
紙づまりの除去手順. 3-6
針づまりが起こったときには（LBP5910F のみ）. 3-12
こんなメッセージが表示されたら 3-15
「12　カバーガ　アイテイマス」が表示されたときは 3-15
「Ennn-nnnn」「F9-nn　チェックプリンタ」が表示されたときは . . 3-18
メッセージ一覧 3-19
正しく印刷できないときは 3-27
プリンタが動作しない・印刷できないときは. 3-34

トラブル解決マップ

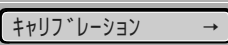
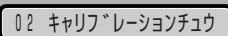
本プリンタを使用中に異常が発生したときは、次の手順にしたがってチェックしてください。

NetSpot Job Monitor
またはプリントモニタに
メッセージが表示
されている
いいえ
出力先に本プリンタが選択されていない
はい
プリンタの電源が入っていない
→ユーザーズガイド
はい
“ステータスを取得
できませんでした”が
表示されている
プリンタがオフラインになっている
→ユーザーズガイド
ケーブルが正しく接続されていない
→ユーザーズガイド
いいえ
“ヨウシガ　アリマセン”が表示されている
→「給紙カセットに用紙をセットする」(P.2-6)
→「手差しトレイに用紙をセットする」(P.2-17)
“ヨウシガ　ツマリマシタ”が表示されている
→「紙づまりが起こったときには」(P.3-5)
“トナー　コウカン”が表示されている
→「トナーカートリッジを交換する」(P.2-43)
はい
エラーメッセージが
表示されている
“ドラムコウカン”が表示されている
→「ドラムカートリッジを交換する」(P.2-47)
“テイチャクキ　ヨウイ”が表示されている
→ユーザーズガイド
いいえ
“カイシュウトナー　コウカン”が表示されている
→「回収トナー容器を交換する」(P.2-59)
“ハリガ　アリマセン”が表示されている
→「針カートリッジを交換する（LBP5910Fのみ）」(P.2-61)
サービスコールが表示されている
→「「Ennn-nnnn」、「F9-nn　チェックプリンタ」
が表示されたときには」（P.3-18）
その他のエラーメッセージが表示されている
→「メッセージ一覧」(P.3-19)
プリンタのジョブ
ランプが点滅したまま
になっている
はい
いいえ
印刷データを処理中です
しばらくお待ちください
前のジョブが残っていて印刷できない
→「印刷の中止方法」(P.1-8)

プリンタの色味が変わってしまったときには

色味が変わり正しい色（指定した色）で印刷されないときや色ずれが発生するときなどに、キャリブレーションを行います。

キャリブレーションにかかる時間は、約50秒です。

キャリブレーションは、以下の操作で行います。

紙づまりが起こったときには

印刷中に、何らかの理由で紙づまりが起こると、ピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「13　ヨウシガ　ツマリマシタ」というメッセージが表示されます。紙づまりが起こったときは、次の手順でつまった用紙を取り除き、印刷を再開します。手順通り用紙を取り除いても紙づまりのメッセージが消えないときは、まだ用紙の断片などが内部に残っている可能性があります。再度プリンタの各部を点検し、つまっている用紙を完全に取り除いてください。

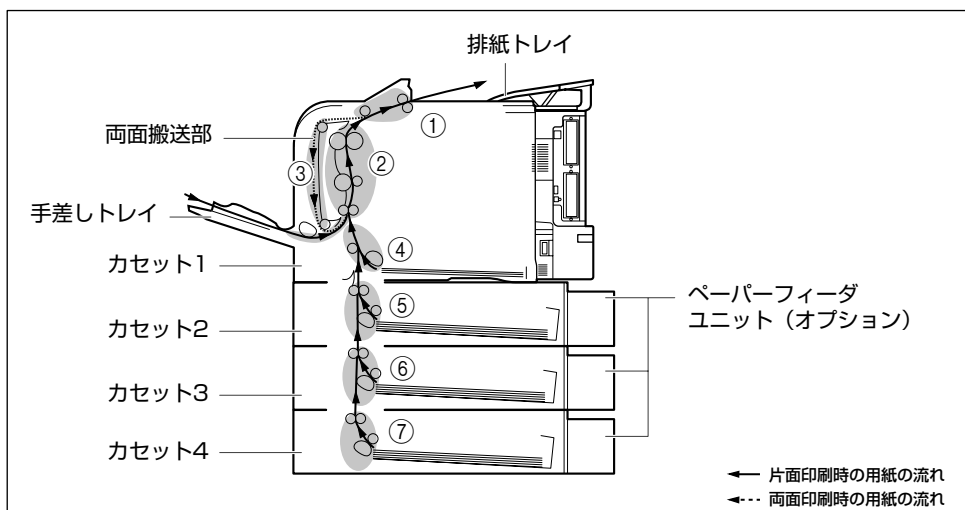
13 ヨウシカ゛ ツマリマシタ

マエカハ゛ー エリア

メッセージが 1 つずつ順に表示されますので、すべてを確認してください。

メッセージはカバーを開けると表示されなくなりますので、必要に応じてメモに書きとめておいてください。

紙づまりの位置

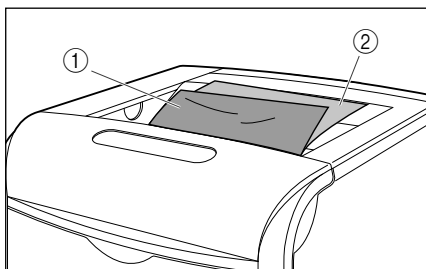
ディスプレイに表示されているメッセージは、紙づまりが起きた場所を示しており、次の種類があります。

紙づまり位置		ディスプレイメッセージ
①	排紙部	ハイシ　エリア
②	前カバー内部	マエカバー　エリア
③	前カバー内側（両面搬送部）	リョウメンユニット　エリア
④	カセット 1	カセット 1　エリア
⑤	カセット 2（ペーパーフィーダ装着時のみ）	カセット 2　エリア
⑥	カセット 3（ペーパーフィーダ装着時のみ）	カセット 3　エリア
⑦	カセット 4（ペーパーフィーダ装着時のみ）	カセット 4　エリア

紙づまりの除去手順

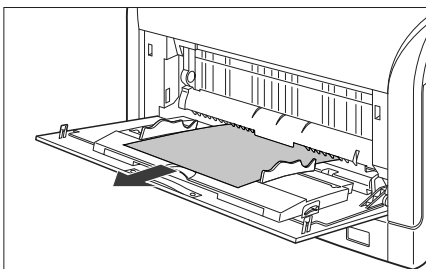
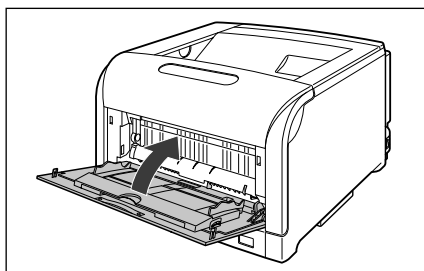
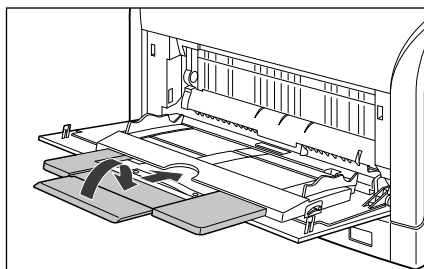
次の手順にしたがって、つまっている用紙を取り除きます。

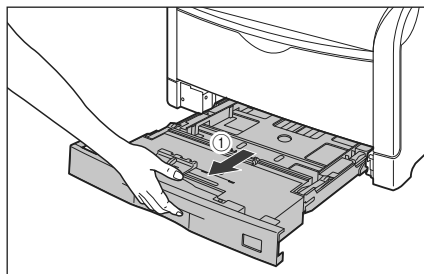
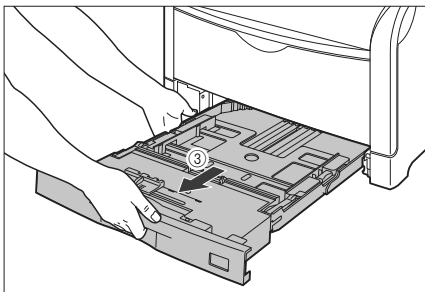
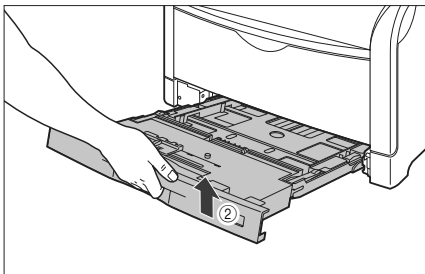
Point

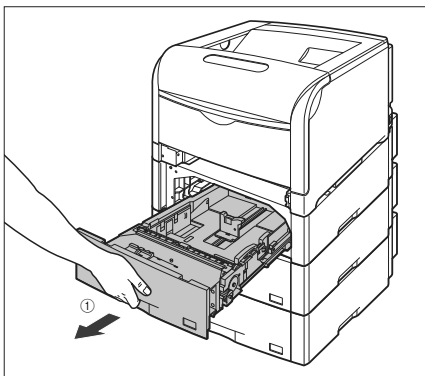
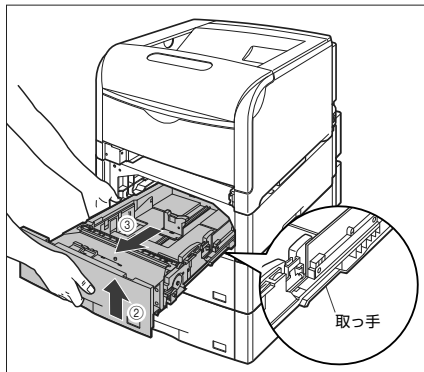
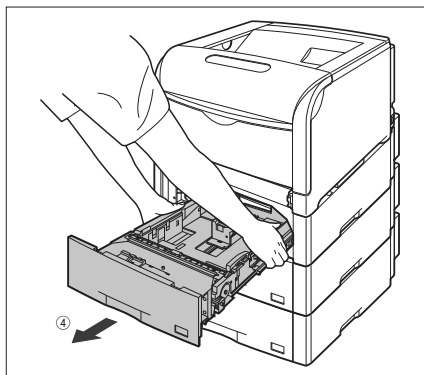
つまっている用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

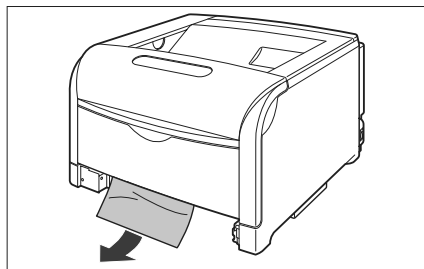
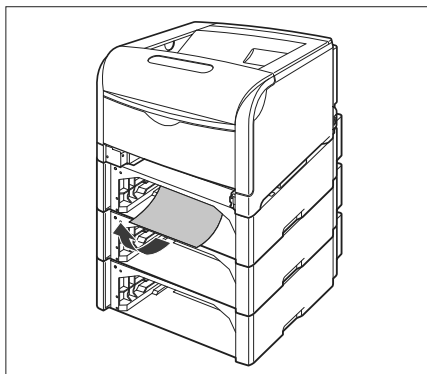
1 排紙トレイをチェックし、つまっている用紙①と排紙された用紙②をすべて取り除きます。

Point

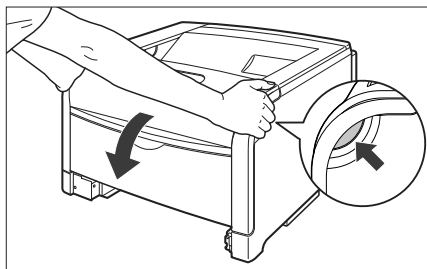
紙づまりの原因になりますので、印刷中は、排紙トレイに用紙や物を置かないでください。

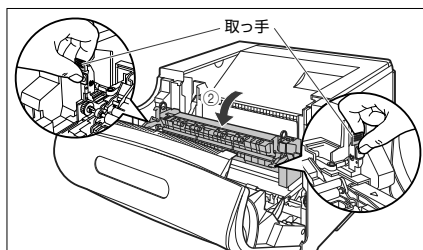
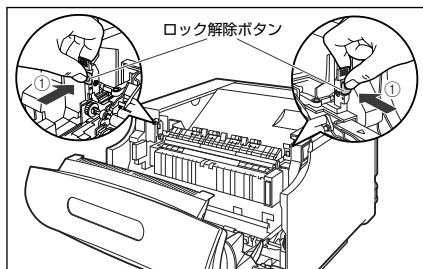
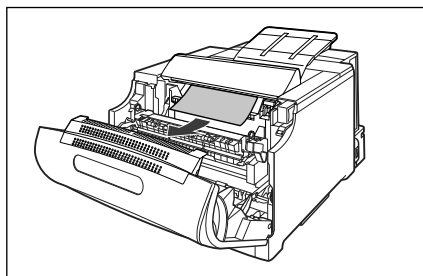
2 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイにつまっている用紙を取り除きます。

3 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイを閉めます。

4 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。

5 ペーパーフィーダが装着されている場合は、上段からすべての給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。

図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。

6 用紙を押し下げるように、つまっている用紙を取り除きます。

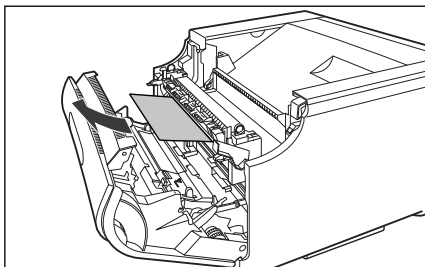
プリンタの場合

ペーパーフィーダの場合

7 前カバーを開けます。

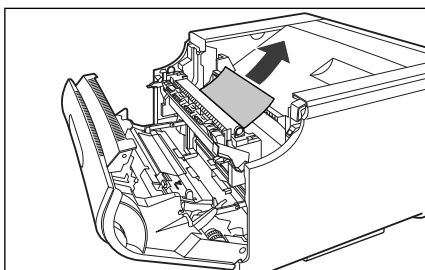
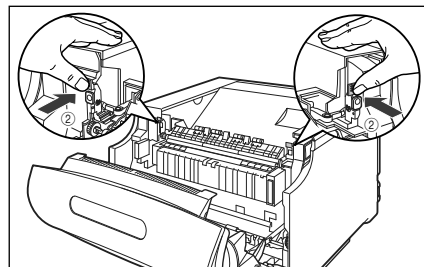
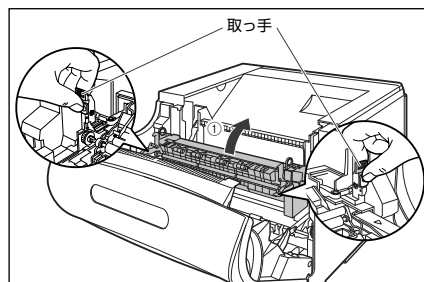
前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

8 定着器を手前に倒します。

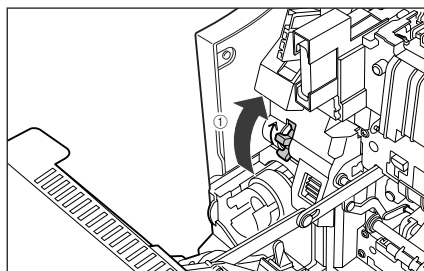
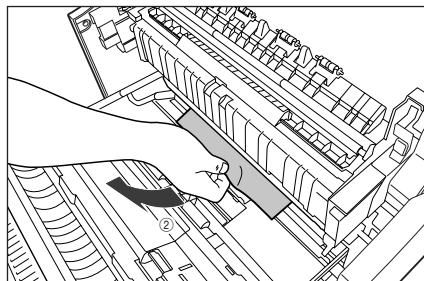
図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。

9 LBP5910F をお使いの場合は、排紙部につまっている用紙を取り除きます。

Point

排紙部で紙づまりが頻繁に起こる場合は、針カートリッジが取り付けられていることを確認してください（→針カートリッジを交換する（LBP5910Fのみ）：P.2-61）。

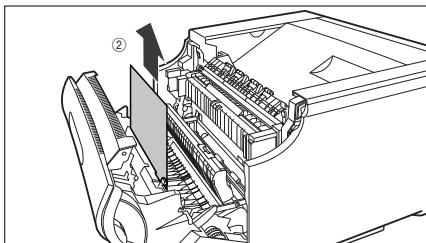
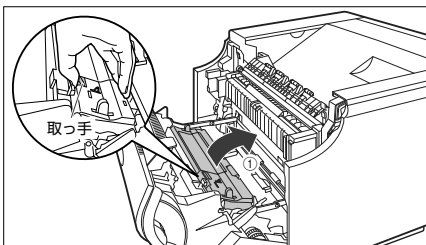
10 定着器の手前側から、つまっている用紙を取り除きます。

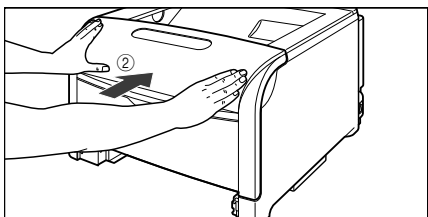
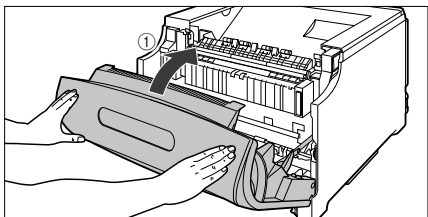
つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、ゆっくりと強く引いて取り除いてください。
それでも、つまった用紙が取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

11 定着器の奥側から、つまっている用紙を取り除きます。

定着していないトナーが飛びちらないように、ゆっくりと強く引いてつまっている用紙を取り除きます。

12 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。

13 定着器の下側につまっている用紙を取り除きます。

図のように定着器の左側にあるダイヤルを矢印の方向に回し、つまっている用紙を送り出します ①。

図のようにつまっている用紙を取り除きます ②。

Point

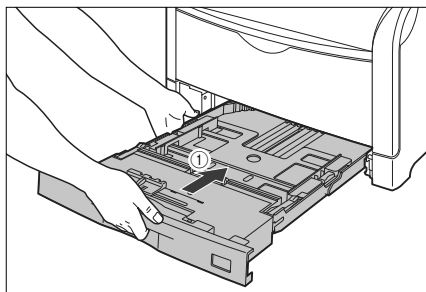
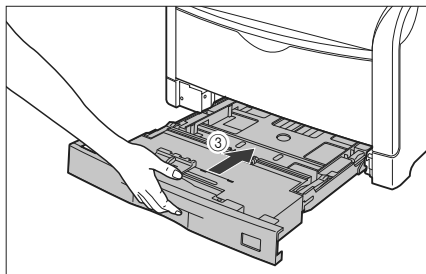
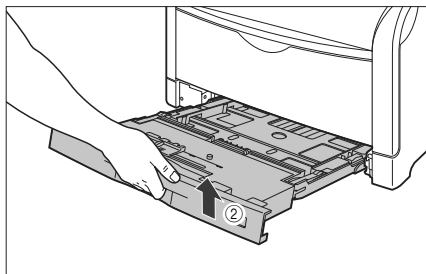
用紙が奥につまっている場合がありますので、ダイヤルをよく回して、用紙を送り出してください。

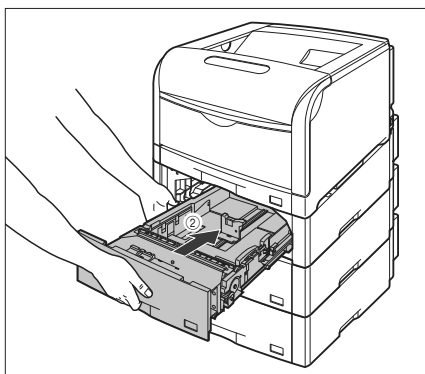
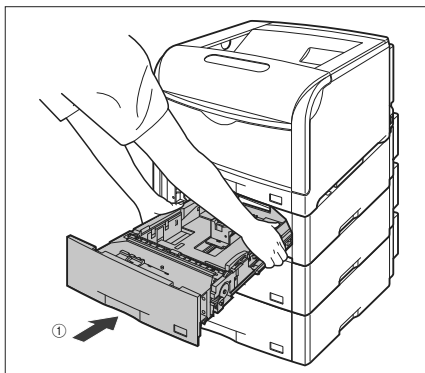
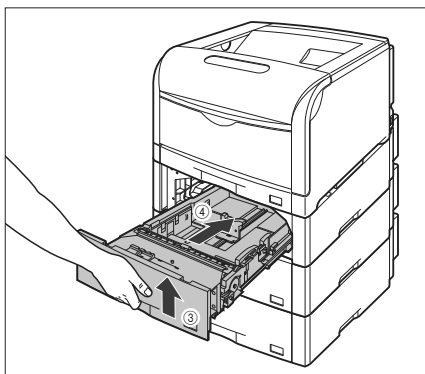
14 両面印刷して紙づまりが起こった場合は、図のように前カバー内側の取っ手を持って両面搬送部のカバーを開け ①、つまっている用紙を取り除きます ②。

15 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。

Point

前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

16 給紙カセットをプリンタにセットします。

図のように給紙カセットを両手で持って、止まる位置まで差し込みます ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ③。

17 ペーパーフィーダが装着されている場合は、上段からすべての給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。

給紙カセットを両手で持って図の位置まで押し込み①、右手で給紙カセットの手前を持ち、止まる位置まで押し込みます②。

給紙カセットの手前を少し持ち上げて③、給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます④。

Point

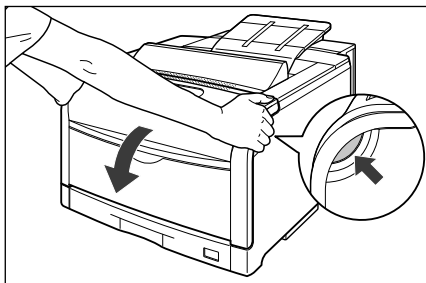
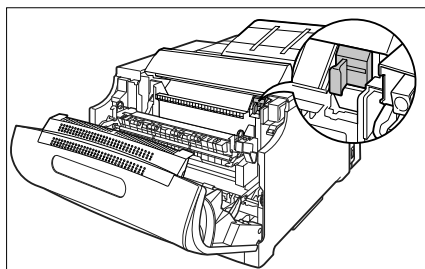
手順通りに紙づまりの除去を行っても、前カバー内部で紙づまりが起こっていることを示すメッセージが消えないときは、定着器の下側に用紙が残っている可能性があります。手順 13 にしたがって、ダイヤルをよく回して、つまっている用紙を送り出して取り除いてください。

針づまりが起こったときには（LBP5910F のみ）

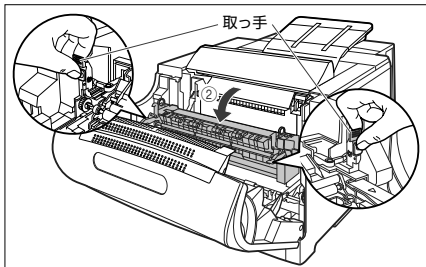
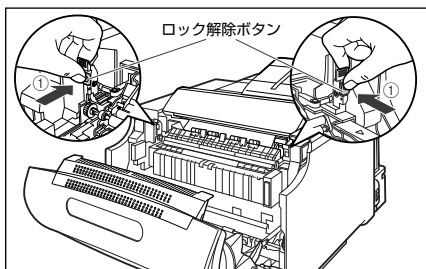
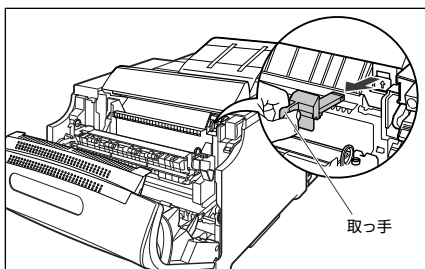
ステイプル中に、何らかの理由で針づまりが起こると、ピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「1E　ハリガ　ツマリマシタ」というメッセージが表示されます。

次の手順にしたがって、つまっている針を取り除きます。

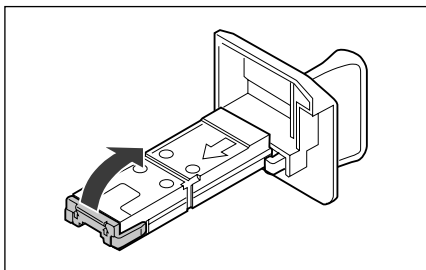
1 前カバーを開けます。

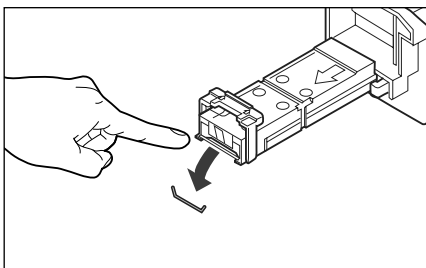
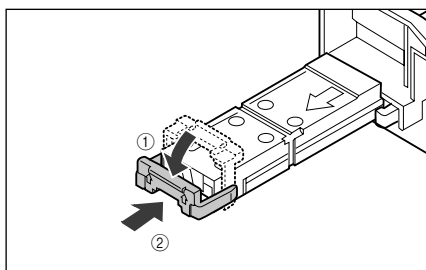
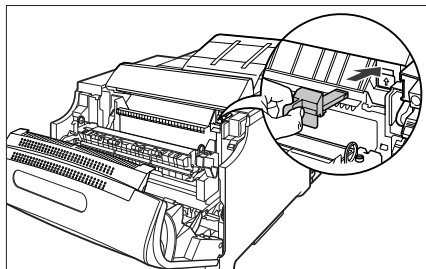
前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

2 定着器を手前に倒します。

図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。

3 針カートリッジは図の位置にあります。

4 針カートリッジの取っ手を持って、プリンタから取り外します。

Point

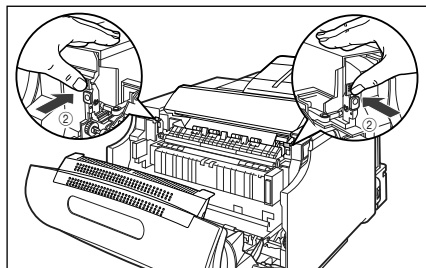
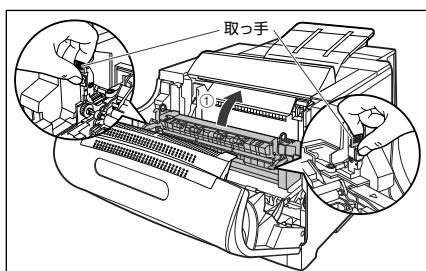
針カートリッジは、まっすぐに引き出してください。上向きに引き出すと取っ手が外れることがあります。取っ手が外れた場合は、取っ手を元に戻してください。取っ手が外れたまま、針カートリッジを使用すると紙づまりの原因になります。

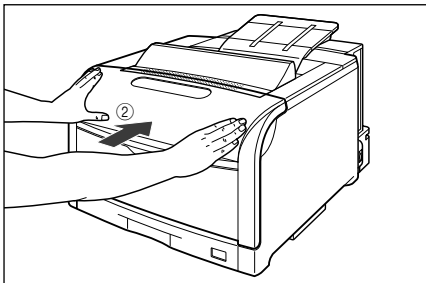
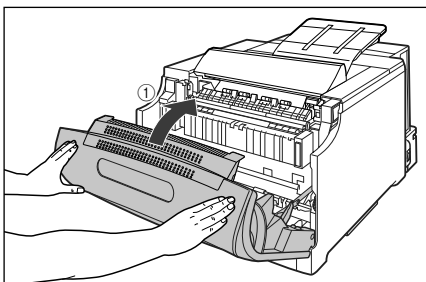
5 図のように針カートリッジのカバーを開けます。

6 つまったり、曲がっている針をすべて取り除きます。

ステイプルする前の針は、直線の状態です。

7 図のように針カートリッジのカバーを閉めます。

8 針カートリッジの取っ手を持って、プリンタに取り付けます。

針カートリッジは、カチッと音がするまで差し込んでください。

Point

針カートリッジはまっすぐ差し込んでください。差し込む途中で上向きに力を入れると取っ手が外れることがあります。取っ手が外れた場合は、取っ手を元に戻してください。取っ手が外れたまま、針カートリッジを使用すると紙づまりの原因になります。

9 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。

10 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。

Point

前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

こんなメッセージが表示されたら

「12　カバーガ　アイテイマス」が表示されたときは

前カバーや上カバーが開いている場合、次のメッセージが操作パネルのディスプレイに表示されます。

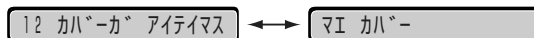
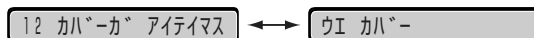
●前カバーが開いている場合

「12　カバーガ　アイテイマス」と「マエ　カバー」が交互に表示されます。

`12 ｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ` ←→ `ﾏｴ ｶﾊﾞｰ`

●上カバーが開いている場合

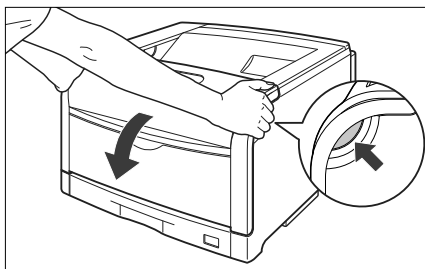
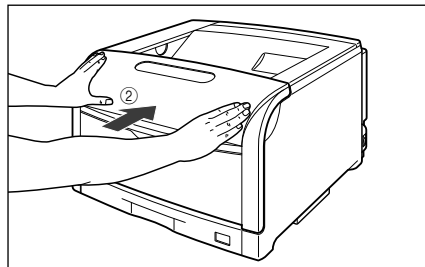
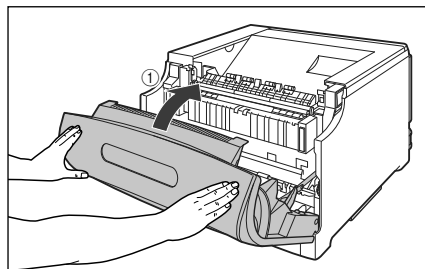
「12　カバーガ　アイテイマス」と「ウエ　カバー」が交互に表示されます。

`12 ｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ` ←→ `ｳｴ ｶﾊﾞｰ`

このようなメッセージが表示されたら、次の手順にしたがってディスプレイに表示されたカバーを再度しっかりと閉めなおしてください。

- 前カバーの閉めかた（→ P.3-15）
- 上カバーの閉めかた（→ P.3-16）

前カバーの閉めかた

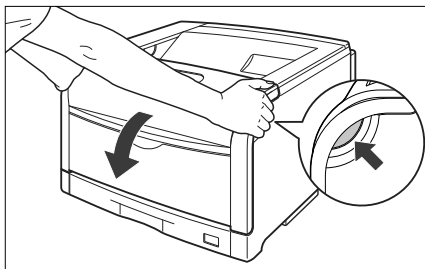
1 **前カバーを開けます。**

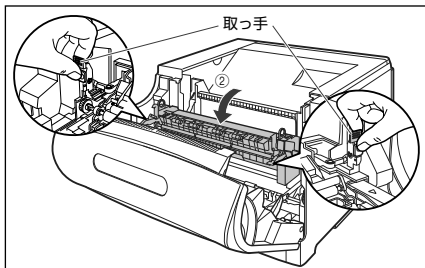
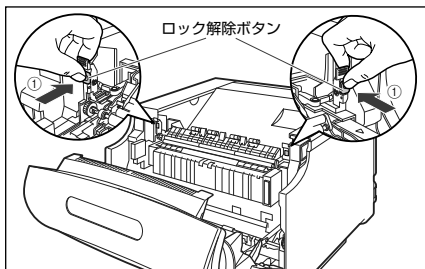
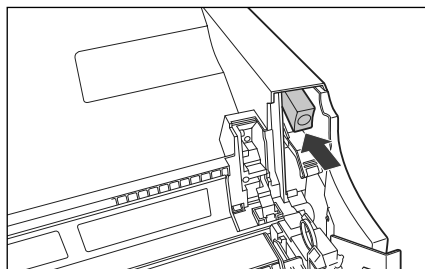
前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

2 **図のように両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して、しっかりと閉めます ②。**

Point

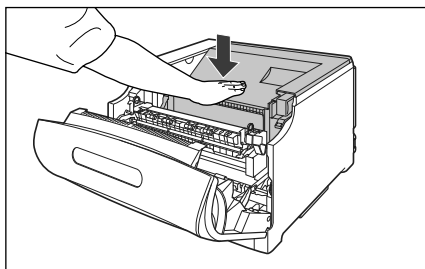
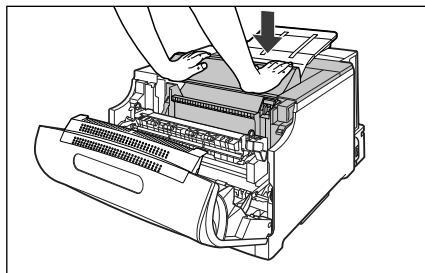
前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

上カバーの閉めかた

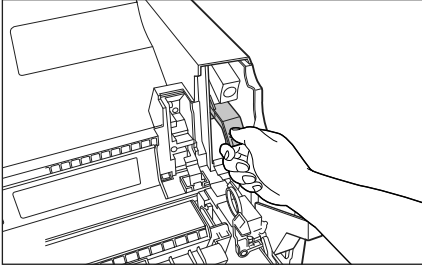
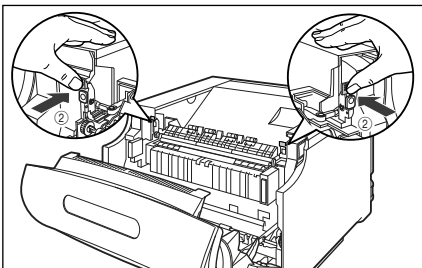
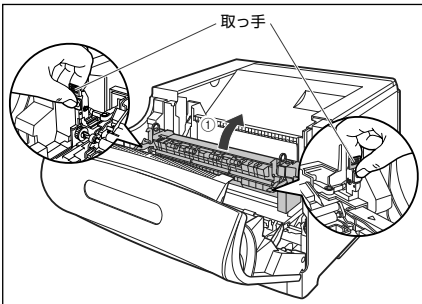
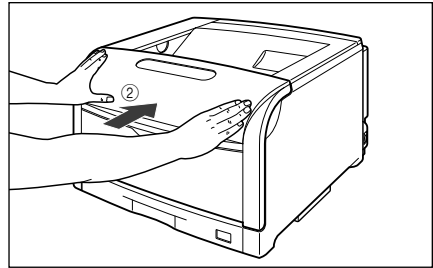
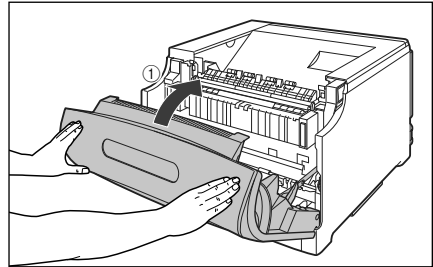
1 前カバーを開けます。

前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

2 定着器を手前に倒します。

図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。

3 上カバーの青色のロック解除ボタンを押します。

4 上カバーを閉めます。

・LBP5910
図のように上カバーの「PUSH」と記載されている部分を押して、上カバーを突き当たるまで確実に閉めます。

・LBP5910F
図のように両手で押して、上カバーを突き当たるまで確実に閉めます。

Point

上カバーを閉めるときは、両手で図の位置（突起部分の両端）を押してください。

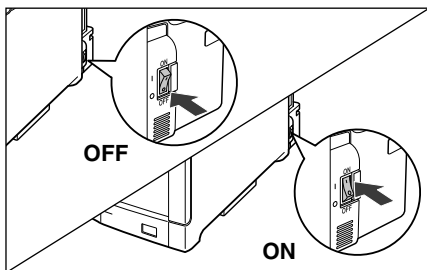
5 図のようにレバーを持って、上カバーが開かないことを確認します。

6 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。

7 図のように両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して、しっかりと閉めます ②。

Point

前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

「Ennn-nnnn」「F9-nn　チェックプリンタ」が表示されたときは

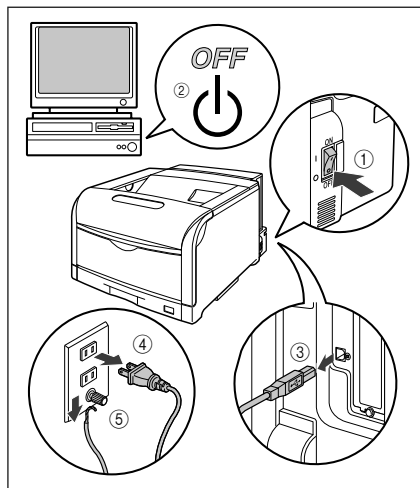
本プリンタの内部機構や印刷データ処理中にトラブルが発生した場合、次のようなサービスコールが表示されます。

メッセージ	原因	処置
Ennn-nnn （n は英数字）	プリンタの内部機構にトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。 数回電源を入れなおしてもメッセージが消えない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
E001-nnnn E003-nnnn （n は英数字）	定着器にトラブルが発生した。	次の手順 2 以降にしたがって、お買い求めの販売店にご連絡ください。
F9-nn ﾁｪｯｸﾌﾟﾘﾝﾀ （n は英数字）	印刷データ処理中にトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。

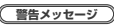
1 電源をいったん切り、10 秒以上待ってから電源を入れなおしてください。

メッセージが表示されない場合は、そのままご使用になれます。再度メッセージが表示された場合は、次の手順に進んでください。

2 ディスプレイに表示されている英数字とメッセージを書きとめます。

3 プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外します。

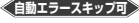
プリンタの電源を切ります ①。
USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って ②、USB ケーブルを抜きます ③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。

4 お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご連絡の際には、症状および書きとめた英数字とメッセージをお知らせください。

不明な点がありましたら、「お客様相談センター」（→裏表紙）にお問い合わせください。

メッセージ一覧

プリンタの使用中に、何らかの理由でエラーが発生すると、操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに応じて、処置を行ってください。

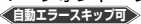
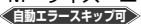
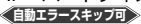
メッセージには、次の種類があります。

- エラーメッセージ（印刷ができないエラー状態）
- 警告メッセージ（印刷はできるが何らかの処置が必要な警告状態）

●メッセージ一覧のマークについて

マーク	説明
警告メッセージ	このマークの付いているメッセージがディスプレイに表示されていても、プリンタは停止しません。 ※共通セットアップメニューにある拡張機能グループにある「警告表示」を「シナイ」に設定するとメッセージは表示されません。
自動エラースキップ可	このマークの付いているメッセージは、状況に応じて次の操作を行います。 • エラーを回避（エラースキップ）して印刷を継続したいとき ①［オンライン］を押して、エラースキップする（印刷が継続されます） ②印刷データが欠落したり、正しく印刷されなかったりした場合は、再度印刷を行う ※共通セットアップメニューの拡張機能グループにある「自動エラースキップ」を「スル」に設定すると自動的にエラースキップさせることもできます。 • 印刷を中止したいとき ①ソフトリセットを行う（→ P.1-8） ②表示されているメッセージに応じた処置を行う（本項目） ③［オンライン］を押して、再度印刷を行う

● ユーザーズガイドにはメッセージごとの詳細な解決法が記載されています。メッセージが本書に記載されていなかったり、メッセージの詳細を知りたいときには、ユーザーズガイド第６章「メッセージ一覧」をお読みください。

メッセージ	原因と処置
0F　オプション　カクニン	原因：オプションのペーパーフィーダが正しく取り付けられていない 処置：電源をいったん切り、ペーパーフィーダを正しく取り付けてから電源を入れなおしてください。（→ペーパーフィーダ：P.4-2）
11　XXX ヨウシガアリマセン (XXX は用紙サイズ略号)	原因：給紙元にアプリケーションソフトから指定したサイズの用紙がセットされていない（給紙モードが「ジドウ」のときはすべての給紙元、固定のときは設定されている給紙元） 処置：用紙を補給またはセットしてください。
12　カバーガ　アイテイマス	原因：前カバーまたは上カバーが開いている 処置：ディスプレイに表示されたカバーをしっかりと閉めます。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。
13　ヨウシガ　ツマリマシタ	原因：内部で紙づまりを起こしている 処置：紙づまりを除去し、給紙カセットやカバーを元に戻してください。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。（→紙づまりが起こったときには：P.3-5）
14　トナー／カバー　カクニン	原因：Y（イエロー）またはM（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない 処置：表示された色のトナーカートリッジをセットする、または正しくセットしてください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-43）

メッセージ	原因・処置
16　X　トナー　ヨウイ (X はK または Y、M、C) 警告メッセージ	原因： K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナーカートリッジの寿命が近づいている 処置： 少しの間はそのまま印刷を継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。大量に印刷するときは、表示された色のトナーカートリッジを交換してください。交換したあと、交換した色のトナーカートリッジのカウンタをリセットしてください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-43）
16　X　トナー　コウカン (X はK または Y、M、C)	原因： K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナーカートリッジの寿命がきた 処置： ［オンライン］を押します。少しの間はそのまま印刷を継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。大量に印刷するときは、表示された色のトナーカートリッジを交換してください。交換したあと、交換した色のトナーカートリッジのカウンタをリセットしてください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-43）
18　キュウシ　エラー	原因： 手差しトレイや給紙カセットから給紙できない用紙サイズまたは用紙タイプの用紙が指定されている 処置： 給紙元を指定している場合は、［給紙選択］を押して、「給紙モード」を「ジドウ」に設定してください。
18　カセット1　ナシ	原因： カセット 1 がセットされていない 処置： カセット 1 をセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-6）
18　カセット2　ナシ	原因： カセット 2 がセットされていない 処置： カセット 2 をセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-6）
18　カセット3　ナシ	原因： カセット 3 がセットされていない 処置： カセット 3 をセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-6）
1D　ハリ　カクニン (LBP5910F のみ)	原因： 針カートリッジの針がなくなった 処置： 新しい針カートリッジに交換するか、針カートリッジを装着します（→針カートリッジを交換する（LBP5910F のみ）：P.2-61）
1D　ハリガ　アリマセン (LBP5910F のみ) 自動エラースキップ可	原因： ステイプル実行中に針がなくなった 処置： 新しい針カートリッジに交換するか、針カートリッジを装着します（→針カートリッジを交換する（LBP5910F のみ）：P.2-61）
1E　ハリガ　ツマリマシタ (LBP5910F のみ)	原因： 針がつまった 処置： つまっている針を取り除き、［オンライン］を押します。（→針づまりが起こったときには（LBP5910F のみ）：P.3-12）
1F　ハイシトレイ　フル (LBP5910F のみ)	原因： 排紙トレイが満載になった 処置： 排紙トレイの用紙を取り除いてください。
1G　X　トナー　コウカン (X はK または Y、M、C)	原因： K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナーカートリッジの寿命がきた 処置： 表示された色のトナーカートリッジを交換します。新しいトナーカートリッジに交換しても、メッセージが表示される場合は、交換したトナーカートリッジを取り出して、取っ手部分を下側にして、再度上下に強く振って、内部のトナーを均一にならしてから取り付けてください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-43）
23　ダウンロードメモリフル 自動エラースキップ可	原因： オーバレイフォームや外字などを登録するメモリが不足してオーバーフローした 処置： 次の操作を行います。 1. ソフトリセットする（→印刷の中止方法：P.1-8） 2. 次のような方法で RAMの空き容量を増加し、データを登録しなおして印刷する ・ハードリセット（→印刷の中止方法：P.1-8）をするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されます） ・オプションの拡張 RAM を取り付ける（→ RAM/ROM：P.4-8）

26　システムメモリ　フル 自動エラースキップ可	原因： システムのデータ処理（主に図形処理や文字処理）時に、処理に必要なワークメモリが不足した 処置： 次の操作を行います。 1. ソフトリセットする（→印刷の中止方法：P.1-8） 2. 次のような方法で RAM の空き容量を増加し、データを登録しなおして印刷する ・ハードリセット（→印刷の中止方法：P.1-8）をするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されます） ・オプションの拡張 RAM を取り付ける（→ RAM/ROM：P.4-8）
27　ジョブカイシ　エラー 自動エラースキップ可	原因： 指定したエミュレーションが存在しない 処置：「動作モード選択」で使用できるエミュレーションに設定します。「動作モード選択」は共通セットアップメニューの動作モードグループにあります。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
30　メモリ　フル 自動エラースキップ可	原因： システムのデータ処理で、ワークメモリが不足した 処置： ［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されないことがあります。
32　リョウメンインサツ　エラー 自動エラースキップ可	原因： 自動両面印刷できない用紙サイズ（向きを含む）または用紙タイプの両面データを受信した 処置： 次の操作を行います。 1. ソフトリセットする（→印刷の中止方法：P.1-8） 2. 自動両面可能な用紙サイズまたは用紙タイプに変更して、印刷する
33　ワークメモリ　フル 自動エラースキップ可	原因： 各動作モード専用のワークメモリが確保できない 処置： 次の操作を行います。 1. ソフトリセットする（→印刷の中止方法：P.1-8） 2. 次のような方法で RAM の空き容量を増加し、印刷しなおします。 ・ハードリセット（→印刷の中止方法：P.1-8）をするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されます） ・LIPS　LX プリンタドライバをご使用の場合は、オプションの拡張 RAM を取り付ける（ただし、解決しない場合があります）（→ RAM/ROM：P.4-8）
35　PDF　サイズ　エラー 自動エラースキップ可	原因： PDFファイルのダイレクトプリントを行うための空き容量が不足している 処置： ［オンライン］を押して、印刷をキャンセルします。そのあと、次のような処理をして（容量を減らして）、印刷しなおします。 ・PDF ファイルを最適化する ・PDF ファイルを分割する（複数のファイルに分ける）
35　トウロクテーブル　フル 自動エラースキップ可	原因： 1 つのジョブの中にあるドキュメント数が 16 を超えた 処置： ［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したジョブは印刷されません。
36　ディスプレイリストフル 自動エラースキップ可	原因： 処理に必要なメモリが不足してオーバーフローした 処置： 次の操作を行います。 1. ソフトリセットする（→印刷の中止方法：P.1-8） 2. 次のような方法で RAM の空き容量を増加し、データを登録しなおして印刷する ・ハードリセット（→印刷の中止方法：P.1-8）をするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されます） ・オプションの拡張 RAM（256MB 以上 *）を取り付ける（→ RAM/ROM：P.4-8） * ただし、512MB の拡張 RAM を取り付けても、256MB の拡張 RAM を取り付けた場合と同じ容量しか増えません。
38　ガシツ　テイカ 自動エラースキップ可	原因： データが複雑すぎてスーパーファインモードで処理できない 処置： 次の操作を行います。 1. ソフトリセットする（→印刷の中止方法：P.1-8） 2. セットアップメニューの印字調整グループで「解像度」を「ファイン」に設定して印刷しなおす。（→LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
39　スプールメモリフル 自動エラースキップ可	原因： スプールメモリが不足したため、印刷できない 処置： ［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは印刷されません。

メッセージ	原因／処置
41　ヨウシサイズ　カクニン 自動エラースキップ可	原因：給紙部にセットした用紙サイズと次の設定が異なっている ・プリンタドライバの［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］ ・給紙選択メニューの「手差しトレイ用紙サイズ」または「カセット　N（N=2、3、4）用紙サイズ」 ・給紙カセットの用紙サイズ設定スイッチ 処置：正しく設定しなおしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-6、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-17） 原因：給紙選択メニューの次の設定が「フリー」のときに、長辺が297.0mm以下のユーザ設定用紙を縦置きにセットして印刷した（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ） ・手差しトレイ用紙サイズ ・カセットN（N=2、3、4）用紙サイズ 処置：横置きにセットして印刷しなおします。
52　イメージモード　エラー 自動エラースキップ可	原因：イメージモードで印刷中に、対応していない形式のデータを受信した 処置：LBP5910/5910F用のプリンタドライバから印刷しなおしてください。
53　セキュアプリント　エラー 自動エラースキップ可	原因：LBP5910/5910F用でないプリンタドライバからセキュアプリントの設定をしたデータが送られてきた 処置：［オンライン］を押して印刷をキャンセルします。
53　ホゾン　エラー 自動エラースキップ可	原因：LBP5910/5910F用でないプリンタドライバから保存ジョブプリントの設定をしたデータが送られてきた 処置：［オンライン］を押して印刷をキャンセルします。
55　ハードディスク　エラー 自動エラースキップ可	原因：ハードディスクにエラーが発生した 処置：自動的に再フォーマットされます。
56　ハードディスク　エラー	原因：ハードディスクにエラーが発生した 処置：セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「HDD メンテナンス」でフォーマットを実行してください。同様のエラーが発生する場合は、ハードディスクの交換が必要になります。お買い求めの販売店に修理を依頼してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
57　RIP　Once　エラー 自動エラースキップ可	原因：ハードディスクの容量が不足して、RIP Once（リップワンス）による複数部数印刷を継続できなくなった 処置：複数のジョブに分割して印刷しなおします。
58　ジョブメモリ　フル 自動エラースキップ可	原因：ジョブを処理するためのハードディスクや RAM の空き容量が不足している 処置：一度に複数のジョブを処理していた場合は、［オンライン］を押して印刷をキャンセルしたあと、他のジョブが終了するのを待って印刷しなおします。
59　ジョブジュシンエラー 自動エラースキップ可	原因：ジョブ受信中に解析不可能なデータを受信したかタイムアウトが発生した 処置：［オンライン］を押して印刷をキャンセルしたあと、印刷しなおします。
60　カギカンリ　エラー１	原因：鍵管理関係のファイルが壊れている 処置：次の操作を行います。 1. セットアップメニューのインタフェースグループで「標準ネットワーク」→「リモート UI 設定」→「SSL」を選択し、「オフ」であることを確認する 2. プリンタを再起動し、リモートUIから鍵と証明書の再生成およびSSLの設定を行う（→リモート UI ガイド「第 3 章 リモート UI のいろいろな機能」） 3. 再度プリンタを再起動する
60　デコード　エラー	原因：暗号化セキュアプリントのデータを解析できなかった 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと、印刷しなおします。
61　インサツセッテイ　エラー	原因：長尺紙をスーパーファインモードで印刷した 処置：次の操作を行います。 1. ソフトリセットする（→印刷の中止方法：P.1-8） 2. セットアップメニューの印字調整グループで「解像度」を「ファイン」に設定し、印刷しなおす（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
98　X　ドラムコウカン （X は K または Y、M、C）	原因：K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のドラムカートリッジが使用できなくなった 処置：表示された色のドラムカートリッジを取り出し、新しいドラムカートリッジと交換します。（→ドラムカートリッジを交換する：P.2-47）

A4　nn　ERROR (nn は 2 桁の英数字)	原因： プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置： 電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
A5　nn　ERROR (nn は 2 桁の英数字)	原因： プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置： 電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
A7　nn　ERROR (nn は 2 桁の英数字)	原因： プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置： 電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
BT　トケイ　エラー (警告メッセージ)	原因： 本プリンタに内蔵されている時計が故障した 処置： そのままでも印刷は可能ですが、印刷履歴などが正しく取れなくなります。お買い求めの販売店にご連絡ください。
D0　nn　ERROR (nn は 2 桁の英数字)	原因： プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置： 電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
D1　ブンカツメモリ　フル	原因： 分割印刷モード時に分割印刷用バッファがオーバーフローした 処置： 次の操作を行います。 1. ソフトリセットする（→印刷の中止方法：P.1-8） 2. HP-GL セットアップメニューの「分割印刷」を「シナイ」、「拡大／縮小」を「ジドウ」に設定し、出力用紙サイズを指定して印刷しなおします。ただし、作図データは拡大／縮小されて印刷されます。（→ HP-GL ユーザーズガイド）
D1　リプロットバッファフル	原因： リプロットバッファがオーバーフローした 処置： 次の操作を行います。 1. ソフトリセットする（→印刷の中止方法：P.1-8） 2. HP-GL のリプロットバッファに保存するデータ数を 54206 バイト以内に設定し、印刷しなおします。（→ HP-GL ユーザーズガイド）
D1　ポリゴンバッファフル	原因： ポリゴンバッファがオーバーフローした 処置： 次の操作を行います。 1. ソフトリセットする（→印刷の中止方法：P.1-8） 2. HP-GL のポリゴンバッファに保存するデータ数を 40882 バイト以内に設定し、印刷しなおします。（→ HP-GL ユーザーズガイド）
D8　レイアウト　エラー	原因： メモリ不足によりページをレイアウトできない 処置： LIPS LX ドライバの［グラフィックモード］の設定を「イメージモード」にして印刷しなおしてください。（→ LIPS LX プリンタドライバのヘルプ）
D8　バージョン　エラー	原因： LBP5910/5910F 用でないプリンタドライバから印刷した 処置： LBP5910/5910F用のプリンタドライバから印刷しなおしてください。
D8　シンタックス　エラー	原因： LIPS LX プリンタドライバを使用して印刷したときに、不正なデータが送られた 処置： ［オンライン］を押し、次の印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページ以降は印刷されません。
D8　nn　ERROR (nn は 2 桁の英数字)	原因： プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置： 電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
D9　IMG　データ　エラー	原因： TIFF または JPEG データの中に、本プリンタでは処理できないデータが含まれている 処置： 本プリンタでは印刷できないデータです。［オンライン］を押して、印刷をキャンセルします。
D9　IMG　サンショウ　エラー	原因： TIFF データの中に、本プリンタでは処理できないデータが含まれている 処置： 本プリンタでは印刷できないデータです。［オンライン］を押して、印刷をキャンセルします。
D9　nn　ERROR (nn は 2 桁の英数字)	原因： プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置： 電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

DA　PDF データ　エラー 自動エラースキップ可	原因：本プリンタでは処理できない PDF データが送られてきた 処置：本プリンタに対応した形式の PDF データで印刷しなおします。
DA　アッシュクカイセキ　エラー 自動エラースキップ可	原因：PDF データのページの中に、本プリンタでは処理できない形式で圧縮されたデータが含まれている 処置：本プリンタに対応した形式の PDF データで印刷しなおします。
DA　ページアッシュクエラー	原因：PDF データの中に、本プリンタでは処理できない形式で圧縮されたページが含まれている 処置：次の操作を行います。 1. ソフトリセットする（→印刷の中止方法：P.1-8） 2. 本プリンタに対応した形式の PDF データを印刷しなおします。
DA　PDF データショリエラー	原因：本プリンタでは処理できない PDF データが送られてきた 処置：次の操作を行います。 1. ソフトリセットする（→印刷の中止方法：P.1-8） 2. 本プリンタに対応した形式の PDF データを印刷しなおします。
DA　PDF メモリフル	原因：処理中の PDF ファイルを処理するためのメモリがありません。 処置：［オンライン］を押し、印刷する PDF ファイルの容量を減らす、または分割して印刷しなおします。
DA　イチジファイル　エラー	原因：PDF データの一時ファイルの処理中に何らかの異常が発生した 処置：［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。
DA　PDF カラーカイセキエラー	原因：本プリンタではレンダリングできない色空間定義が送られてきた 処置：次の操作を行います。 1. ソフトリセットする（→印刷の中止方法：P.1-8） 2. 本プリンタに対応した形式の PDF データを印刷しなおします。
DA　データヨミコミ　エラー	原因：PDF データを読み込んだときに何らかの異常が発生した 処置：次の操作を行います。 1. ソフトリセットする（→印刷の中止方法：P.1-8） 2. 本プリンタに対応した形式の PDF データを印刷しなおします。
DA　シュツリョクセンタクエラー	原因：PDF データの出力モードに何らかの異常が発生した 処置：次の操作を行います。 1. ソフトリセットする（→印刷の中止方法：P.1-8） 2. 本プリンタに対応した形式の PDF データを印刷しなおします。
DA　PDF プロファイルエラー	原因：ICC プロファイルの処理中に何らかの異常が発生した 処置：次の操作を行います。 1. ソフトリセットする（→印刷の中止方法：P.1-8） 2. 本プリンタに対応した形式の PDF データを印刷しなおします。
DA　PDF アクセス　エラー 1	原因：PDF データを読み込んだときに何らかの異常が発生した 処置：［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。
DA　PDF アクセス　エラー 2	原因：PDF データを読み込んだときに何らかの異常が発生した 処置：［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。
DA　PDF フォント　エラー	原因：PDF データの中に、本プリンタでは処理できないフォントが含まれている 処置：次の操作を行います。 1. ソフトリセットする（→印刷の中止方法：P.1-8） 2. 本プリンタに対応した形式の PDF データを印刷しなおします。
DA　レンダリングエラー	原因：PDF データをレンダリング中に何らかの異常が発生した 処置：［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。
DA　データフクゴウ　エラー	原因：PDF データを印刷するためのパスワードの入力が間違っている 処置：正しいパスワードを入力してください。
DA　インサツハンイ　エラー	原因：指定した印刷ページの範囲が不正である 処置：印刷ページの範囲を正しく設定して、印刷しなおします。
DA　PDF　エラー	原因：本プリンタでは処理できない PDF データが送られてきた 処置：［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。

DA　トウメイガゾウ　エラー 自動エラースキップ可	原因：PDFデータの中に、本プリンタでは処理できない透明な画像オブジェクトが含まれている 処置：次の操作を行います。 1. ソフトリセットする（→印刷の中止方法：P.1-8） 2. 本プリンタに対応した形式のPDFデータを印刷しなおします。
E0　X　ドラム　ヨウイ （XはKまたはY、M、C） 警告メッセージ	原因：K（ブラック）またはY（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のドラムカートリッジの寿命が近づいている 処置：少しの間はそのまま印刷を継続できますが、新しいドラムカートリッジを準備してください。大量に印刷するときは、表示された色のドラムカートリッジを交換します。（→ドラムカートリッジを交換する：P.2-47）
E1　カイシュウトナーヨウキナシ	原因：回収トナー容器がセットされていない、または正しくセットされていない 処置：回収トナー容器をセットする、または正しくセットしてください。（→回収トナー容器を交換する：P.2-59）
E1　カイシュウトナー　ヨウイ 警告メッセージ	原因：回収トナー容器の交換時期が近づいている 処置：少しの間はそのまま印刷を継続できますが、新しい回収トナー容器を準備してください。
E1　カイシュウトナー　コウカン	原因：回収トナー容器がいっぱいになった 処置：新しい回収トナー容器に交換します。（→回収トナー容器を交換する：P.2-59）
E2　X　ドラム/ITBカクニン （XはKまたはY、M、C）	原因：以下のいずれかの理由が考えられます。 ● K（ブラック）またはY（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のドラムカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない ● ITBユニットが寿命になった 処置：以下のいずれかの処置を行ってください。 ● 表示された色のドラムカートリッジをセットする、または正しくセットしてください。（→ドラムカートリッジを交換する：P.2-47） ● ドラムカートリッジの交換や着脱をしていない状態で、メッセージが表示された場合は、ITBユニットが寿命になった可能性がありますので、お買い求めの販売店またはサービス店にご連絡ください。
E5　テイチャクキ　ヨウイ 警告メッセージ	原因：定着器の寿命が近づいている 処置：少しの間はそのまま印刷を継続できますが、新しい定着器を準備してください。
E7　テイチャクキ　カクニン	原因：定着器が取り付けられていない、または正しく取り付けられていない 処置：定着器を取り付ける、または正しく取り付けてください。（→ユーザーズガイド第5章「定着器を交換する」）
EF　X　ドラム　コウカン （XはKまたはY、M、C） 自動エラースキップ可	原因：K（ブラック）またはY（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のドラムカートリッジの寿命がきた 処置：［オンライン］を押します。そのまま印刷を継続できますが、印字品質が低下することがあります。新しいドラムカートリッジに交換してください。交換したあと、オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押します。（→ドラムカートリッジを交換する：P.2-47）
EM　サーバセッテイ　エラー 警告メッセージ	原因：Eメール印刷時、POP3サーバに接続できなかった、またはPOP3/SMTPサーバの設定が正しくない 処置：リモートUIもしくはN/Wステータスプリントでエラーの詳細を確認してください。詳しくは、ユーザーズガイド第3章「Eメール印刷について（ハードディスク装着時のみ）」を参照してください。
EM　E メールアクセス　エラー 警告メッセージ	原因：POP3サーバのハードディスクにエラーがあるため、POP3サーバに接続できなかった 処置：POP3サーバのハードディスクのエラーを解消してください。
F0　サイキドウシテクダサイ （LBP5910Fのみ）	原因：セットアップメニューのユーザメンテナンスグループで「機能制限モード」の「ステイプル」を「セイゲンスル」に設定した 処置：本プリンタの電源を入れなおしてください。
F2　フォント　ミジッソウ 自動エラースキップ可	原因：オーバレイフォームの作成に使用した登録フォントが、印刷時に消去されていた 処置：メモリに再度フォントを登録しなおすか、使用可能な登録フォントを使ってフォームを作り、印刷しなおします。
F9-nn　チェックプリンタ （nnは2桁の英数字）	原因：印刷データ処理中にトラブルが発生した 処置：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

FF　フォント　フル 自動エラースキップ可	原因：登録するフォントの数が多すぎてフォントの情報を登録するための領域（フォントテーブル）がオーバーフローした 処置：［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは正しく印刷されません。
FM　サイズ　エラー 自動エラースキップ可	原因：擬似スケーラブル可能な大きさを超えた文字がある 処置：［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生した文字は正しく印刷されません。
HF　ハードディスク　フル 自動エラースキップ可	原因：ハードディスクの空き容量が足りなくなった 処置：ハードディスクに保存してあるデータのうち、不要なデータを削除してください。
PC　XXX　ヨウシニ　コウカン （XXXは用紙サイズ略号）	原因：アプリケーションソフトで設定した用紙サイズと同じサイズの用紙が給紙部にセットされていない 処置：給紙部にアプリケーションソフトで設定した用紙サイズと同じサイズの用紙をセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-6、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-17）

正しく印刷できないときは

本プリンタの使用中に、トラブルと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。

印刷を行う前に、アプリケーションソフトの印刷プレビュー機能で、印刷データが画面に正常に表示されているかを確認してください。印刷プレビューの表示方法は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

症状	原因	処置
意味不明の半角文字が印刷される	動作モードの自動切り替えがうまく働かなかった	動作モードを目的のエミュレーションに固定して印刷しなおしてください。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)
	LIPS 専用セットアップメニューの漢字コードの設定が違っている	LIPS 専用セットアップメニューの漢字コードの設定をコンピュータで使用している漢字コードに正しく合わせてください。(→ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」)
	付属のWindows 用LIPS プリンタ ドライバ をインストールせずにWindowsから印刷した	付属のWindows用 LIPS プリンタドライバをインストールし、印刷しなおしてください。
	DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定が適切でない	DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定を、本プリンタと互換性のあるプリンタに再設定します。
	コントロールROM をセットして使用中に、動作モードの自動切り替えができなかった	共通セットアップメニューにある次の項目を設定して、印刷しなおしてください(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)。 ● 動作モードグループの「動作モード選択」: プリンタにセットしたコントロール ROM のエミュレーションに固定する ● インタフェースグループの「インタ フェース選択」: コンピュータと接続しているインタフェースに固定する
指定した書体と違う書体で印字される	Windows用LIPS IV プリンタドライバでTrueTypeフォントの置き換えが設定されている	Windows 用 LIPS IV プリンタドライバで TrueType フォントの置き換えを正しく設定しなおし、印刷しなおしてください。(→プリンタドライバのヘルプ)
白紙のページが印刷されない	LIPS4セットアップメニューまたはLIPS LXセットアップメニューの「白紙節約」が「スル」になっている	白紙のページを印刷するときは、「白紙節約」を「シナイ」に設定します。(→ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」)
最後のページが印刷できない	コンピュータからデータの終わりを表すコマンドが送られて来ない(ジョブランプが点灯している)	[オンライン] を押してオフラインの状態にし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択します(印刷機能のないアプリケーションソフトで印刷した場合、最後のページのデータが 1 ページに満たないと、そのままメモリ内に残ってしまいます)。(→印刷の中止方法 : P.1-8)

データが用紙をはみだした	給紙選択メニューの次の設定が「フリー」のときに、長辺が 297.0mm 以下のユーザ設定用紙を縦置きにセットして印刷した（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ） ● 手差しトレイ用紙サイズ ● カセット N（N=2、3、4）用紙サイズ	横置きにセットして印刷しなおします。
	LIPS LX プリンタドライバを使用せずに、ユーザ設定用紙を横置きにセットして印刷した	縦置きにセットして印刷しなおします。
	データのサイズより小さな用紙をセットした	データのサイズに合った用紙をセットするか、用紙サイズに合わせた縮小率で縮小印刷をしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）
	用紙をセットする位置が合っていない	用紙を正しくセットし、印刷しなおしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-6、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-17）
	余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した	データの周囲に 5mm 以上（封筒は 10mm 以上）の余白を取って印刷しなおしてください（用紙の周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲には印刷できません）。（→アプリケーションソフトの取扱説明書）
		LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログで「印字領域を広げて印刷する」にチェックすると、印字領域を広げて印刷します。ただし、データの周囲が欠けて印字されることがあります。
	ESC/P モードの「ページフォーマット」の設定が合っていない	ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 5 章 ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目」）
	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で印字位置が調整されている	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で適切な値に調整してください。（→ユーザーズガイド第 5 章「印字位置を調整する」）
印字位置がずれてしまう	セットアップメニューのレイアウトグループの「とじしろ」、「縦位置補正」、「横位置補正」が設定されている	セットアップメニューのレイアウトグループの「とじしろ」、「縦位置補正」、「横位置補正」の設定を「0」に設定し、印刷しなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
	アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない	アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（→アプリケーションソフトの取扱説明書）
	ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置微調整」の設定が合っていない	ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置微調整」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 5 章 ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目」）
	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で印字位置が調整されている	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で適切な値に調整してください。（→ユーザーズガイド第 5 章「印字位置を調整する」）
印字位置がだんだんずれていく	ESC/P モードを使用しているときに、ページフォーマットの設定とアプリケーションソフトで設定した用紙の種類が合っていない	アプリケーションソフトの用紙の種類とページフォーマットの設定を合わせて印刷しなおします。（→ユーザーズガイド第 3 章「動作モードについて」）
ページの途中から次ページに分かれて印刷される	アプリケーションソフトの「行間」や「1 ページの行数」の設定が合っていない	1 ページに収まるように、アプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1 ページの行数」を変更してから印刷しなおします。（→アプリケーションソフトの取扱説明書）
	セットアップメニューの動作モードグループで「動作モード選択」が「ジドウセンタク」に設定されているときに、セットアップメニューのインタフェースグループの「タイムアウト」の設定秒数が短すぎる	セットアップメニューの動作モードグループで「動作モード選択」を「ジドウセンタク」以外に設定するか、「タイムアウト」の設定秒数を十分に長くします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

縮小されて印刷される	縮小印刷の設定がされている	LIPS セットアップメニューの「拡大／縮小」を「シナイ」にしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）
		プリンタドライバの「拡縮率」の設定を確認してください。
	ESC/P モードで使用しているときに、ページフォーマットが「B4 → A4 タテ」「B4 → A4 ヨコ」に設定されている	ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 5 章 ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目」）
用紙にしわがよる	給紙カセットや手差しトレイに用紙が正しくセットされていない	給紙カセットや手差しトレイに用紙を正しくセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-6、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-17）
	用紙が吸湿している	未開封の新しい用紙と交換してください。
	定着器の寿命が近づいている	ステータスプリントを印刷して、定着器のカウンタ数値を確認し、以前に定着器を交換したときの枚数から約 150,000 枚増えている場合、定着器を交換してください。（→ユーザーズガイド第 5 章「定着器を交換する」）
用紙がカールする	用紙の保管状態が悪く、吸湿している	新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	用紙が適切でない	本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（→用紙について：P.2-2）
	用紙タイプの設定がセットした用紙にあっていない	プリンタドライバで次の操作を行います。 1.［給紙］ページを表示する 2.［用紙タイプ］を［普通紙 L］にする
用紙が真っ白で何も印刷されない	用紙が重なって送られた	用紙を、よく揃えてからセットしなおしてください。コート紙、ラベル紙の場合は、よくさばいてセットしなおしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-6、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-17）
	プリンタ内部でトラブルが発生している	ディスプレイに「Ennn-nnnn」が表示されているときは、電源をいったん切り、10 秒以上待ってから電源を入れなおしてください。メッセージが消えることがあります。
		上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。
用紙が特定の色で塗られて何も印刷されない	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している	ユーザーズガイド「第 6 章 印字不良が起こったときには」を参照して、処置してください。
	プリンタ内部でトラブルが発生している	ディスプレイに「Ennn-nnnn」が表示されているときは、電源をいったん切り、10 秒以上待ってから電源を入れなおしてください。メッセージが消えることがあります。
		上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。
白いすじが入る	ドラムカートリッジが劣化、あるいは損傷している	ユーザーズガイド「第 6 章 印字不良が起こったときには」を参照して、処置してください。
色すじが入る	プリンタに何らかの不具合がある、または ITB ユニットが劣化、あるいは損傷している	ユーザーズガイド「第 6 章 印字不良が起こったときには」を参照して、処置してください。
部分的に白く抜ける	適切な用紙を使用していない	使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	用紙の保管状態が悪く、吸湿している	新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	ドラムカートリッジが劣化している	ユーザーズガイド「第 6 章 印字不良が起こったときには」を参照して、処置してください。
印刷しない部分に残像が現れる	印刷する用紙が適当でない	用紙を取り替えて印刷してください。（→用紙について：P.2-2）
	幅の狭い用紙（A5 など）を連続印刷したあとに、幅の広い用紙に印刷した	定着器の温度を下げるため、しばらく待ってから印刷しなおしてください。
		セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「小サイズ特殊処理 1」を「-1」もしくは「-2」に設定して印刷しなおします。ただし、印字品質を優先するため、印刷速度が遅くなることがあります。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
	ドラムカートリッジが劣化している	ユーザーズガイド「第 6 章 印字不良が起こったときには」を参照して、処置してください。

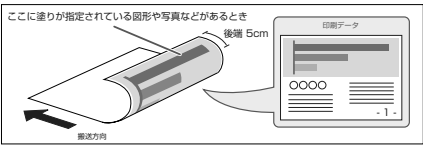
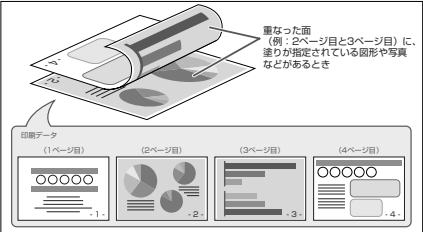
印字が全体的にうすい	トナー濃度の設定が適当でない	セットアップメニューの印字調整グループで、「トナー濃度」を調節してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
	セットアップメニューの印字調整グループで、「ドラフトモード」が「ツカウ」に設定されている	セットアップメニューの印字調整グループで、「ドラフトモード」を「ツカワナイ」に設定してください。（→ LIPS 機能ガイド「第3章 共通セットアップメニューの設定項目」）
印字が全体的に黒ずむ	トナー濃度の設定が適当でない	セットアップメニューの印字調整グループで、「トナー濃度」を調節してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
	プリンタが直射日光または強い光が当たる場所に設置されている	プリンタを直射日光または強い光が当たらない場所に移動してください。または、強い光を出す光源をプリンタから離してください。
印字ムラが出る	用紙が湿っている、あるいは乾燥している	適切な用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	ドラムカートリッジが劣化している	ユーザーズガイド「第 6 章 印字不良が起こったときには」を参照して、処置してください。
スーパーファインモードで印刷時に画像が粗くなった、または正しく印刷できなかった	データが複雑、あるいは多量すぎてスーパーファインモードで処理できなかった	［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、解像度を下げて印刷します。
		次の操作を行います。 1. ソフトリセットする（→印刷の中止方法：P.1-8） 2. セットアップメニューの印字調整グループで「解像度」を「ファイン」に設定して印刷しなおす。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
		スーパーファインモードで印刷したいときは、次のような方法で RAM の空き容量を増加します。 ● ハードリセット（→印刷の中止方法：P.1-8）をするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されます） ● オプションの拡張 RAM を取り付ける（→ RAM/ROM：P.4-8）
ページの一部が印刷されない	拡大／縮小率の設定が適当でない	自動的に拡大／縮小率を設定するために、プリンタドライバで次の設定を行います。 1.［ページ設定］ページを表示する 2.［倍率を指定する］のチェックマークを消す チェックマークを消すと、［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］に応じて拡大／縮小率が自動的に設定されます。
		使用する用紙サイズに適した倍率を設定するために、プリンタドライバで次の設定を行います。 1.［ページ設定］ページを表示する 2.［倍率を指定する］のチェックマークを付ける
	用紙をセットする位置が合っていない	用紙を正しくセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-6、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-17）
	余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した	本プリンタの有効印字領域は用紙の周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲を除いた領域です。データの周囲に余白を取ってください。
		プリンタドライバで次の操作を行います。 1.［仕上げ］ページを表示する 2.［仕上げ詳細］をクリックする 3.［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークを付ける

定着性が悪い	適切な用紙を使用していない	本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（→用紙について：P.2-2）
	用紙の種類により、定着性が悪い場合がある	プリンタドライバで次の操作を行います。 1.［印刷品質］ページを表示する 2.［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックする 3.［ユーザ設定］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックする 4.［グレー補償］を次のいずれかに設定する ● イメージのみ ● テキストとイメージ ● グラフィックスとイメージ ● すべて
	プリンタ内部でトラブルが発生している	ディスプレイに「Ennn-nnnn」が表示されているときは、電源をいったん切り、10秒以上待ってから電源を入れなおしてください。メッセージが消えることがあります。
		上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。
同時に使用している他のLBP5910/5910Fと色が合わない	工場出荷時のK（ブラック）またはY（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナー濃度に若干のバラツキがある	K（ブラック）またはY（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナー濃度を微調整します。（→カラーバランスを調整したいときには：P.2-65）
	4色のトナーカートリッジのいずれかのトナー残量が少ない、またはドラムカートリッジが劣化している	「トナー　ヨウイ」または「トナー　コウカン」のメッセージが表示されている色のトナーカートリッジを新品に交換します。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-43）
		ユーザーズガイド「第6章 印字不良が起こったときには」を参照して、処置してください。
色ズレにより正しい色（指定した色）で印刷されない、カラーの文字がぼけて見える	ドラムカートリッジが正しくセットされていない	ドラムカートリッジが正しくセットされているか確認してください。（→ドラムカートリッジを交換する：P.2-47）
	4色のトナーカートリッジのいずれかのトナー残量が少ない、またはドラムカートリッジが劣化している	「トナー　ヨウイ」または「トナー　コウカン」のメッセージが表示されている色のトナーカートリッジを新品に交換します。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-43）
		ユーザーズガイド「第6章 印字不良が起こったときには」を参照して、処置してください。
	適切な用紙を使用していない	使用できる用紙に交換し、印刷しなおします。（→用紙について：P.2-2）
細い線や塗りつぶしパターンの色が指定した色で印刷されない、または消えてしまう	色やパターンの組み合わせにより、再現されない場合がある	アプリケーションソフトで色を調整して、印刷しなおします。
		アプリケーションソフトでパターンを変更して、印刷しなおします。
	網点のパターンにより、色が違って見える	濃い色に変更して、印刷しなおします。
		用紙の送り方向を変えてセットし、印刷しなおします。
網かけパターンが正しい色（指定した色）で印刷されない	印刷データの網かけパターンとプリンタのディザパターンが干渉している	アプリケーションソフトで網かけパターンの設定をしないで、印刷しなおします。
		プリンタドライバで次の操作を行います。 1.［印刷品質］ページを表示する 2.［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックする 3.［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定を［階調］または［色調］に設定する
		プリンタドライバで次の操作を行います。 1.［印刷品質］ページを表示する 2.［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックする 3.［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定を［誤差拡散］に設定する

<table>
<tr><td rowspan="2">写真などのプリントでディスプレイの色とプリントの色が異なる</td><td rowspan="2">画面（RGB）とプリンタ（YMC）で色の調整方法が異なるため、プリントでは、画面の色が忠実に再現できない場合がある</td><td>プリンタドライバで次の操作を行います。
1.［印刷品質］ページを表示する
2.［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］をクリックする
3.［マッチング］ページを表示する
4.［イメージ］の［マッチング方法］を［モニタの色に合わせる］に設定する</td></tr>
<tr><td>プリンタドライバで次の操作を行います。
1.［印刷品質］ページを表示する
2.［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］をクリックする
3.［マッチング］ページを表示する
4.［ガンマ補正］を調整する</td></tr>
<tr><td>グラデーションのかかった図形を印刷した場合に、グラデーションにすじが入る</td><td>図形の「すじ」のグレーの色の部分に、グレー補償が効いている</td><td>プリンタドライバで次の操作を行います。
1.［印刷品質］ページを表示する
2.［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックする
3.［ユーザ設定］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックする
4.［グレー補償］を「使わない」に設定する</td></tr>
<tr><td rowspan="2">塗りつぶしパターンとパターンの枠線を同じ色に指定しても、正しい色（指定した色）で印刷されない</td><td rowspan="2">細い線をきれいに印刷するために、枠線の線幅によって特殊処理が行われることがある</td><td>プリンタドライバで次の操作を行います。
1.［印刷品質］ページを表示する
2.［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］をクリックする
3.［マッチング］ページを表示する
4.［テキスト］と［グラフィックス］の［マッチング方法］の設定を同じにする</td></tr>
<tr><td>プリンタドライバで次の操作を行います。
1.［印刷品質］ページを表示する
2.［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］をクリックする
3.［マッチング］ページを表示する
4.［ガンマ補正］を調整する</td></tr>
<tr><td>Windows からの印刷で「すじ」が入ったり、部分的に色味が異なる図形が印刷される、または塗りつぶしなしの図形が透過されずに正しい色で印刷されない</td><td>拡大／縮小印刷により重ね合わせた部分がずれた、またはアプリケーションソフトで複雑な重ね合わせを指定した</td><td>プリンタドライバで次の操作を行います。
1.［印刷品質］ページを表示する
2.［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックする
3.［モード詳細］を「高品質」に設定する</td></tr>
<tr><td rowspan="2">カラーの文字がぼけて見える</td><td rowspan="2">カラーの文字に太いフォントを使用している</td><td>細めのフォントを使用して、印刷しなおします。</td></tr>
<tr><td>プリンタドライバで次の操作を行います。
1.［印刷品質］ページを表示する
2.［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］をクリックする
3.［マッチング］ページを表示する
4.［マッチング方法］を［モニタの色に合わせる］に設定する</td></tr>
<tr><td>濃度の濃い部分の色に光沢ムラ／スジ／キズがある</td><td>ドラムカートリッジが劣化、または損傷している、あるいは定着器に不具合がある</td><td>ユーザーズガイド「第 6 章 印字不良が起こったときには」を参照して、処置してください。</td></tr>
<tr><td>印刷した用紙の裏が汚れる</td><td>セットされている用紙サイズよりも大きなサイズの印刷データを送った</td><td>印刷データがセットされている用紙サイズに合っているか確認する</td></tr>
</table>

文字や線のまわりにコンピュータのディスプレイ上にはない四角い領域が現れて、他と異なる色で印字される	OS やアプリケーションソフトによっては、設定した中間調処理や色処理と異なる処理が行われる場合がある	プリンタドライバで次の操作を行います。 1.［印刷品質］ページを表示する 2.［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックする 3.［ユーザ設定］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックする 4.［グレー補償］を［すべて］または「使わない」に設定する
		プリンタドライバで次の操作を行います。 1.［印刷品質］ページを表示する 2.［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックする 3.［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定を［高解像度］、［解像度］、［階調］、［色調］に設定する
		プリンタドライバで次の操作を行います。 1.［印刷品質］ページを表示する 2.［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］をクリックする 3.［マッチング］ページを表示する 4.［テキスト］と［グラフィックス］、［イメージ］の［マッチング方法］の設定を同じにする
カラーの線や文字がかすれる	細い線や文字を使用している	プリンタドライバで次の操作を行います。 1.［印刷品質］ページを表示する 2.［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックする 3.［ユーザ設定］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックする 4.［色付きの線や文字を優先して印刷する］にチェックマークを付ける
印刷する色によって印字位置がわずかにずれる	レーザプリンタは非常に精度の高い技術で作られていますが、印刷画像によっては、ごくわずかに色ずれが目立つ場合があります。これは、レーザプリンタの構造によるもので、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	キャリブレーションを行ってください。（→プリンタの色味が変わってしまったときには：P.3-4）
		プリンタドライバで次の操作を行います。印字不良（色ずれ）が軽減されることがあります。 1.［印刷品質］ページを表示する 2.［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックする 3.［ユーザ設定］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックする 4.［グレー補償］を［使わない］に設定する

プリンタが動作しない・印刷できないときは

本プリンタが動作しない、キー操作ができない、データ送信できないなど正常に動作しないときは、次の確認を行ってください。

症状	原因	処置
電源が入らない	電源プラグが電源コンセントから抜けている	電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
	延長コードを使用したりタコ足配線している	壁の電源コンセントに直接電源プラグを差し込みます。
	ブレーカが落ちている	配電盤のブレーカをオンにします。
	電源コード内部で断線している	同じタイプの他の装置に使用している電源コードに交換してみて、電源が入るようであれば電源コード内部の断線です。新しい電源コードを購入の上交換してください。
プリンタが動かない	オフラインになっている	［オンライン］を押し、オンラインランプを点灯します。(→ユーザーズガイド「第 3 章 プリンタの使いかた」)
	メモリ内にデータが残っている (ジョブランプが点灯している)	［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを印刷します。(→印刷の中止方法：P.1-8)
	インタフェースケーブルが外れている	インタフェースケーブルをコンピュータおよびプリンタのインタフェース接続部にしっかりと接続します。(→ユーザーズガイド「第 2 章 プリンタの設置」)
	本プリンタやオプション品に故障がある	ディスプレイのメッセージを見て、処置します。(→「Ennn-nnnn」「F9-nn　チェックプリンタ」が表示されたときは：P.3-18、メッセージ一覧：P.3-19)
プリントサーバのランプがすべて消灯している	LAN ケーブルが正しく取り付けられていない、または断線している	LAN ケーブルを一度取り外し、接続しなおします。
		他の LAN ケーブルに交換し、接続しなおします。
	ハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続している	ハブの“X”マークのあるポートに接続しなおします。
		ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は、“X”側に切り替えます。
	クロスタイプの LAN ケーブルを使っている	ストレートタイプの LAN ケーブルと交換します。
		クロスタイプの LAN ケーブルをハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続します。ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は“=”側にします。
	ハブと通信できない	ハブの電源が入っていることを確認します。
		接続したハブの通信速度に合わせてプリントサーバの通信設定をします。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)
		ハブを交換します。
	プリントサーバのハードウェアに異常がある	お買い求めの販売店に状況を連絡してください。
印刷が途中で止まってしまった	メモリ内にデータが残っている (ジョブランプが点灯している)	［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを印刷します。(→印刷の中止方法：P.1-8)
操作パネルのランプがつかない	電源が入っていない	電源を入れてください。
	スリープモードになっている	印刷データを送るか、操作パネルのキーをどれか押すと印刷可能な状態に戻ります。
操作パネルのキーが機能しない	メモリ内にデータが残っている (ジョブランプが点灯している)	［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択します。(→印刷の中止方法：P.1-8)
	キーロック機能が働いている (キーを押すとピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「キー　ロック　チュウ」と表示される)	リモート UI からキーロック機能を解除します。プリンタの管理者にご連絡ください。

印刷するたびに紙づまりが起こる	給紙カセットや手差しトレイにセットした用紙が積載制限を超えている	用紙を積載制限の範囲内まで減らし、印刷しなおしてください。(→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-6、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-17)
	給紙カセットや手差しトレイに用紙が正しくセットされていない	用紙を正しくセットしなおし、印刷しなおしてください。(→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-6、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-17)
	給紙カセットや手差しトレイに使用できない用紙がセットされている	使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。(→用紙について：P.2-2)
	給紙選択メニューの次の設定が「フリー」のときに、長辺が 297.0mm 以下のユーザ設定用紙を縦置きにセットして印刷した（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ） ● 手差しトレイ用紙サイズ ● カセット N（N=2、3、4）用紙サイズ	横置きにセットして印刷しなおします。
	LIPS LX プリンタドライバを使用せずに、ユーザ設定用紙を横置きにセットして印刷した	縦置きにセットして印刷しなおします。
	紙づまり処理が不完全である	紙づまりを除去し、印刷しなおしてください。(→紙づまりが起こったときには：P.3-5)
ハードディスクが使えない	セットアップメニューの拡張機能グループの「ハードディスク」が「ツカワナイ」に設定されている	「ハードディスク」を「ツカウ」に設定してからハードリセットしてください。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」)
	ハードディスクエラーが発生した	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「HDD メンテナンス」でフォーマットを実行してください。同様のエラーが発生する場合は、ハードディスクを交換してください。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」)
	ハードディスクが正しく装着されていない	電源を切り、ハードディスクが正しく取り付けられているか確認してください。(→ハードディスク：P.4-11)
	ハードディスクの空き容量が足りず、ハードディスクに保存できない	ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。
ジョブが保存できない	ハードディスクの空き容量が足りず、ハードディスクに保存できない	［オンライン］を押すと、印刷データを無視して印刷可能な状態に戻ります。合計 2GB を超えるデータを保存することはできません。
	保存できるジョブ数を超えた	［オンライン］を押すと、印刷データを無視して、印刷可能な状態に戻ります。同時に保存できるのは、100 個までです。
		ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。
	保存できるジョブの容量を超えた	［オンライン］キーを押すと、印刷データを無視して、印刷可能な状態に戻ります。2GB を超えるプリントを保存することはできません。
		ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。
幅の狭い用紙を連続で印刷した場合に、印刷速度が遅くなる	印刷条件や「小サイズ特殊処理 2」の設定によっては、このような現象が発生することがある	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「小サイズ特殊処理 2」を「1」もしくは「2」に設定して印刷しなおします。ただし、印刷速度を優先するため、印字品質が低下することがあります。(→ LIPS 機能ガイド第 3 章「ユーザメンテナンスグループの設定項目」)

ステイプルして印刷するたびに、紙づまりや針づまりが起こる（LBP5910F のみ）	ステイプル可能な枚数を超えている	ステイプル可能な枚数（15 枚）でステイプルを行ってください。
	ステイプル不可能な用紙サイズ、または用紙タイプを使用した	ステイプル可能な次の用紙を使用してください。 用紙サイズ：A3、B4、A4、B5、レジャー（11 ×17）、レター、エグゼクティブ、ユーザ設定用紙 * 用紙タイプ：普通紙
	ステイプルを行う部分が故障した	次の処置を行ってください。 1. セットアップメニューのユーザメンテナンスグループにある「機能制限モード」の「ステイプル」を「制限する」に設定する 2. お買い求めの販売店に修理を依頼する 「制限する」に設定すると、ステイプルするように設定したジョブでも、通常の印刷（ステイプルしない）処理を行います。 また、「制限する」に設定しても、針カートリッジを取り外さないでください。針カートリッジを取り外した状態で印刷すると紙づまりの原因になります。

* 縦置きの場合：幅 257.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～457.2mm
横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 257.0 ～297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

<table>
<tr>
<td>ステイプルして印刷すると、用紙の端が揃わない状態でステイプルされてしまう、またはきちんとステイプルされない（LBP5910F のみ）</td>
<td>以下の原因が考えられます。
・（搬送方向に対して）用紙の後端から 5cm の範囲に、塗りが指定されている図形や写真などがある
例：

・両面印刷時、重なった面（例：2 ページ目と 3 ページ目）に、塗りが指定されている図形や写真などがある
例：

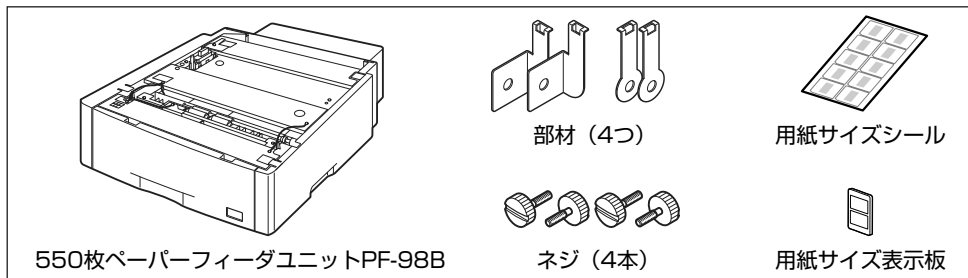
</td>
<td>セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「特殊モード Q」を「ツカウ」に設定して印刷しなおします。
「特殊モード Q」を「ツカウ」に設定すると、ステイプルして印刷するときの印刷速度が低下します。
（片面印刷時 10 ページ／分（A4）、両面印刷時 4 ページ／分（A4））</td>
</tr>
</table>

オプションの設置

Chapter

ペーパーフィーダ 4-2
プリンタを移動する. 4-2
梱包材を取り外し、ペーパーフィーダを取り付ける 4-4
RAM/ROM 4-8
RAM/ROM を取り付ける. 4-8
RAM、ROM の設定について 4-10
ハードディスク. 4-11
ハードディスクを取り付ける. 4-11
インテリジェントコントローラ NB-J2 4-14
パッケージの内容を確認する. 4-14
ケーブルを用意する. 4-14
各部の名称と機能 4-15
NB-J2 を取り付ける. 4-15

ペーパーフィーダ

ペーパーフィーダを設置する前に、パッケージに次のものがすべて揃っているかを確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

Point

550 枚ペーパーフィーダユニット PF-98B は、LBP5910/5910F/5900/5900SE/5610/5600/5600SE 専用です。他の機種用のペーパーフィーダは使用できません。

プリンタを移動する

プリンタ設置後に、ペーパーフィーダを取り付けるときは、次の手順でプリンタをいったん適切な場所に移動させせます。

1 プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外します。

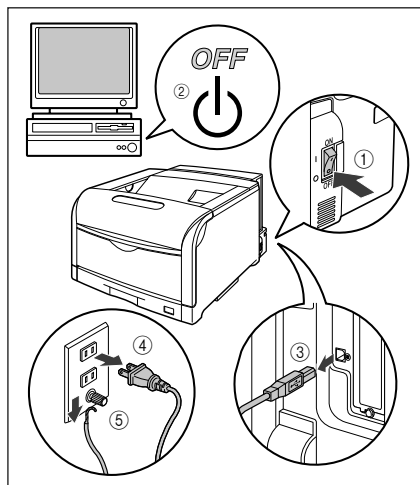
プリンタの電源を切ります ①。

USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切り ②、USB ケーブルを抜きます ③。

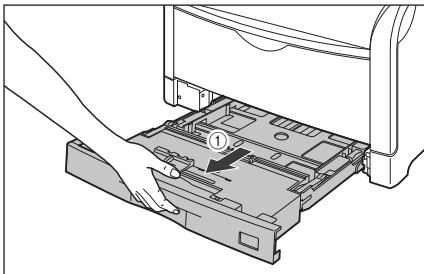
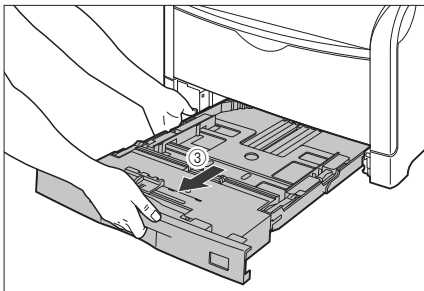
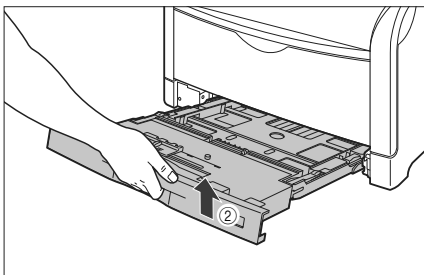
電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。

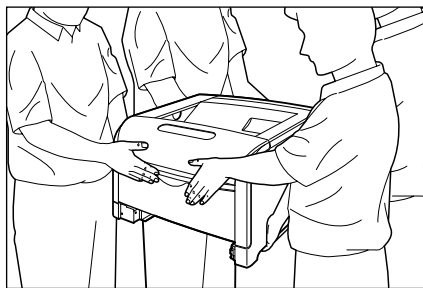
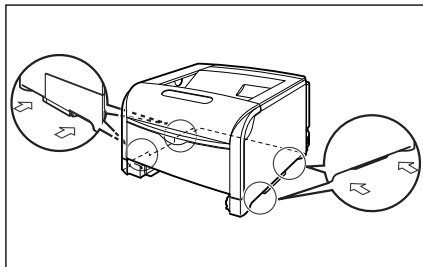
アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。

ハードディスクを使用している場合は、シャットダウンを行ってから電源を切ってください。

ハードディスクを使用していない場合は、ジョブランプが消灯していることや、ディスプレイを見て印刷中でないことを確認してください。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

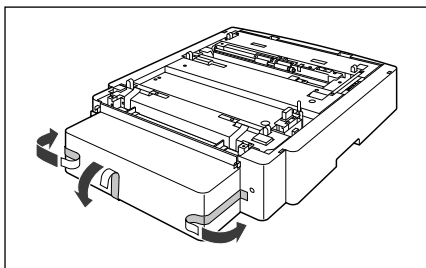
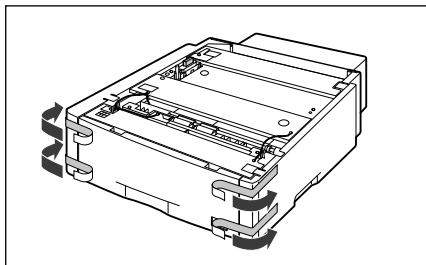
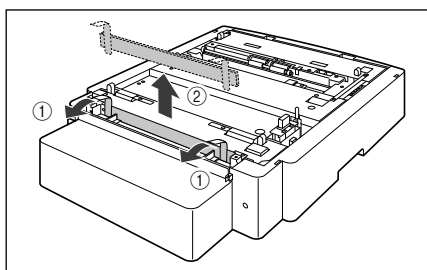
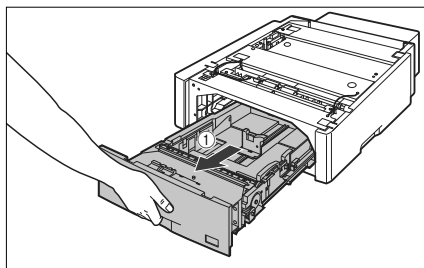
3 給紙カセットを引き出します。

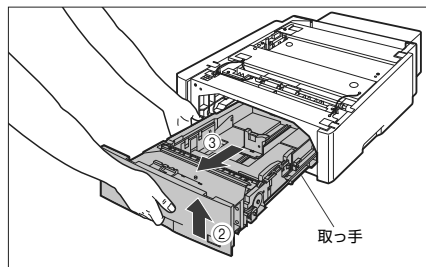
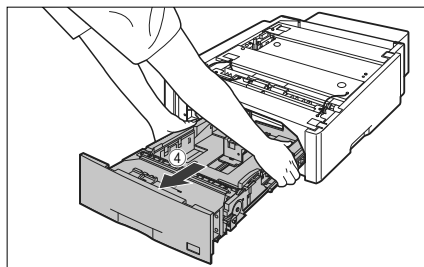
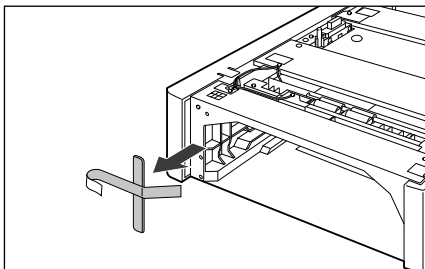
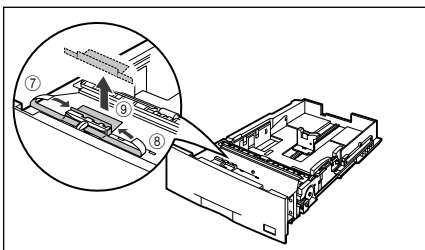
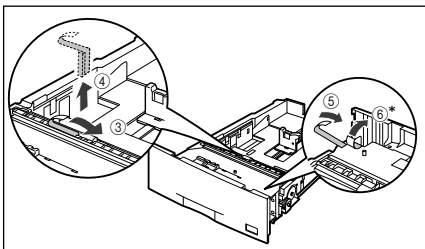
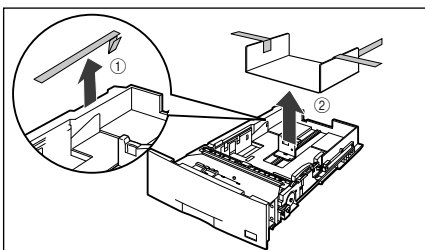
給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。

4 プリンタを設置場所から移動します。

プリンタ下部にある運搬用取っ手に 4 人以上で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。

梱包材を取り外し、ペーパーフィーダを取り付ける

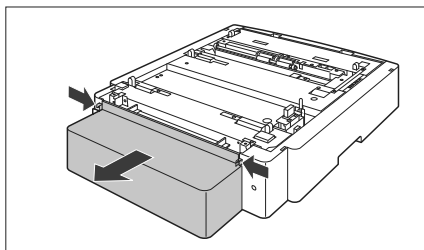
ペーパーフィーダは、プリンタの底面に取り付けます。

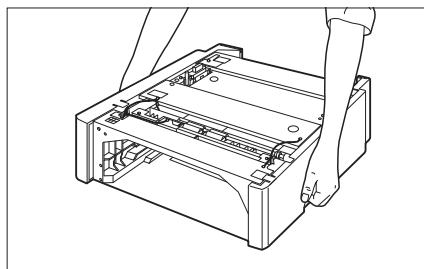
* 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

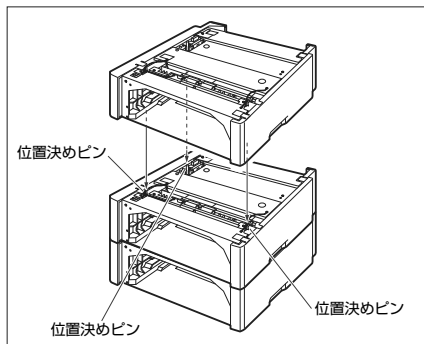
1 給紙カセット、カセット保護カバーを止めているテープを取り外します。

2 図の位置にある梱包材を①、②の順に取り外します。

3 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。

図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。

4 テープ付き梱包材を取り外します。

5 給紙カセット内部のテープと梱包材を取り外します。

* お買い求めいただいたペーパーフィーダによっては、⑥のテープが貼られていない場合があります。

6 ペーパーフィーダのカセット保護カバーを取り外します。

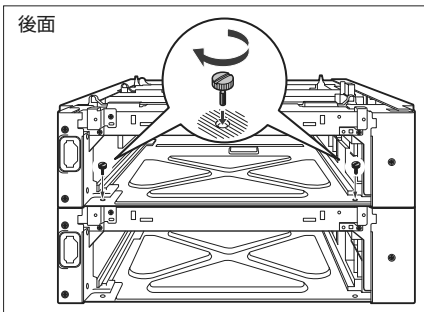
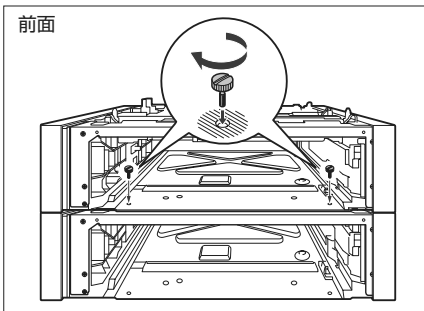
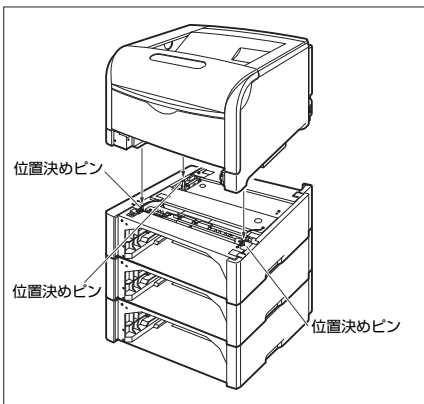
図のようにカセット保護カバーのレバーを押しながら、カセット保護カバーを取り外します。

7 ペーパーフィーダを設置場所に置きます。

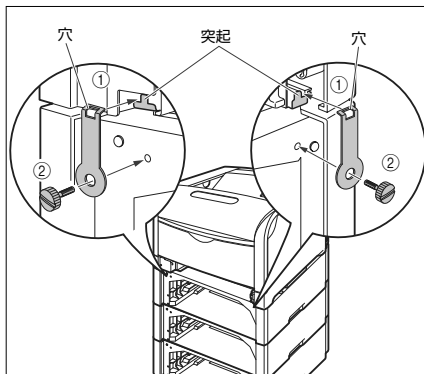
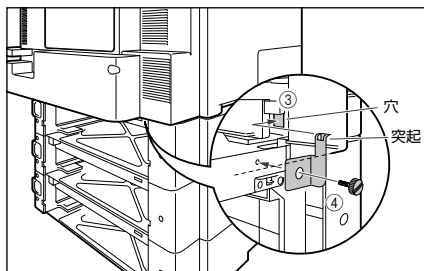
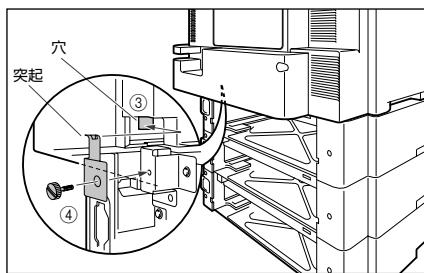
ペーパーフィーダを持ち運ぶときは、両手で左右の運搬用取っ手を持って運んでください。

8 ペーパーフィーダとペーパーフィーダを取り付けるときは、ペーパーフィーダの位置決めピンに合わせてゆっくりと載せます。

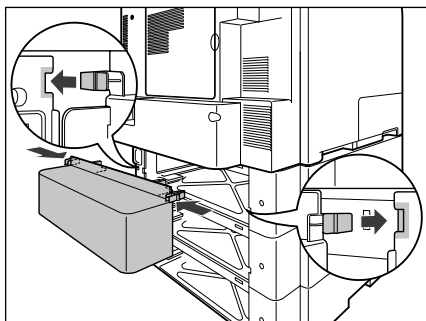
ペーパーフィーダを 1 台のみ取り付ける場合は、手順 9 に進んでください。

Point

ペーパーフィーダは、最大 3 台まで取り付けることができます。

9 付属の 4 本のネジでペーパーフィーダを固定します。

ネジはしっかりと固定してください。

10 プリンタをペーパーフィーダの位置決めピンに合わせてゆっくりと載せます。

11 付属の4つの部材とネジで、プリンタとペーパーフィーダを固定します。

部材の穴をプリンタの突起に取り付けて ①、ネジで固定します ②。

部材の突起をプリンタの穴に取り付け ③、ネジで固定します ④。

12 カセット保護カバーを取り付けます。

図のようにカセット保護カバーのレバーを押しながら、突起をペーパーフィーダ背面の溝に差し込みます。

13 給紙カセットをプリンタ、ペーパーフィーダにセットします。

14 USBケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

15 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

16 必要に応じて、USB ケーブルを接続します。

Point

ペーパーフィーダを装着した後は、次の操作を行います。

1. プリンタドライバの［デバイスの設定］ページを表示する
2. ［デバイス情報取得］をクリックする

プリンタのオプション情報が自動で取得できない場合は、［給紙オプション］から装着したオプションを選択してください。

RAM/ROM

拡張 RAM、コントロール ROM は、プリンタ背面のメインボードに取り付けて使用します。取り付けたあと、必要に応じて RAM や ROM を設定します。

RAM/ROM を取り付ける

RAM/ROM は、次の手順でプリンタのメインボードに取り付けます。取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外します。

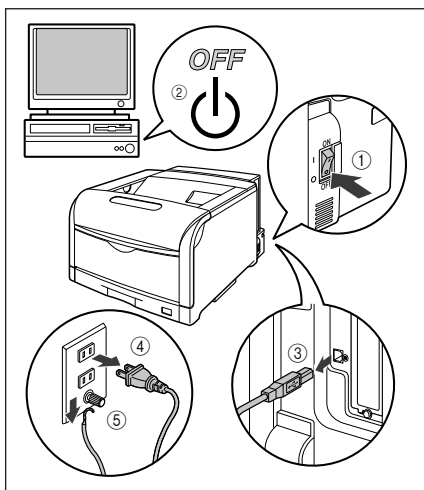
プリンタの電源を切ります ①。

USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切り ②、USB ケーブルを抜きます ③。

電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。

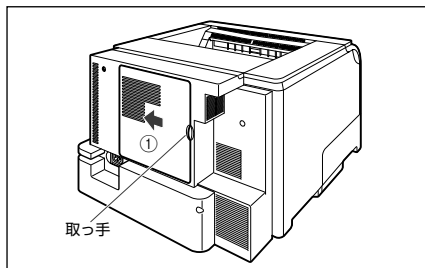
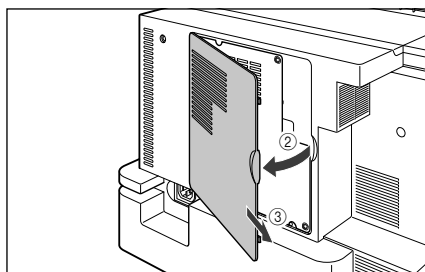
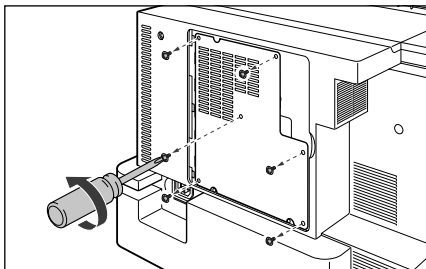
アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。

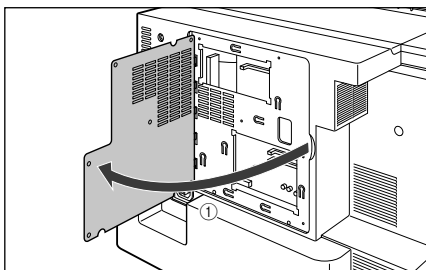
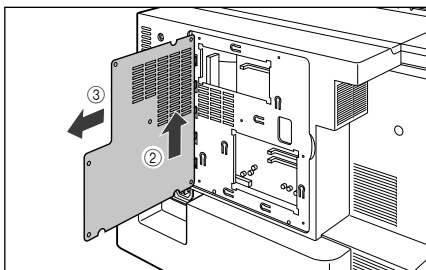
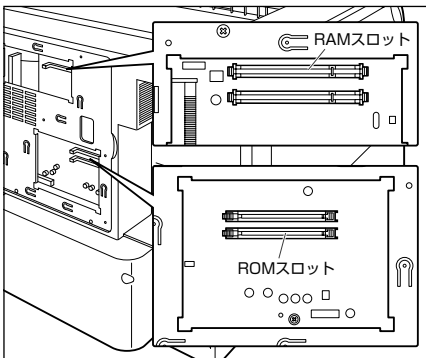
ハードディスクを使用している場合は、シャットダウンを行ってから電源を切ってください。

ハードディスクを使用していない場合は、ジョブランプが消灯していることや、ディスプレイを見て印刷中でないことを確認してください。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

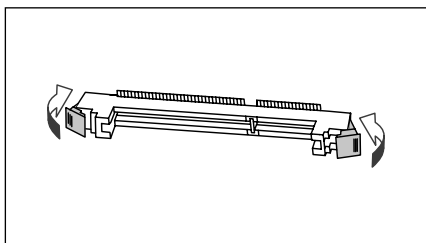
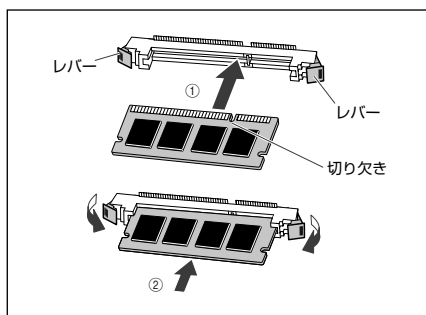
作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

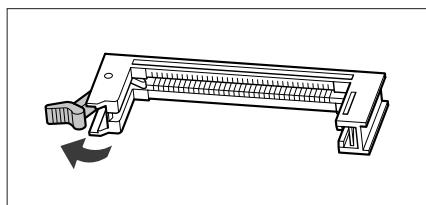
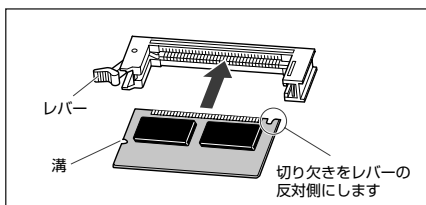
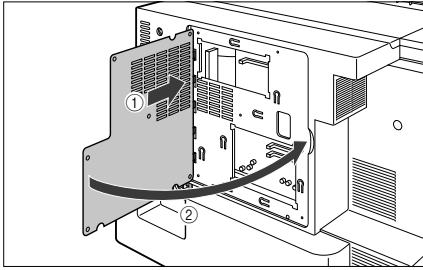
3 後カバーを取り外します。

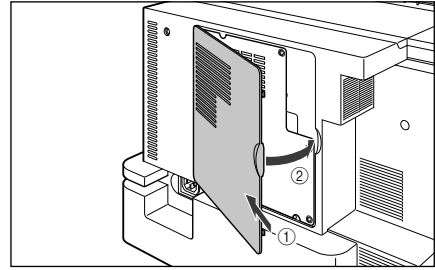
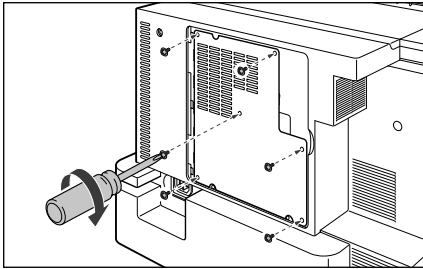
後カバーの取っ手を矢印の方向に少し押します ①。

後カバーを少し開けて ②、矢印の方向に後カバーを取り外します ③。

4 6本のネジを取り外します。

5 スロットカバーを取り外します。

スロットカバーを開けます ①。

スロットカバーを少し持ち上げて ②、矢印の方向にスロットカバーを取り外します ③。

RAMの取り付ける位置は次のとおりです。取り付け位置を確認してからRAMを取り付けてください。

6 RAMやROMを取り付けます。

● RAMを取り付ける場合

a RAMスロットのレバーを押し下げます。

b RAMスロットへ図のように切り欠きに合わせて差し込み ①、奥までしっかりと押し込みます ②。

● ROMを取り付ける場合

a ROMスロットのレバーを押し下げます。

b ROMの切り欠きをレバーの反対側にしてスロットガイドに合わせて差し込み、奥までしっかりと押し込みます。

7 スロットカバーを取り付けて ①、閉めます ②。

8 6 本のネジで固定します。

9 図のように後カバーを差し込み ①、閉めます ②。

10 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

11 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

12 必要に応じて、USB ケーブルを接続します。

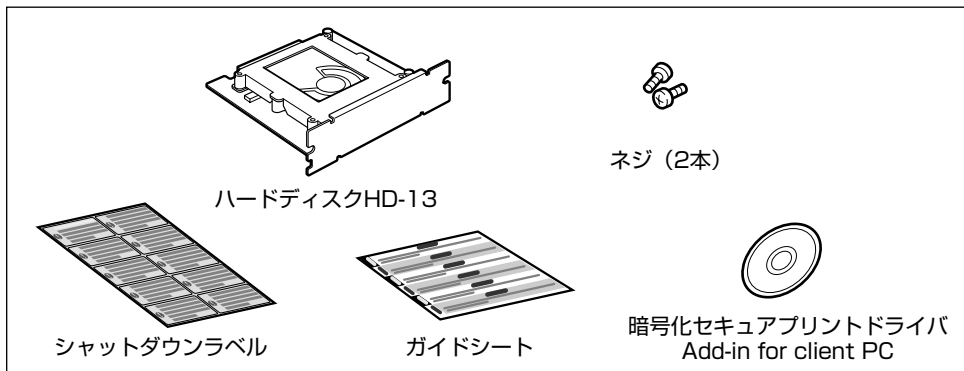
RAM、ROM の設定について

RAM や ROM を取り付けたあとは、必要に応じて次の設定を行ってください。

拡張 RAM → 必要に応じてメニューの印字調整グループの設定を行ってください。

コントロール ROM → メニュー機能で設定します。

ハードディスク

ハードディスクは、プリンタ背面の拡張ボードスロットに取り付けます。取り付け作業を始める前に、パッケージに次のものがすべて揃っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

ハードディスクを取り付ける

ハードディスクは、次の手順でプリンタのハードディスクスロットに取り付けます。ハードディスクの取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

Point

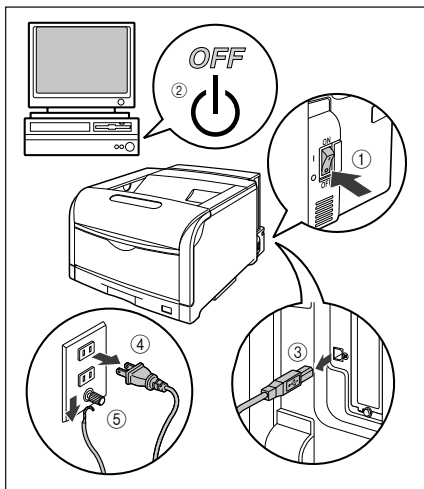
ハードディスクの取り付け後には「パネル設定初期化」を行いますので、プリンタの設定を変更している場合は、ハードディスクの取り付け作業を行う前に、ステータスプリントを印刷してプリンタの設定状況を確認・保存しておいてください。ステータスプリントの印刷方法は、ユーザーズガイド「第6章 プリンタの機能を確認したいときには」を参照してください。

1 プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外します。

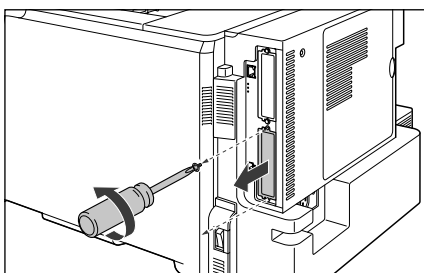
プリンタの電源を切ります ①。

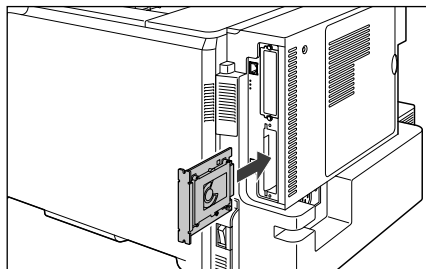
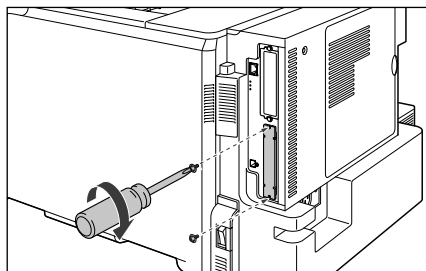
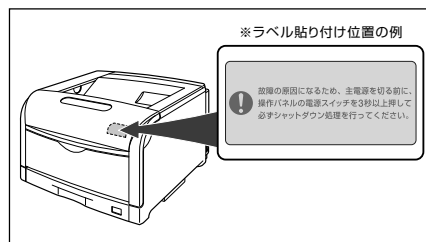
USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切り ②、USB ケーブルを抜きます ③。

電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。

アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

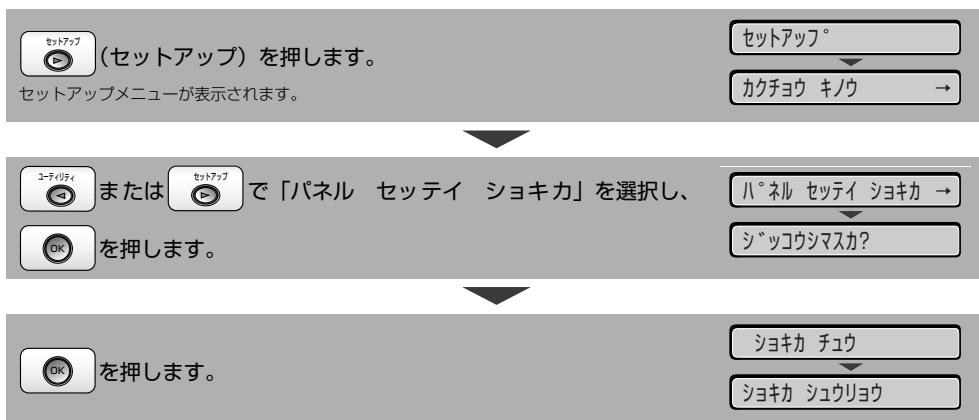
作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

3 ネジを外して、ハードディスクスロットの保護板を取り外します。

4 ハードディスクをハードディスクスロットに差し込みます。

ハードディスクは、金属製のパネル部分を持ち、ハードディスクスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに差し込みます。

5 ハードディスクの上下を、付属の2本のネジで固定します。

6 ハードディスクに同梱されている「シャットダウンラベル」をプリンタの見やすい場所に貼り付けます。

7 電源コード、アース線を接続します。

8 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

9 電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源を入れます。

10 以降の手順で「パネル設定初期化」を行います。

パネル設定初期化の実行時に、「ショキカ デキマセンデシタ」と表示された場合は、初期化は行われていません。

11 初期化終了後、ハードリセットまたはプリンタの電源を入れなおします。

プリンタの起動後、フォーマットが行われます。

ハードディスクのフォーマット中は、ディスプレイに「FORMATTING」と表示されます。フォーマットが終了するまで、しばらくお待ちください。

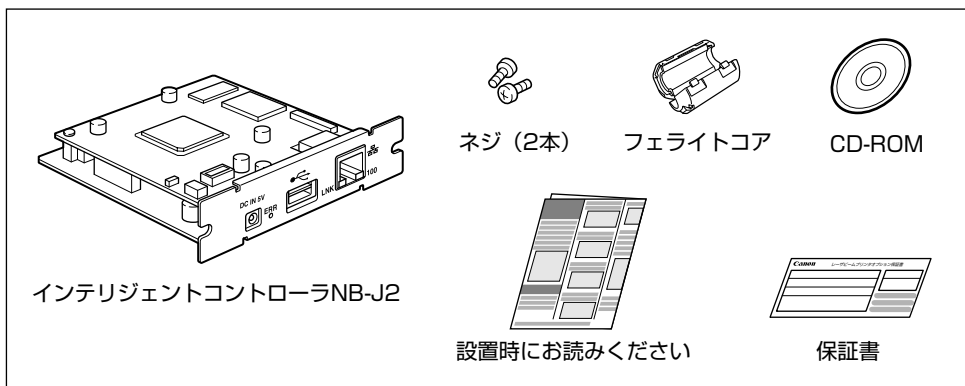
ハードディスクのフォーマットが終了したら、すべてのインタフェースケーブルを接続します。

Point

ハードディスクを装着した後は、次の操作を行います。
1. プリンタドライバの［デバイスの設定］ページを表示する
2. ［デバイス情報取得］をクリックする
プリンタのオプション情報が自動で取得できない場合は、［ハードディスクを装着する］にチェックマークを付けてください。

インテリジェントコントローラ NB-J2

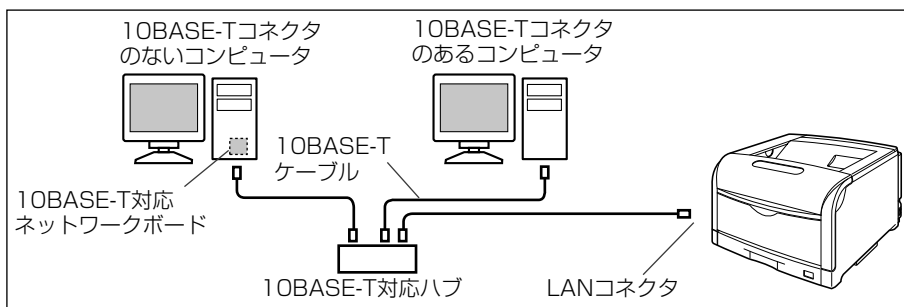
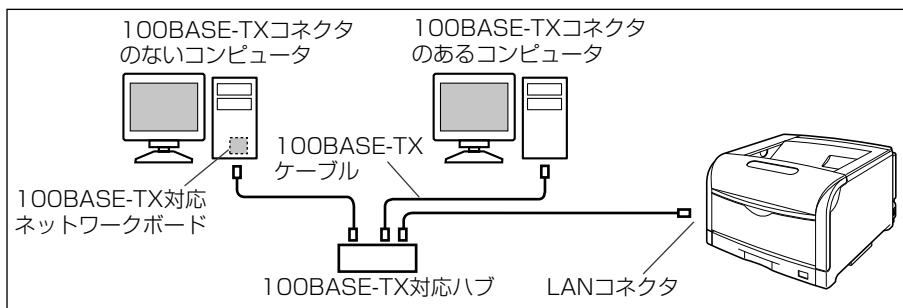
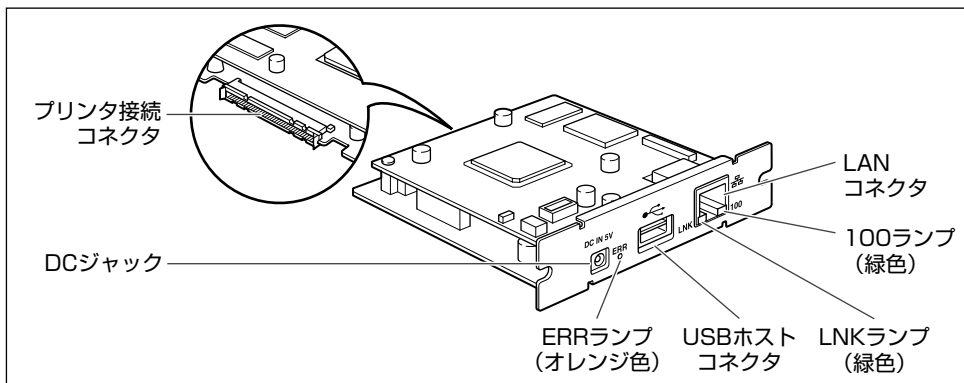
パッケージの内容を確認する

NB-J2 はプリンタの拡張ボードスロットへ取り付けます。NB-J2 を取り付ける前に、パッケージに次のものがすべて揃っているかどうかを確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合には、お買い求めの販売店までご連絡ください。

ケーブルを用意する

カテゴリ 5 対応のツイストペアケーブルで本プリンタをネットワークに接続することができます。ケーブルやハブなどは、必要に応じて別途ご用意ください。

●ネットワークの環境について

NB-J2 は、10BASE-T/100BASE-TX 接続に対応しています。

・10BASE-T Ethernet ネットワークに接続する場合

・100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合

各部の名称と機能

NB-J2 を取り付ける

NB-J2 は、次の手順でプリンタの拡張ボードスロットに取り付けます。NB-J2 の取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外します。

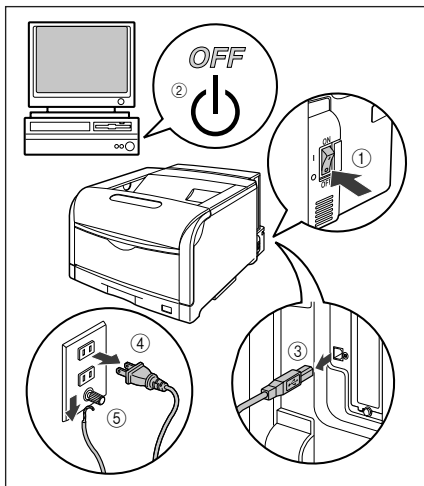
プリンタの電源を切ります ①。

USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って ②、USB ケーブルを抜きます ③。

電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。

アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。

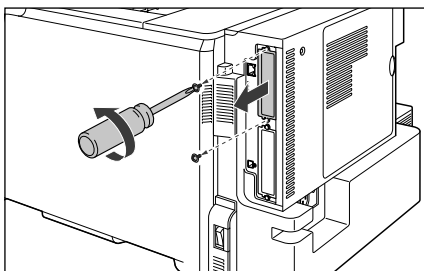
ハードディスクを使用している場合は、シャットダウンを行ってから電源を切ってください。

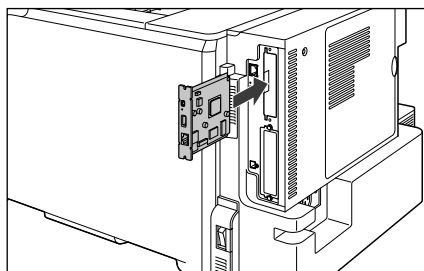
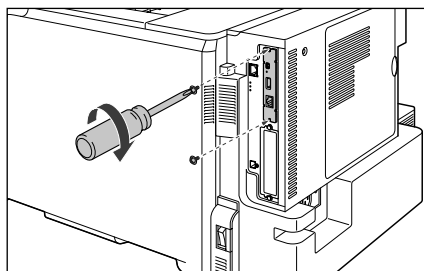
ハードディスクを使用していない場合は、ジョブランプが消灯していることや、ディスプレイを見て印刷中でないことを確認してください。

Check!

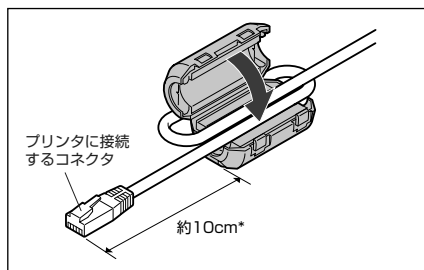
NB-J2 の抜き差しは、必ず電源を切った状態で行ってください。電源を入れたままで基板を抜き差しすると、NB-J2 やプリンタを破損する恐れがあります。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外します。

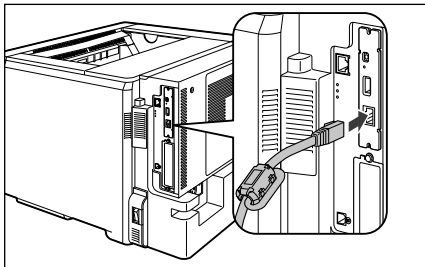
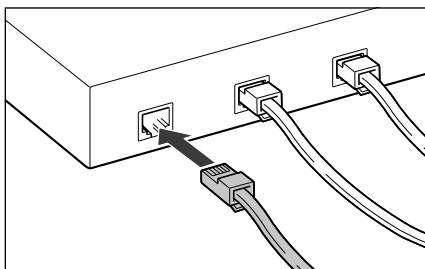
作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

3 ネジを外して、拡張ボードスロットの保護板を取り外します。

4 NB-J2 を拡張ボードスロットに差し込みます。

NB-J2は、金属製のパネル部分を持ち、拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。

5 NB-J2 の上下を、付属の 2 本のネジで固定します。

6 図のようにLANケーブルにフェライトコアを取り付けます。

フェライトコアはプリンタに接続するコネクタの先端から約 10cm の場所に取り付けます。

* NB-J2 の取扱説明書に記載されている数値と異なる場合がありますが、ここに記載されている数値（約 10cm）にしたがって、取り付けてください。

7 LAN ケーブルを接続します。

お使いのネットワークに合わせて、インテリジェントコントローラの LAN コネクタに対応した LAN ケーブルを接続してください。

8 LANケーブルの反対側をハブのコネクタへ接続します。

9 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

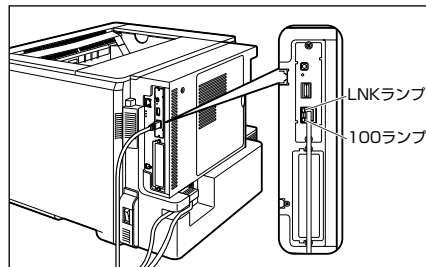
10 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

11 必要に応じて、USB ケーブルを接続します。

12 電源スイッチの"I"側を押して、プリンタの電源を入れます。

13 NB-J2 のLNK ランプ(緑)が点灯していることを確認します。

10BASE-T の場合は、LNK ランプが点灯していれば正常です。

100BASE-TX の場合は、LNK ランプと100 ランプが点灯していれば正常です。

正常に動作していない場合はプリンタの電源を入れ、LAN ケーブルの接続やハブの動作、NB-J2 の取り付け状態を確認してください。確認したあと、電源を入れても正常に動作しない場合は、NB-J2 に付属のユーザーズガイド「第 6 章 困ったときには」を参照してください。

NB-J2 の取り付けが完了しました。NB-J2 を使用するには、NB-J2 に付属のユーザーズガイド「第 3 章 SMS を使用する」を参照してネットワークの設定を行ってください。

お役立ち情報

Chapter

5

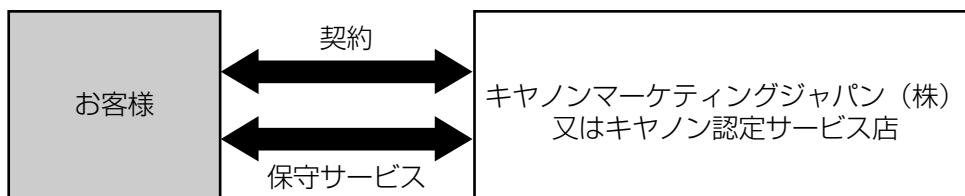
保守サービスのご案内. 5-2
キヤノン保守契約制度とは 5-2
キヤノンサービスパックとは 5-3
補修用性能部品 5-3
無償保証について 5-4
シリアルナンバーの表示位置について 5-5
ソフトウェアのバージョンアップについて 5-6
情報の入手方法 5-6
ソフトウェアの入手方法 5-6
消耗品／定期交換部品の一覧. 5-7
消耗品. 5-7
定期交換部品. 5-8
設置場所と取り扱いについて. 5-9
設置環境 5-9
設置スペース. 5-10
取り扱い上のご注意. 5-12

保守サービスのご案内

●ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはレーザビームプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザビームプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）

キヤノン保守契約制度のメリット

●都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。

万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

●保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キヤノンサービスパックのメリット

●簡単登録

従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

●電話一本

万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

●固定料金

キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。

「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いいたします。

キヤノンサービスパックの登録有効期間は、本体ご購入後 90 日以内となります。

補修用性能部品

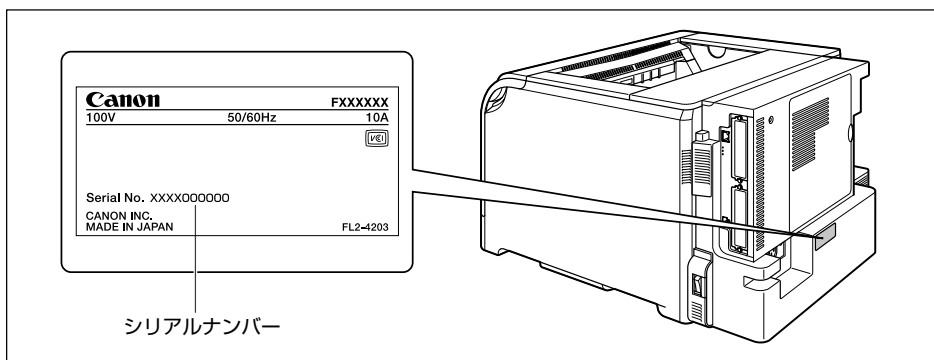
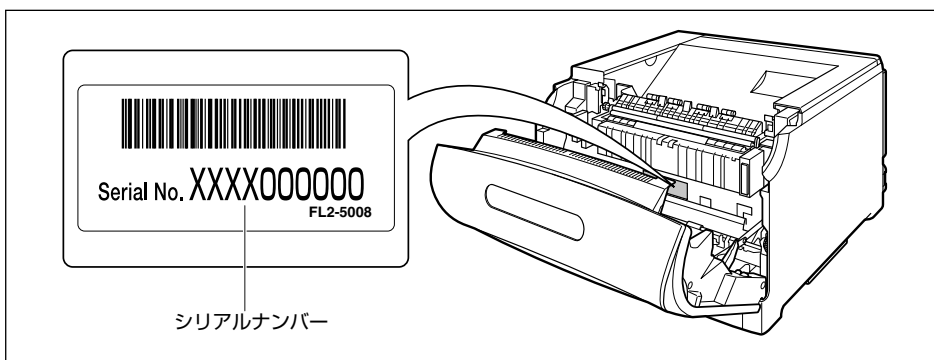
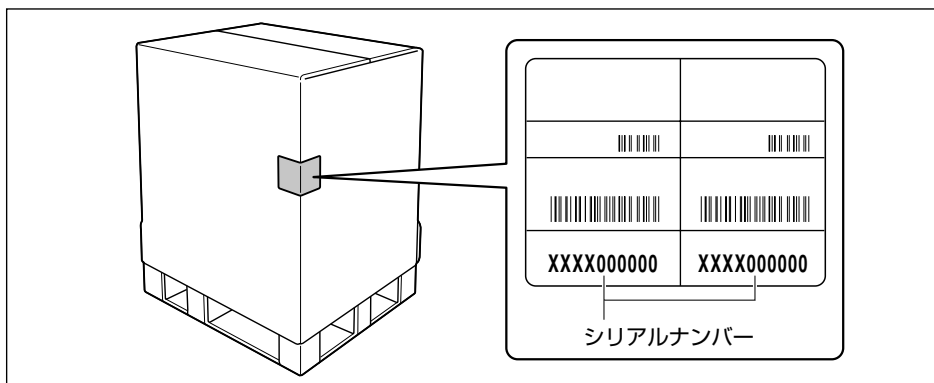
本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後 7 年間です。

無償保証について

- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

シリアルナンバーの表示位置について

本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー (Serial No.) が必要になります。
本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

●プリンタ背面

●プリンタ内部

●梱包箱外側

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

●キヤノンホームページ (http://canon.jp/)

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

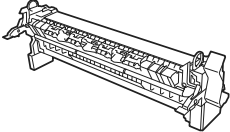
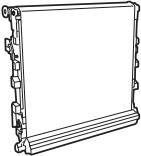
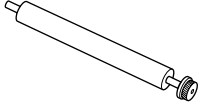
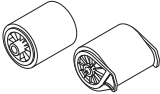
ダウンロードにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

●キヤノンホームページ (http://canon.jp/)

キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

消耗品／定期交換部品の一覧

消耗品

本プリンタでは、消耗品として次のものが用意されています。消耗品は、本プリンタをお買い求めの販売店などでお買い求めください。

消耗品は、次の表の記載を目安に交換してください。ただし、プリンタの設置環境や印刷する用紙サイズにより、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。

消耗品	交換の目安	用途
トナーカートリッジ	• Canon Toner Cartridge 502 Black （キヤノン　トナーカートリッジ　５０２　ブラック）：10,000 ページ（A4 片面） • Canon Toner Cartridge 502 Yellow （キヤノン　トナーカートリッジ　５０２　イエロー）：6,000 ページ（A4 片面） • Canon Toner Cartridge 502 Magenta （キヤノン　トナーカートリッジ　５０２　マゼンタ）：6,000 ページ（A4 片面） • Canon Toner Cartridge 502 Cyan （キヤノン　トナーカートリッジ　５０２　シアン）：6,000 ページ（A4 片面）	それぞれに 1 色づつのトナーが入った 4 種類のカートリッジです。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-43）
ドラムカートリッジ	• Canon Drum Cartridge 502 Black （キヤノン　ドラムカートリッジ　５０２　ブラック）：約 50,000 ページ（A4 片面） • Canon Drum Cartridge 502 Yellow （キヤノン　ドラムカートリッジ　５０２　イエロー）：約 50,000 ページ（A4 片面） • Canon Drum Cartridge 502 Magenta （キヤノン　ドラムカートリッジ　５０２　マゼンタ）：約 50,000 ページ（A4 片面） • Canon Drum Cartridge 502 Cyan （キヤノン　ドラムカートリッジ　５０２　シアン）：約 50,000 ページ（A4 片面）	感光ドラムが入ったカートリッジです。（→ドラムカートリッジを交換する：P.2-47）
回収トナー容器	6,200 ページ（A4 片面）	使用済みのトナーが入る容器です。（→回収トナー容器を交換する：P.2-59）
針カートリッジ	1,000 本	ステイプルする針が入ったカートリッジです。（→針カートリッジを交換する（LBP5910F のみ）：P.2-61） * 交換用の針カートリッジは、3 個セットでお買い求めいただけます。

定期交換部品

本プリンタでは、定期交換部品として次のものが用意されています。ITB ユニット、二次転写ローラ、給紙ローラは専門のサービスマンが行います。お客様での交換はできませんので、本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。定着器につきましては、お客様での交換も可能です。本プリンタをお買い求めの販売店などでお買い求めください。サービスマンが定期交換部品を交換した場合には、部品代と技術料、訪問料金が別途必要となります。

定期交換部品は、次の表の記載を目安に交換してください。ただし、プリンタの設置環境や印刷する用紙サイズにより、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。

定期交換部品	交換の目安	用途
定着器	150,000 ページ（A4 片面）	トナーを用紙に定着させるためのユニットです。寿命をすぎると、画像不良や用紙のしわの原因になります。（→ユーザーズガイド第 5 章「定着器を交換する」）
ITB ユニット	150,000 ページ（A4 片面）	4 色のトナーを用紙に転写させるためのユニットです。
二次転写ローラ	150,000 ページ（A4 片面）	4色のトナーを用紙に転写させるためのローラです。
給紙ローラ（給紙カセット、手差しトレイ）	150,000 ページ（A4 片面）	給紙カセット、手差しトレイから用紙を給紙するためのローラです。

設置場所と取り扱いについて

本プリンタを安全かつ快適にご使用いただくために、「設置環境」に記載されている「温度／湿度条件」、「電源条件」、「設置条件」を満たした場所に設置してください。また、取り扱いについての注意事項を記載しています。お使いになる前に必ずお読みください。

設置環境

本プリンタの設置場所は、次の環境条件を考慮の上、お選びください。

温度／湿度条件

温度、湿度が次の範囲内の場所でご使用ください。

- 周囲温度：10 ～ 30 ℃
- 周囲湿度：10 ～ 80%RH（結露のないこと）簡単登録

●超音波加湿器をご使用のお客様へ

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因になります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をおすすめします。

電源条件

LBP5910/5910F の最大消費電力は 1300W 以下です (AC100V ± 10%、50/60Hz ± 2Hz)。電気的なノイズや許容範囲を超える電源電圧の降下は、本プリンタだけでなく、コンピュータ本体の誤作動やデータ消失の原因になることがあります。

電源を接続するときは、次の事項をお守りください。

- 必ず 15A 以上の電源コンセントに、プリンタの電源を接続してください。
- アース線を接続してください。

お使いの電源について不明な点があれば、ご契約の電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

設置条件

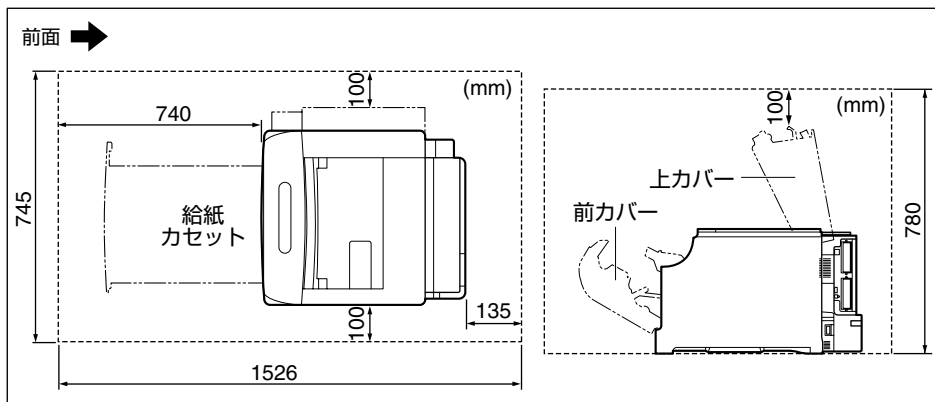
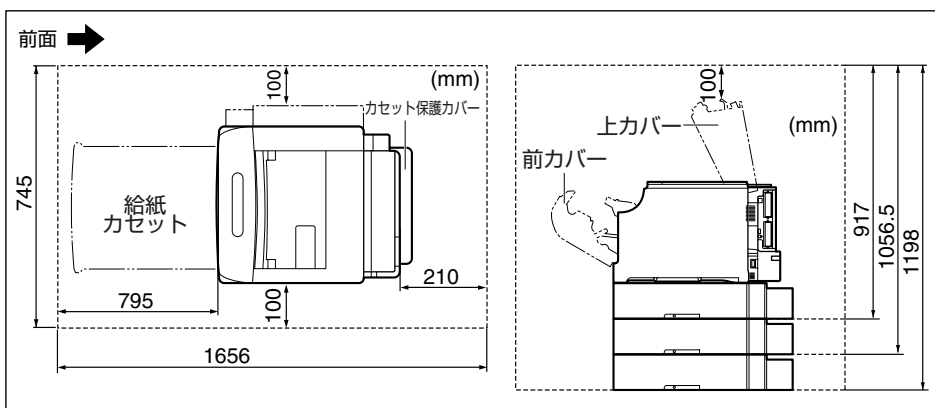
本プリンタは、次のような場所に設置してください。

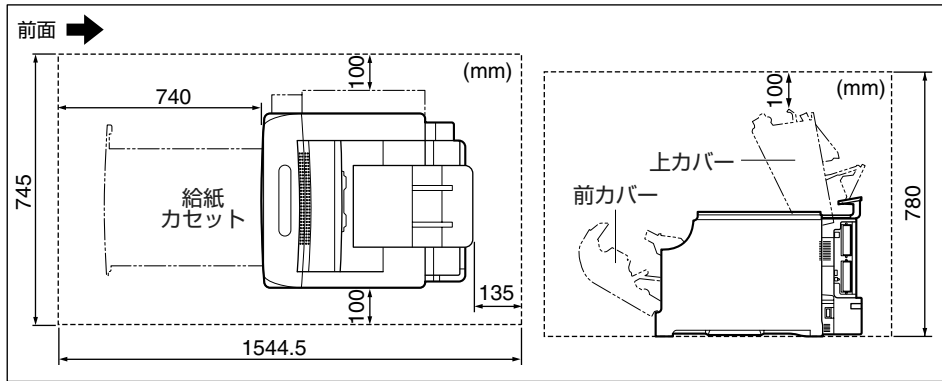
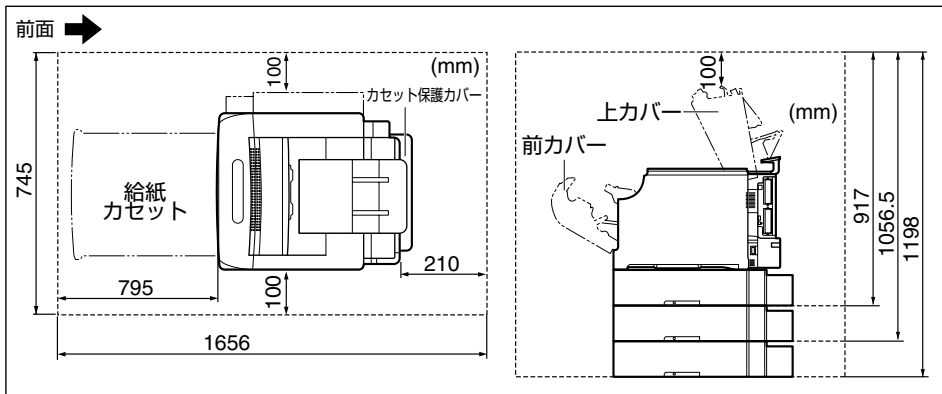
- 十分なスペースが確保できる場所
- 風通しがよい場所
- 平坦で水平な場所
- 本プリンタおよびオプション品の質量に耐えられる十分な強度のある場所

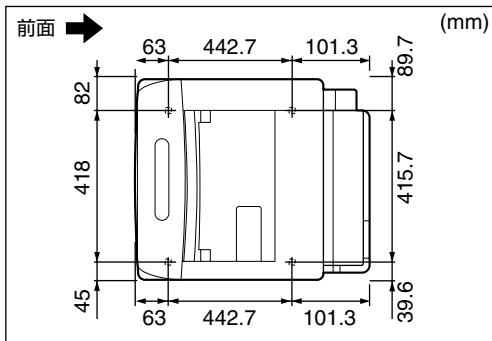
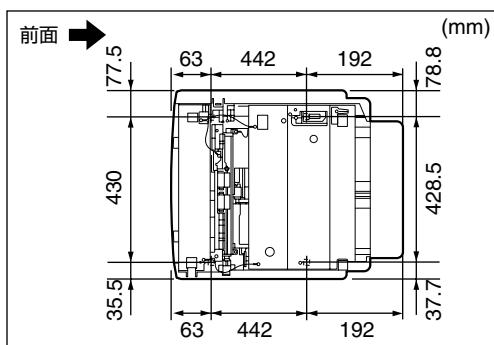
設置スペース

本プリンタの周囲には、次のような空間を確保し、本プリンタの質量に耐えられる場所を選んで設置してください。周囲に必要な寸法、足の位置は次のようになっています。

周囲に必要なスペース（LBP5910）

●標準状態

●ペーパーフィーダ× 3 段装着状態

周囲に必要なスペース（LBP5910F）

●標準状態

●ペーパーフィーダ× 3 段装着状態

足の位置

●プリンタ

● 550 枚ペーパーフィーダユニット PF-98B

取り扱い上のご注意

注意

万一、本体のハードディスクに不具合が発生した場合、受信したデータや記録保存したデータが消失することがあります。ハードディスクを重要なデータの記録保存には使用しないことをお勧めします。お客様のデータの消失による損害につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

メニュースタートアップ

ジョブキャンセルメニュー

現在データ受信中およびデータ処理中のジョブをキャンセルします。

※ジョブキャンセルメニューの詳細については、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイド 第2章「メニューの機能と操作」を参照してください。

給紙選択メニュー MAP D

給紙カセットと手差しトレイのどちらから印刷するのかや、用紙のサイズを設定します。

ユーティリティメニュー MAP D

プリンタの現在の設定内容などの内部情報を印刷します。

ジョブメニュー MAP D

セキュアプリントやボックスに保存したジョブの操作、各種の履歴リストを印刷します。

セットアップメニュー MAP A B C

レイアウトの調整や、拡大／縮小など、印刷するときの環境を設定します。

リセットメニュー MAP D

プリンタのリセット操作や印刷データの排出、シャットダウン操作を行います。

各メニューを表示したあとのメニュー項目（内容）については、該当する MAP A から MAP D を参照してください。

ルートマップの見かた

←キー操作

←「グループ」の階層をあらわしています。

←「設定項目」の階層をあらわしています。

←取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドのページ数をあらわしています。

←「設定値」の階層をあらわしています。アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値をあらわしています。

- ルートマップ中の「 ▪▪▪▪ 」は、設定値を省略していることをあらわしています。
- 「＊」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドを参照してください。
- 「★」印の設定項目は、LBP5910Fのみ表示されます。
- キー操作について
  メニュー項目の指定は、操作パネルの ▲▼◀▶ と［OK］の5つのキーを使って操作します。
  ▲上の項目に戻る。
  ▼下の項目に進む。または項目を決定する。
  ［OK］でも同様の操作が行えます。
  ◀左の項目を選択する。
  ▶右の項目を選択する。

MAP A MAP B 共通セットアップメニューを表示する

1. ［セットアップ］を押します。
   セットアップメニューが表示されます。

ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｶｸﾁｮｳ ｷﾉｳ →

※共通セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。ただし、オンライン状態では、「ユーザメンテナンス」グループの設定はできません。

MAP C LIPS専用セットアップメニュー（LIPS4セットアップ、LIPS LXセットアップ）を表示する

1. ［セットアップ］を押します。
   セットアップメニューが表示されます。

ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｶｸﾁｮｳ ｷﾉｳ →

※LIPS専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

2. 「LIPS4セットアップ」または「LIPS LXセットアップ」を表示します。
   ［◀］または［▶］を押します。

LIPS4ｾｯﾄｱｯﾌﾟ →

3. 下の階層へ進みます。
   ［OK］を押します。

ｶｸﾀﾞｲ/ｼｭｸｼｮｳ →

LIPS専用セットアップメニューが表示されます。

MAP C ESC/P専用セットアップメニューを表示する

1. ［セットアップ］を押します。
   セットアップメニューが表示されます。
   ※ESC/P専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｶｸﾁｮｳ ｷﾉｳ →

2. 「ESC/P セットアップ」を表示します。
   ［◀］または［▶］を押します。

ESC/P ｾｯﾄｱｯﾌﾟ →

3. 下の階層へ進みます。
   ［OK］を押します。
   ESC/P専用セットアップメニューが表示されます。

ﾍﾟｰｼﾞﾚｲｱｳﾄ →

MAP C IMAGING専用セットアップメニューを表示する

1. ［セットアップ］を押します。
   セットアップメニューが表示されます。
   ※IMAGING専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｶｸﾁｮｳ ｷﾉｳ →

2. 「IMAGING セットアップ」を表示します。
   ［◀］または［▶］を押します。

IMAGING ｾｯﾄｱｯﾌﾟ →

3. 下の階層へ進みます。
   ［OK］を押します。
   IMAGING専用セットアップメニューが表示されます。

ｶﾞｿﾞｳﾉﾑｷ →

MAP C PDF1.5専用セットアップメニューを表示する

1. ［セットアップ］を押します。
   セットアップメニューが表示されます。
   ※PDF1.5専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｶｸﾁｮｳ ｷﾉｳ →

2. 「PDF1.5」を表示します。
   ［◀］または［▶］を押します。

PDF1.5 →

3. 下の階層へ進みます。
   ［OK］を押します。
   PDF1.5専用セットアップメニューが表示されます。

ﾚﾝﾀﾞﾘﾝｸﾞ ｲﾛｸｳｶﾝ→

MAP D 給紙選択メニューを表示する

1. ［給紙選択］を押します。
   給紙選択メニューが表示されます。
   ※給紙選択メニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

ｷｭｳｼ ｾﾝﾀｸ
ｷｭｳｼ ﾓｰﾄﾞ →

給紙選択

MAP D ジョブメニューを表示する

1. オンライン状態になっていることを確認します。
   オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。

2. ［ジョブ］を押します。
   ジョブメニューが表示されます。

ｼﾞｮﾌﾞ
ｼﾞｮﾌﾞﾘﾚｷﾘｽﾄ →

MAP D ユーティリティメニューを表示する

1. オンライン状態になっていることを確認します。
   オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。

2. ［ユーティリティ］を押します。
   ユーティリティメニューが表示されます。

ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ
ｽﾃｰﾀｽﾌﾟﾘﾝﾄ →

MAP D リセットメニューを表示する

1. ［リセット］を押します。
   リセットメニューが表示されます。

ﾘｾｯﾄ
ｿﾌﾄ ﾘｾｯﾄ →

※リセットメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。ただし、プリンタにエラーが発生しているときは、「排出」をすることはできません。

メニュールートマップでは、本プリンタで設定できる各機能のメニューが一目で理解できるように記載してあります。
各メニューの設定項目や内容を知りたいときにご活用ください。
詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められている「LIPS機能ガイド」を参照してください。

MAP A

メニュールートマップ

共通セットアップ編

拡張機能

- スリープモード P.3-12: 使う / ディープスリープ / 使わない / パネルオフ
- エラースリープ P.3-13: する / しない
- スリープ移行時間 P.3-13: 10分 / 15分 / 30分 / 60分 / 180分 / 5分
- 警告処理 P.3-13
  - トナー交換予告: 継続 / 停止
- 自動エラースキップ P.3-14: しない / する
- 表示言語 P.3-14: 日本語 / ENGLISH
- ブザー P.3-14: 1回 / 連続
- 警告表示 P.3-15
  - トナー交換予告: する / しない
  - 定着器交換予告: する / しない
  - 回収トナー交換予告: する / しない
  - ドラム交換予告: する / しない
  - カセット用紙なし: する / しない
  - Eメール通信エラー *: する / しない
- 日付／時刻設定 P.3-15
  - 日付: 2001/01/01 ～ 2089/12/31
  - 時刻（24時間）: 00:00:00 ～ 23:59:59
- タイマー設定
  - ウェイクアップタイマー P.3-16: 使わない / 使う
  - ウェイクアップ時刻 P.3-16: 00:00～23:59
  - スリープタイマー P.3-16: 使わない / 使う
  - スリープ時刻 P.3-17: 00:00～23:59
  - キャリブレーションタイマー P.3-17: 使わない / 使う
  - キャリブレーション時刻 P.3-18: 00:00～23:59
- ハードディスク *P.3-18: 使う / 使わない
- 割り込み印刷 *P.3-19: 許可する / 許可しない
- セキュアプリント消去 *P.3-19: 1時間 / 2時間 / 3時間 / 6時間 / 12時間 / 24時間
- セキュアプリント形式 *P.3-19: イメージ / PDL
- RIP Once *P.3-20: 使う / 使わない
- ジョブ履歴保証 *P.3-20: しない / する
- 静音モード P.3-20: 10 ～ 0
- PDL選択（PnP） P.3-21: LIPS LX / LIPS Ⅳ

給紙

- 手差しトレイ用紙サイズ P.3-22: A4 / B4 / A3 / レター / リーガル / レジャー / エグゼクティブ / 305 x 457mm / フリー / ユーザセッティイサイズ / ユーザセッティイサイズR / ハガキ / 往復ハガキ / 4面ハガキ / 封筒Y4 / 封筒Y2 / 封筒K2 / SRA3 / A5 / B5
- カセット2用紙サイズ *P.3-22: ユーザセッティイサイズ / ユーザセッティイサイズR / フリー
- カセット3用紙サイズ *P.3-22: ユーザセッティイサイズ / ユーザセッティイサイズR / フリー
- カセット4用紙サイズ *P.3-22: ユーザセッティイサイズ / ユーザセッティイサイズR / フリー

下段に続く

上段から続く

- デフォルト用紙サイズ P.3-23: A4 / B4 / A3 / レター / リーガル / レジャー / エグゼクティブ / 305 x 457mm / ハガキ / 往復ハガキ / 4面ハガキ / 封筒Y4 / 封筒Y2 / 封筒K2 / SRA3 / A5 / B5
- 手差しトレイ優先 P.3-23: しない / する
- 用紙不一致時トレイ P.3-24: 使わない / 使う
- 自動選択 P.3-24
  - 手差しトレイ: 使う / 使わない
  - カセット1: 使う / 使わない
  - カセット2 *: 使う / 使わない
  - カセット3 *: 使う / 使わない
  - カセット4 *: 使う / 使わない
- デフォルト用紙タイプ P.3-25: 普通紙 / 普通紙L / 厚紙1 / 厚紙2 / ハガキ / 封筒 / コート紙 / ラベル用紙
- 手差しトレイ用紙タイプ P.3-25: フリー / 普通紙 / 普通紙L / 厚紙1 / 厚紙2 / ハガキ / 封筒 / コート紙 / ラベル用紙
- カセット1用紙タイプ P.3-26: フリー / 普通紙 / 普通紙L / ラベル用紙
- カセット2用紙タイプ *P.3-26: フリー / 普通紙 / 普通紙L / ラベル用紙
- カセット3用紙タイプ *P.3-26: フリー / 普通紙 / 普通紙L / ラベル用紙
- カセット4用紙タイプ *P.3-26: フリー / 普通紙 / 普通紙L / ラベル用紙
- 手差し両面 P.3-27: 1面目 / 2面目
- 両面印刷 P.3-27: しない / する

レイアウト

- コピー枚数 P.3-29: 1 ～ 9999
- 縦位置補正 P.3-29: -50.0 ～ 0.0 ～ 50.0
- 横位置補正 P.3-29: -50.0 ～ 0.0 ～ 50.0
- とじ方向 P.3-30: 長辺とじ / 短辺とじ
- とじしろ P.3-31: -50.0 ～ 0.0 ～ 50.0
- 特殊両面処理 P.3-33: する / しない

印字調整

- 解像度 P.3-34: ファイン / スーパーファイン
- 階調処理 P.3-34: 高階調1 * / 高階調2 * / 標準 *
- ドラフトモード P.3-35: 使わない / 使う
- トナー濃度C P.3-36: 1 ～ 9 ～ 16
- トナー濃度M P.3-36: 1 ～ 9 ～ 16
- トナー濃度Y P.3-36: 1 ～ 9 ～ 16

下段に続く

上段から続く

- トナー濃度K P.3-36: 1 ～ 9 ～ 16
- カラーモード P.3-36: 自動 / カラー / モノクロ
- 中間調選択
  - モノクロ中間調 P.3-36
    - テキスト: 解像度 / 階調 / 色調 / 高解像度 / 誤差拡散 *
    - グラフィックス: 階調 / 色調 / 高解像度 / 誤差拡散 * / 解像度
    - イメージ: 色調 / 高解像度 / 誤差拡散 * / 解像度 / 階調
  - カラー中間調 P.3-37
    - テキスト: 解像度 / 階調 / 色調 / 高解像度 / 誤差拡散 *
    - グラフィックス: 色調 / 高解像度 / 誤差拡散 * / 解像度 / 階調
    - イメージ: 色調 / 高解像度 / 誤差拡散 * / 解像度 / 階調
- グレー補償 P.3-38
  - テキスト: する / しない
  - グラフィックス: する / しない
  - イメージ: する / しない
- CMS
  - CMS（マッチング）選択 P.3-38: プリンタ / ホスト
  - CMS／ガンマ P.3-38
    - テキスト: CMS / ガンマ
    - グラフィックス: CMS / ガンマ
    - イメージ: CMS / ガンマ
  - RGBソースプロファイル P.3-39
    - テキスト: sRGB_v1.31 / HDTV_gamma_1.5 / HDTV_gamma_1.8 / HDTV_gamma_2.4 / ダウンロードプロファイル *
    - グラフィックス: sRGB_v1.31 / HDTV_gamma_1.5 / HDTV_gamma_1.8 / HDTV_gamma_2.4 / ダウンロードプロファイル *
    - イメージ: sRGB_v1.31 / HDTV_gamma_1.5 / HDTV_gamma_1.8 / HDTV_gamma_2.4 / ダウンロードプロファイル *
  - 出力プロファイル P.3-40
    - テキスト: Normal / Photo
    - グラフィックス: Normal / Photo
    - イメージ: Photo / Normal
  - マッチング方法 P.3-40
    - テキスト: 鮮やかさ優先 / 色差最小 / 色味優先
    - グラフィックス: 色味優先 / 鮮やかさ優先 / 色差最小
    - イメージ: 色味優先 / 鮮やかさ優先 / 色差最小
  - ガンマ補正 P.3-41
    - テキスト: 1.4 / 1.8 / 2.2 / 1.0
    - グラフィックス: 1.4 / 1.8 / 2.2 / 1.0
    - イメージ: 1.4 / 1.8 / 2.2 / 1.0

MAP B
MAPBを
ご参照ください

MAP B

メニュールートマップ

共通セットアップ編

MAP A（MAPAより）

- インタフェース
- グラデーション設定 P.3-41
  - グラデーション：しない／スムーズ1／スムーズ2
  - グラフィックスに適用 *：する／しない
  - イメージに適用 *：する／しない
- スムージング（AST） P.3-42
  - スムージング（AST）：スムーズ1／スムーズ2／しない
  - グラフィックスに適用 *：しない／する
  - テキストに適用 *：する／しない
- トナー印字量補正 P.3-42：標準／階調優先／テキスト優先
- ライン処理 P.3-43：解像度優先／階調優先
- 画質警告 P.3-43：継続／停止
- インタフェース選択 P.3-44
  - USB：使う／使わない
  - ネットワーク：使う／使わない
- タイムアウト P.3-44：5秒／15秒／300秒／しない
- 標準ネットワーク *
  - TCP/IP設定 P.3-46
    - IPモード：手動／自動
    - プロトコル *
      - DHCP：オフ／オン
      - BOOTP：オフ／オン
      - RARP：オフ／オン
    - アドレス
      - IPアドレス：（数値入力）
      - サブネットマスク：（数値入力）
      - ゲートウェイアドレス：（数値入力）
    - DNS
      - プライマリアドレス：（数値入力）
      - セカンダリアドレス：（数値入力）
    - WINS：オフ／オン
    - ARP/PING：オン／オフ
    - FTP
      - FTP印刷：オフ／オン
      - FTP設定：オン／オフ
    - LPD印刷：オン／オフ
    - RAW印刷：オン／オフ
    - BMLinkS：使わない／使う
    - IPP印刷：オン／オフ
    - HTTP：オン／オフ
    - プロキシ設定
      - プロキシ：オフ／オン
      - サーバアドレス *
      - ポート番号 *：0／80／9999
      - 同一ドメイン *：プロキシを使用しない／プロキシを使用
      - プロキシ認証 *：オフ／オン
      - ユーザ名 *
      - パスワード *
    - SNTP：オフ／オン
    - 探索応答：オン／オフ

下段に続く

上段から続く

- IPアドレス範囲設定
  - 受信／印刷拒否：しない／する／拒否IPアドレス1～拒否IPアドレス8 *
  - 受信／印刷許可：しない／する／許可IPアドレス1～許可IPアドレス8 *
  - 設定／参照拒否：しない／する／拒否IPアドレス1～拒否IPアドレス8 *
  - 設定／参照許可：しない／する／許可IPアドレス1～許可IPアドレス8 *
- MACアドレス設定
  - 受信許可：しない／する
  - 許可MACアドレス *：許可MACアドレス1～許可MACアドレス50
- AppleTalk *P.3-47：オフ／オン
- SMB *P.3-48
  - SMBサーバ：オフ／オン
  - SMB印刷 *：オフ／オン
- SNMPv1 *P.3-48：オン／オフ
- SNMPv3設定 *P.3-48
  - SNMPv3：オフ／オン
  - ユーザ設定1 *：認証パスワード／暗号化パスワード
  - ユーザ設定5 *：認証パスワード／暗号化パスワード
- スプール機能 *P.3-48：オフ／オン
- 起動待機時間 *P.3-49：0秒／300秒
- リモートUI設定 *P.3-49
  - リモートUI：オン／オフ
  - SSL *：オフ／オン
- Ethernetドライバ *P.3-49
  - 自動検出：オン／オフ
  - 通信方式 *：半2重／全2重
  - Ethernet種類 *：10BASE-T／100BASE-TX
  - MACアドレス：（表示のみ）
- Eメール印刷設定 *P.3-50
  - POP3受信間隔：0分／90分
  - POP3受信：オフ／オン
  - SMTP受信：オフ／オン
- ネットワーク設定初期化 P.3-50
- 拡張カード *P.3-50
- コネクション認識 P.3-51：する／しない
- 拡張受信バッファ *P.3-51：使わない／使う
- 動作モード
  - 動作モード選択 P.3-52：自動選択／LIPS／N201 *／ESC/P／I5577 *／HP-GL *／HP-GL/2 *／HEX-DUMP／LIPS-DUMP

下段に続く

上段から続く

- ユーザメンテナンス
- 自動切り替え P.3-55
  - LIPS：使う／使わない
  - N201 *：使う／使わない
  - ESC/P：使う／使わない
  - I5577 *：使う／使わない
  - HP-GL *：使う／使わない
  - HP-GL/2 *：使う／使わない
- 優先エミュレーション P.3-55：なし／LIPS／N201 *／ESC/P／I5577 *／HP-GL *／HP-GL/2 *
- 印字位置調整 P.3-56
  - 縦位置補正：-5.0／0.0／5.0
  - 横位置補正（トレイ）：-10.0／0.00／10.0
  - 横位置補正（カセット1）：-10.0／0.00／10.0
  - 横位置補正（カセット2） *：-10.0／0.00／10.0
  - 横位置補正（カセット3） *：-10.0／0.00／10.0
  - 横位置補正（カセット4） *：-10.0／0.00／10.0
  - 横位置補正（両面）：-10.0／0.00／10.0
- リカバリ印刷 P.3-56：する／しない
- カウンタ初期化
  - 定着器 P.3-57
- 特殊モードJ P.3-57：使わない／使う
- 特殊モードQ ★P.3-58：使わない／使う
- 用紙サイズ置換 P.3-58：しない／する
- 画像特殊処理 P.3-58：しない／レベル1／レベル2
- 小サイズ特殊処理1 P.3-59：-2／-1／0／1／2
- 小サイズ特殊処理2 P.3-59：-2／-1／0／1／2
- クリーニング P.3-59
- EDDメンテナンス *
  - EDD完全消去 P.3-59：しない／する
  - クイックフォーマット *P.3-60
  - 標準フォーマット P.3-60
- 特殊印字処理
  - 普通紙 P.3-61：しない／モード1／モード2／モード3
  - コート紙 P.3-61：しない／する
- ファームウェア更新
  - USB P.3-61
  - 標準ネットワーク P.3-61
- 機能制限モード ★
- ステイプル P.3-62：制限しない／制限する

MAP C（MAPCをご参照ください）

メニュールートマップ

ESC/P・IMAGING・LIPS4・LIPS LX セットアップ編

MAP B（MAPBより）

- **LIPS4セットアップ**
  - 拡大／縮小（P.4-4）：しない／→A3／→B4／→A4／→B5／→A5／→ハガキ／→往復ハガキ／→4面ハガキ／→リーガル／→レター
  - 複数ページ印刷（P.4-4）：しない／2ページ（左）／2ページ（右）／4ページ（横・左）／4ページ（横・右）／4ページ（縦・左）／4ページ（縦・右）
  - 複数ページ余白（P.4-6）：パターン1／パターン2
  - ページの向き（P.4-7）：縦／横
  - オーバレイ1（P.4-7）：しない／0／32767
  - オーバレイ2（P.4-7）：しない／0／32767
  - カラーオーバレイ（P.4-8）：しない／する
  - スタートアップマクロ（P.4-9）：0／30／32767
  - 漢字コード（P.4-9）：JIS／シフトJIS／EUC／DEC
  - 文字サイズ（P.4-11）：10ポイント／12ポイント／8ポイント
  - 漢字書体（P.4-11）：明朝／ゴシック
  - ANK書体（P.4-11）：明朝／ゴシック／ラインプリンタ
  - 漢字グラフィックセット（P.4-12）：JIS90／JIS78
  - 行数（P.4-12）：6LPI／8LPI／10～99
  - 桁数（P.4-12）：自動／10CPI／12CPI／15CPI／10～200
  - 自動改ページ（P.4-13）：する／しない
  - 自動改行（P.4-13）：する／しない
  - CR機能（P.4-13）：CRのみ／CR＋LF
  - LF機能（P.4-13）：LFのみ／LF＋CR
  - 網かけ解像度（P.4-14）：クイック／ファイン
  - ジョブタイムアウト（P.4-14）：しない／する
  - 白紙節約（P.4-14）：する／しない
- **LIPS LXセットアップ**
  - 白紙節約（P.4-15）：する／しない

下段に続く

上段から続く

- **ESC/Pセットアップ**
  - **ページレイアウト**
    - ページフォーマット（P.5-4）：実寸縦／実寸横／10°→A4縦／15°→A4横／15°→B4横／B4→A4縦／B4→A4横
    - 上余白（P.5-6）：-127／0／127
    - 用紙位置微調整（P.5-7）：-127／0／127
    - 領域（P.5-9）：標準／ワイド
    - 右マージン既定値（P.5-9）：136桁／右端
    - 用紙サイズ（P.5-9）：A4／B5／A5／ハガキ／A3／B4
    - 2ページ印刷設定（P.5-10）：しない／左／右
  - **フォント**
    - 漢字書体（P.5-11）：明朝／ゴシック／丸ゴシック／ID
    - フォントID（*P.5-11）：1／2／999
    - 漢字サイズ（P.5-12）：システム／8ポイント／10ポイント／12ポイント
    - 文字コード（P.5-12）：カタカナ／グラフィックス
    - 国別文字（P.5-12）：日本／ノルウェー／デンマーク2／スペイン2／ラテンアメリカ／USA／フランス／ドイツ／UK／デンマーク／スウェーデン／イタリア／スペイン
  - **印字機能**
    - イメージの補正（P.5-13）：しない／する
    - 縮小文字（P.5-13）：しない／する
  - **印字動作**
    - 改行機能（P.5-14）：LFコマンドを待つ／改行
  - **VFC**
    - 連続用紙長（P.5-15）：システム／1行／199行
    - 単票用紙長（P.5-16）：システム／1行／199行
    - ミシン目スキップ（P.5-16）：しない／1行／31行
  - **その他**
    - 登録レベル（P.5-17）：一時／永久
    - カラーモード自動時（P.5-17）：フルカラー／モノクロ
- **IMAGINGセットアップ**
  - 画像の向き（P.6-3）：自動／縦／横
  - 拡大／縮小（P.6-3）：しない／自動
  - 印字位置（P.6-4）：自動／中央／左上
  - 印字保証（*P.6-4）：しない／する
  - 警告表示（P.6-4）：印刷／パネル／しない
  - Eメール本文印刷（*P.6-5）：する／しない
  - Eメール印刷制限（*P.6-5）：しない／する
  - 印字領域拡大（P.6-5）：しない／する
  - Exif補正（P.6-6）：する／しない

下段に続く

上段から続く

- **PDF1.5**
  - レンダリング色空間（P.7-4）：自動／CMYK
  - RGBソースプロファイル（P.7-4）：sRGB／GAMMA 1.5／GAMMA 1.8／GAMMA 2.4／なし
  - CMYKプロファイル（P.7-5）：なし／JAPANCOLOR／US WEB COATED／EURO STANDARD
  - 出力プロファイル（P.7-5）：NORMAL／PHOTO
  - グレースケールプロファイル（P.7-6）：使わない／使う
  - マッチング方法（P.7-6）：色味優先／鮮やかさ優先／色差最小
  - 純ブラック（テキスト）（P.7-6）：使う／使わない
  - ブラックオーバープリント（P.7-7）：する／しない
  - CMYKオーバープリント（P.7-8）：しない／する
  - 明るさ（P.7-8）：85%／100%／115%
  - グレー補償（P.7-9）：する／しない
  - サイズ調整印刷（P.7-9）：しない／する
  - 印字領域拡大（P.7-9）：しない／する
  - 複数ページ印刷（P.7-10）：しない／2ページ／4ページ／6ページ／8ページ／9ページ／16ページ
  - 仕上げ（P.7-10）：指定しない／ソート／ステイプルソート★
  - モノクロ中間調（P.7-11）
    - テキスト：解像度／階調／色調／高解像度／誤差拡散*
    - グラフィックス：階調／色調／高解像度／誤差拡散*／解像度
    - イメージ：色調／高解像度／誤差拡散*／解像度／階調
  - カラー中間調（P.7-11）
    - テキスト：解像度／階調／色調／高解像度／誤差拡散*
    - グラフィックス：色調／高解像度／誤差拡散*／解像度／階調
    - イメージ：色調／高解像度／誤差拡散*／解像度／階調
  - 注釈印刷（P.7-12）：自動／する／しない
  - スムージング（AST）（P.7-12）
    - スムージング（AST）：スムーズ1／スムーズ2／しない
    - グラフィックスに適用*：しない／する
    - テキストに適用*：する／しない
- **パネル設定初期化**（P.2-24）

メニュールートマップ

その他のメニュー編

給紙選択メニュー

給紙選択メニューの設定項目 P.8-18
給紙選択メニューの機能と操作 P.2-22

- 給紙モード
  - 自動
  - カセット1
  - カセット2 *
  - カセット3 *
  - カセット4 *
  - 手差しトレイ
- 手差しトレイ用紙サイズ
  - A4
  - B4
  - A3
  - レター
  - リーガル
  - レジャー
  - エグゼクティブ
  - 305X457mm
  - フリー
  - ユーザセッティサイズ
  - ユーザセッティサイズR
  - ハガキ
  - 往復ハガキ
  - 4面ハガキ
  - 封筒Y4
  - 封筒Y2
  - 封筒K2
  - SRA3
  - A5
  - B5
- カセット2用紙サイズ *
  - ユーザセッティサイズ
  - ユーザセッティサイズR
  - フリー
- カセット3用紙サイズ *
  - ユーザセッティサイズ
  - ユーザセッティサイズR
  - フリー
- カセット4用紙サイズ *
  - ユーザセッティサイズ
  - ユーザセッティサイズR
  - フリー
- 手差しトレイ用紙タイプ
  - フリー
  - 普通紙
  - 普通紙L
  - 厚紙1
  - 厚紙2
  - ハガキ
  - 封筒
  - コート紙
  - ラベル用紙
- カセット1用紙タイプ
  - フリー
  - 普通紙
  - 普通紙L
  - ラベル用紙
- カセット2用紙タイプ *
  - フリー
  - 普通紙
  - 普通紙L
  - ラベル用紙
- カセット3用紙タイプ *
  - フリー
  - 普通紙
  - 普通紙L
  - ラベル用紙
- カセット4用紙タイプ *
  - フリー
  - 普通紙
  - 普通紙L
  - ラベル用紙
- 両面印刷
  - しない
  - する

リセットメニュー

リセットメニューの設定項目 P.8-15
リセットメニューの機能と操作 P.2-19

- ハードリセット ソフトリセット
- 排出
- シャットダウン
- トナー交換
  - ブラック トナー
  - シアン トナー
  - マゼンタ トナー
  - イエロー トナー

ジョブメニュー

ジョブメニューの設定項目 P.8-11
ジョブメニューの機能と操作 P.2-17

- 暗号化セキュアプリント *
- セキュアプリント *
- 保存ジョブリスト *
- 保存ジョブプリント *
- ジョブ履歴リスト
- 保存履歴リスト *
- レポート履歴リスト
- Eメール印刷履歴リスト *

ユーティリティメニュー

ユーティリティメニューの設定項目 P.8-5
ユーティリティメニューの機能と操作 P.2-15

- ステータスプリント
- LIPSユーティリティ
  - ステータスプリント
  - フォントリスト
  - オーバレイリスト
  - マクロリスト
  - フォームリスト
  - オーバレイプリント
  - カラーサンプル
- ESC/Pユーティリティ
  - ステータスプリント
- N201ユーティリティ *
  - ステータスプリント
- I5577ユーティリティ *
  - ステータスプリント
  - オーバレイプリント
- HP-GLユーティリティ *
  - ステータスプリント
  - サンプルプリント
- HP-GL/2ユーティリティ *
  - ステータスプリント
  - サンプルプリント
- N/Wステータスプリント
- 拡張カードリスト *
- Eメール印刷ユーティリティ *
  - Eメール受信
  - 受信履歴リスト
- キャリブレーション
- 印字位置プリント
- テストチャート1
- テストチャート2

●●● サテラ　ご購入者アンケートご協力のお願い ●●●

この度は、キヤノンサテラシリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。みなさまのご意見を今後の製品開発の参考とさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。
本プリンタに付属の User Software CD-ROM と取扱説明書 CD-ROM のトップ画面に、キヤノンホームページのアンケートページへアクセスするボタンがあります。大変お手数ではございますが、そこからアクセス後、質問事項にご回答ください。ご回答いただきました内容はより良いサービスと今後の製品開発の貴重な資料として活用し、それ以外の目的に使用することはありません。

※ アンケートにご回答いただく際には、商品名称と本体機番を入力していただく必要があります。

例）

商品名称	本体機番
LBP5910	LXEA000001
LBP5910F	LXFA000001

（保証シートおよびプリンタ背面、梱包箱外側に記載されています。）

お問い合わせ先について

プリンタドライバのバージョンアップやプリンタが故障したときなど、何らかのお問い合わせが必要になったときは、目的に応じて以下のお問い合わせ先にご連絡ください。

お買い上げいただいた販売店

・消耗品やオプション品のご購入について
・故障時の修理について

キヤノンホームページ

・プリンタドライバのバージョンアップ情報およびダウンロード
・トラブル発生時の解決方法
・商品のご紹介や各種イベント情報など

http://canon.jp/

お客様相談センター

・技術的なご質問や本プリンタの取り扱い方法について
・消耗品やオプション品をご購入する際に不明な点がある場合
・故障時の修理について不明な点がある場合

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

［受付時間］ ＜平日＞9:00～20:00 ＜土日祝日＞10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※ 上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。